

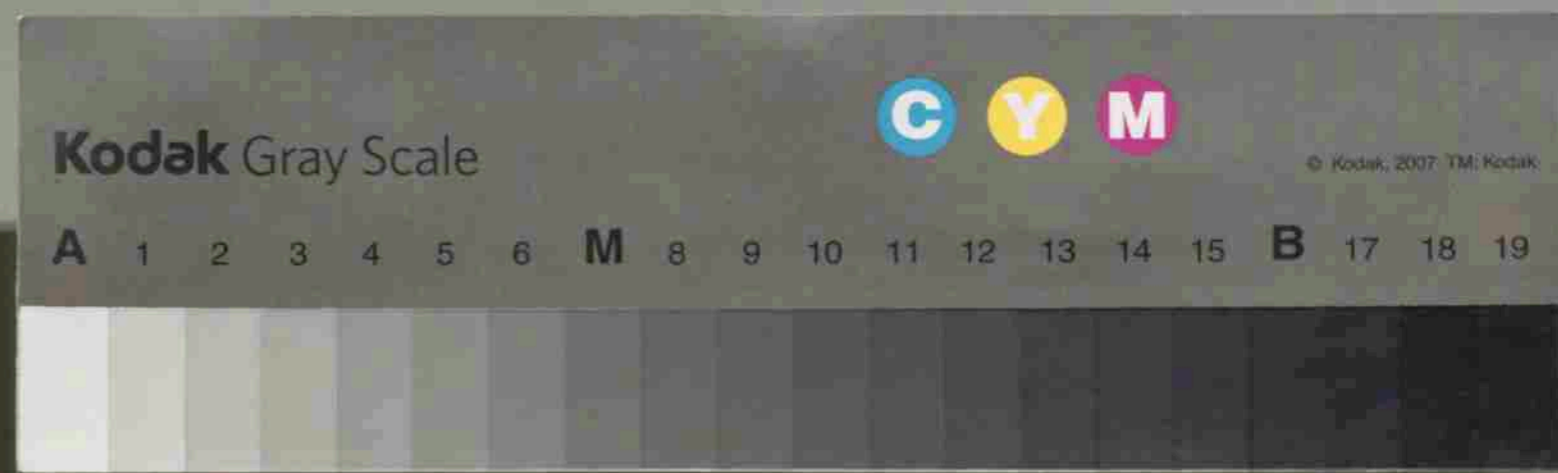
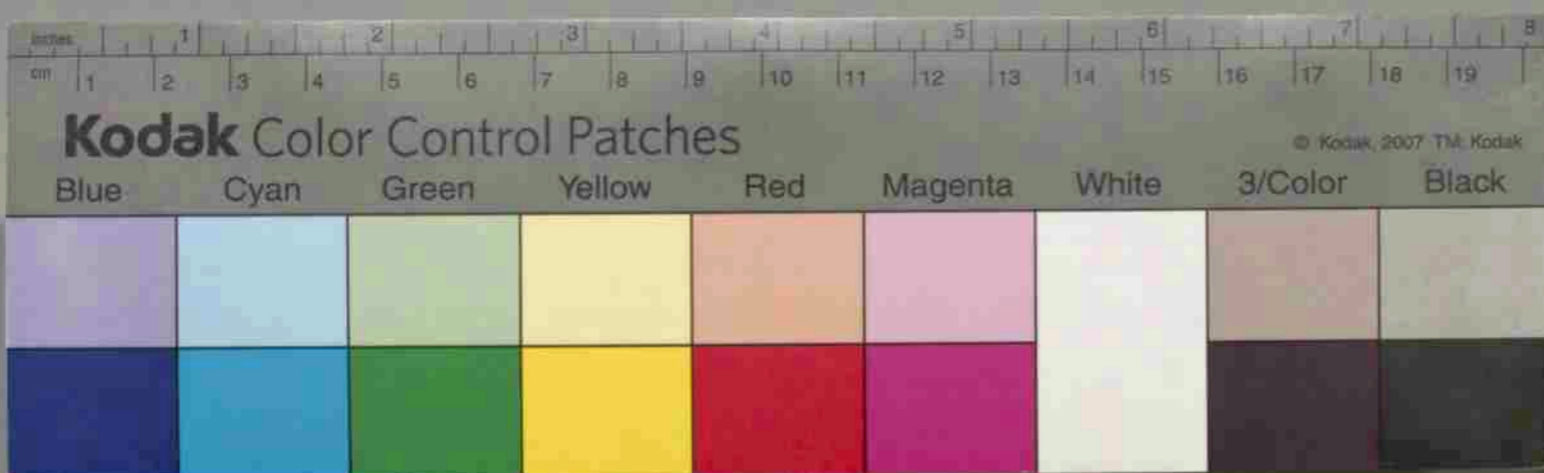
因本郡長に明治三十八年
 三月より三十九年二月迄
 明治三十八年府縣制施行三付
 年十一月留選出三十九年
 十二月迄在任夏回三十九年
 三月より三十九年十一月迄
 明治三十九年九月縣制改正
 此月總選舉行ハ
 為選

縣會議員

明治三十年七月 當選 関口重吉
 明治三十二年九月三十日當選 塩澤次郎太郎
 全 三十九年五月三十日補欠選出 平野 要
 全 三十九年九月三十日定期選出 同 人
 全 四十年三月四日補欠選出 宇塚半十郎
 全 四十年九月三十日定期選出 同 人
 全 四十四年九月三十日 現時在任 社野谷備市

明治四十一年十月十二日 認可 大森清吉
 全 四十三年十月廿日 認可 (就職迄) 小保方善造
 全 四十四年十月八日 認可 青木淳三郎





明治廿五年三月三十日
 金田慶次
 出生藤二郎
 平野亦林平
 黒川秀作

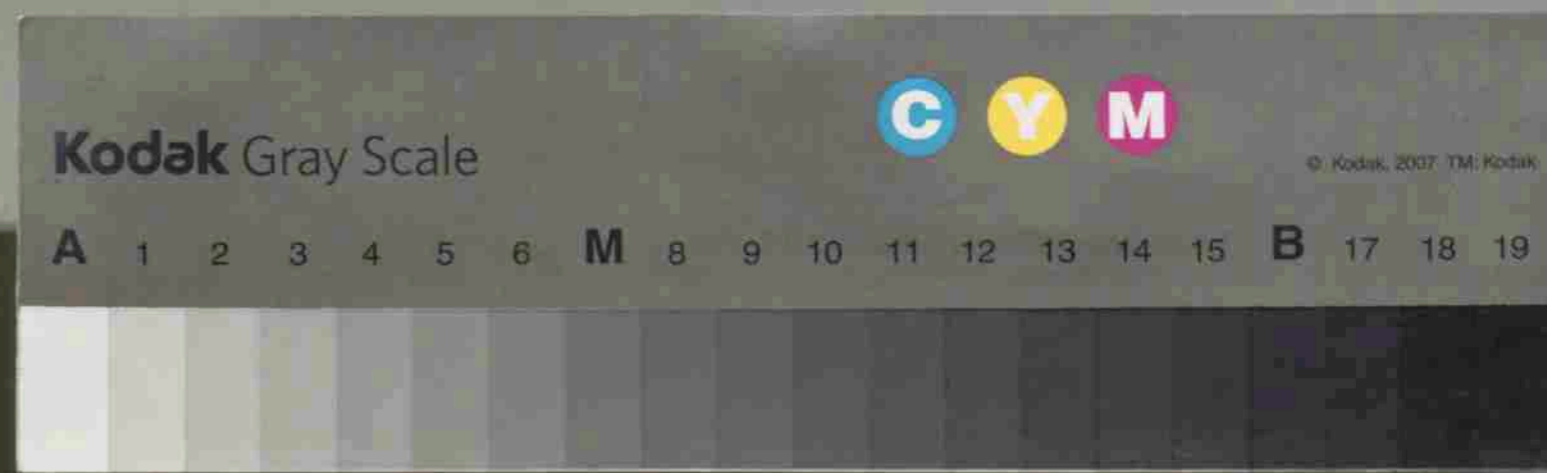
明治廿八年四月五日
 塩次郎右衛門
 小伴方善造
 青木喜代次
 大貫熊三郎

明治三十五年四月六日
 金田慶次
 池沢謙三九

村會議員 (吉級選出者)
 明治廿三年四月十九日吉選
 伊谷野喜久次
 安生武一郎
 池澤謙三九
 関口光三九
 金田喜内
 大森清吉

明治廿三年三月廿八日
 川津米三郎
 大貫熊三郎
 平野要
 宇塚善十郎





明治四十年四月廿二日

平野 要

青水平之進

小保方浅五郎

坂田秀吉

鯉沼金次

平野幸七

高野多平

平野幸七

大貫和三郎

石川友吉

廣田重八郎

(補欠選去)

神文選去

明治三十七年四月廿三日

和久井喜一郎

西田慶四郎

小伴方善造

丸笠七郎

川津米三郎

大森清吉

寺内泉次

大貫和三郎

和久井長作

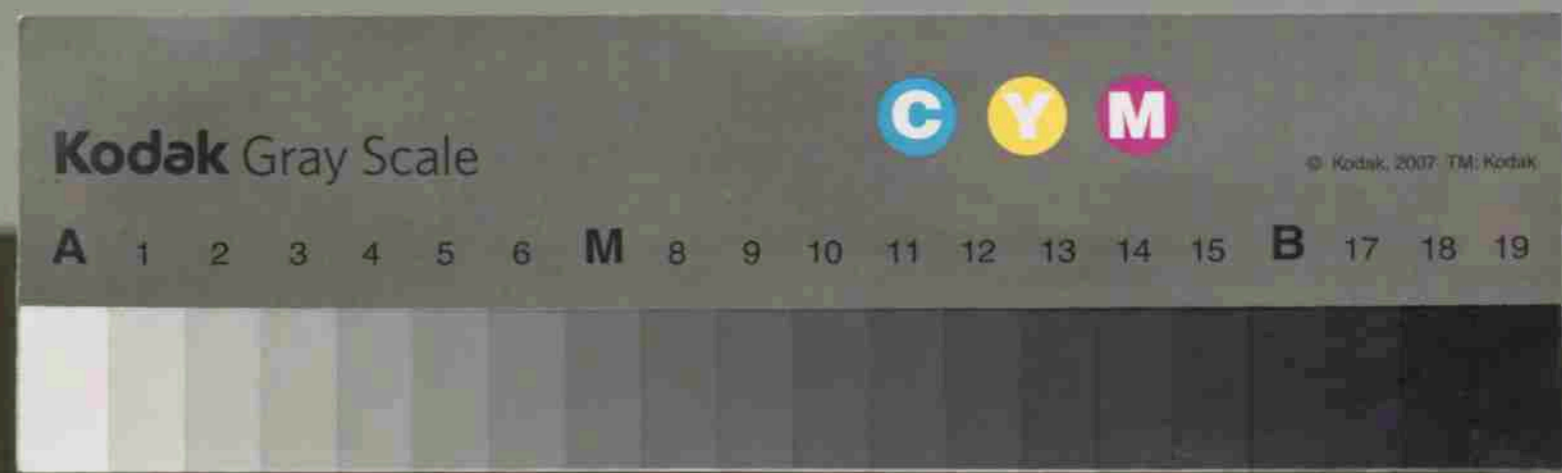
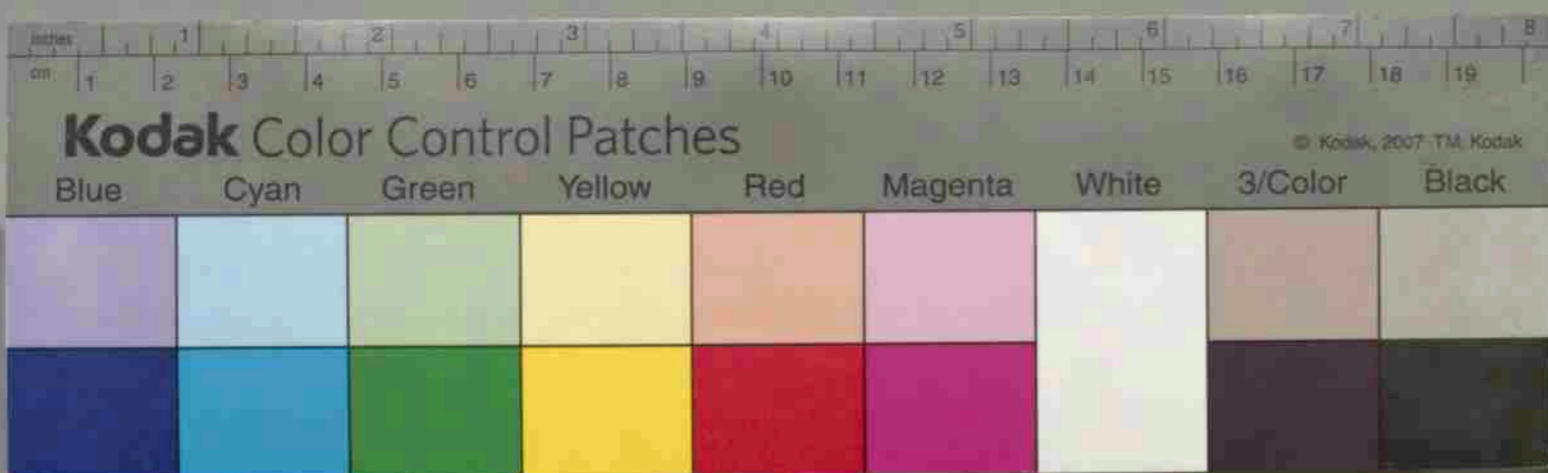
高野多平

明治三十五年四月十五日

明治三十八年四月五日

明治三十九年三月三十日





明治世五年四月十六日

明治世四年四月十五日

安生武一郎

萩野谷儀市

高野多市

和久井長作

平野 要

金田慶次

小保方善造

塩沢次郎太郎

青木喜代次

明治三十年四月六日

明治廿八年四月五日

関口重吉

宇塚善十郎

大森清吉

平野 要

丸笠七郎

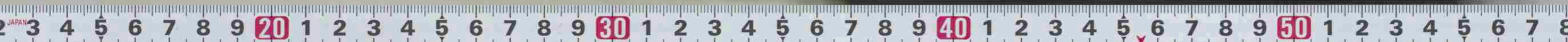
関口光三九

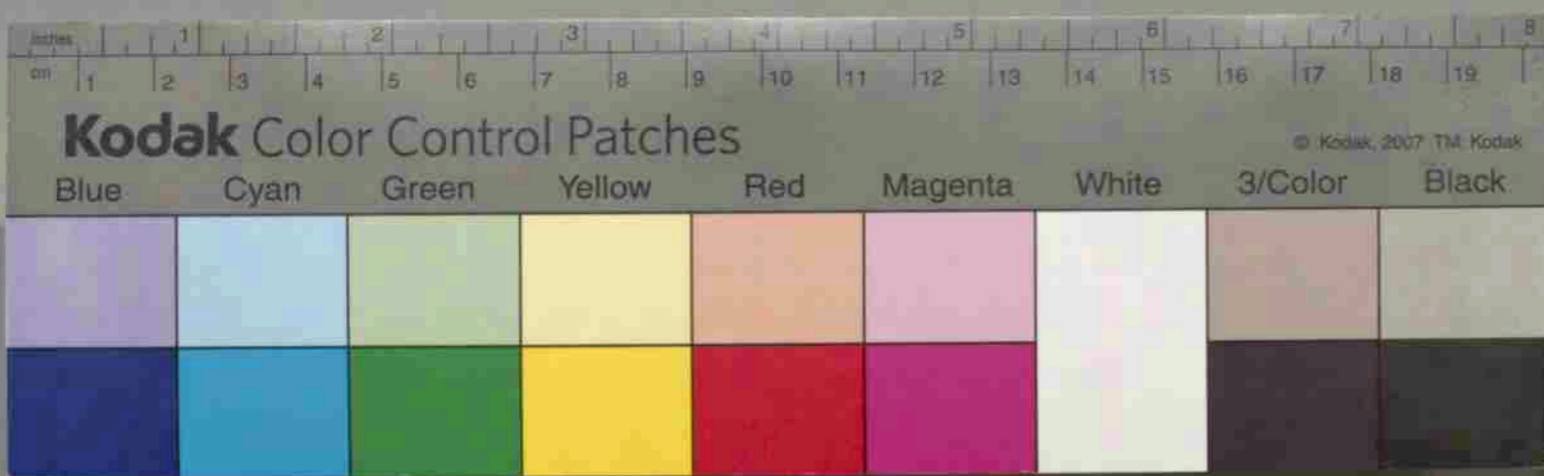
高野多市

神山豊松

宇塚半十郎

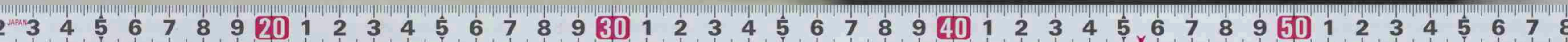
関口重吉

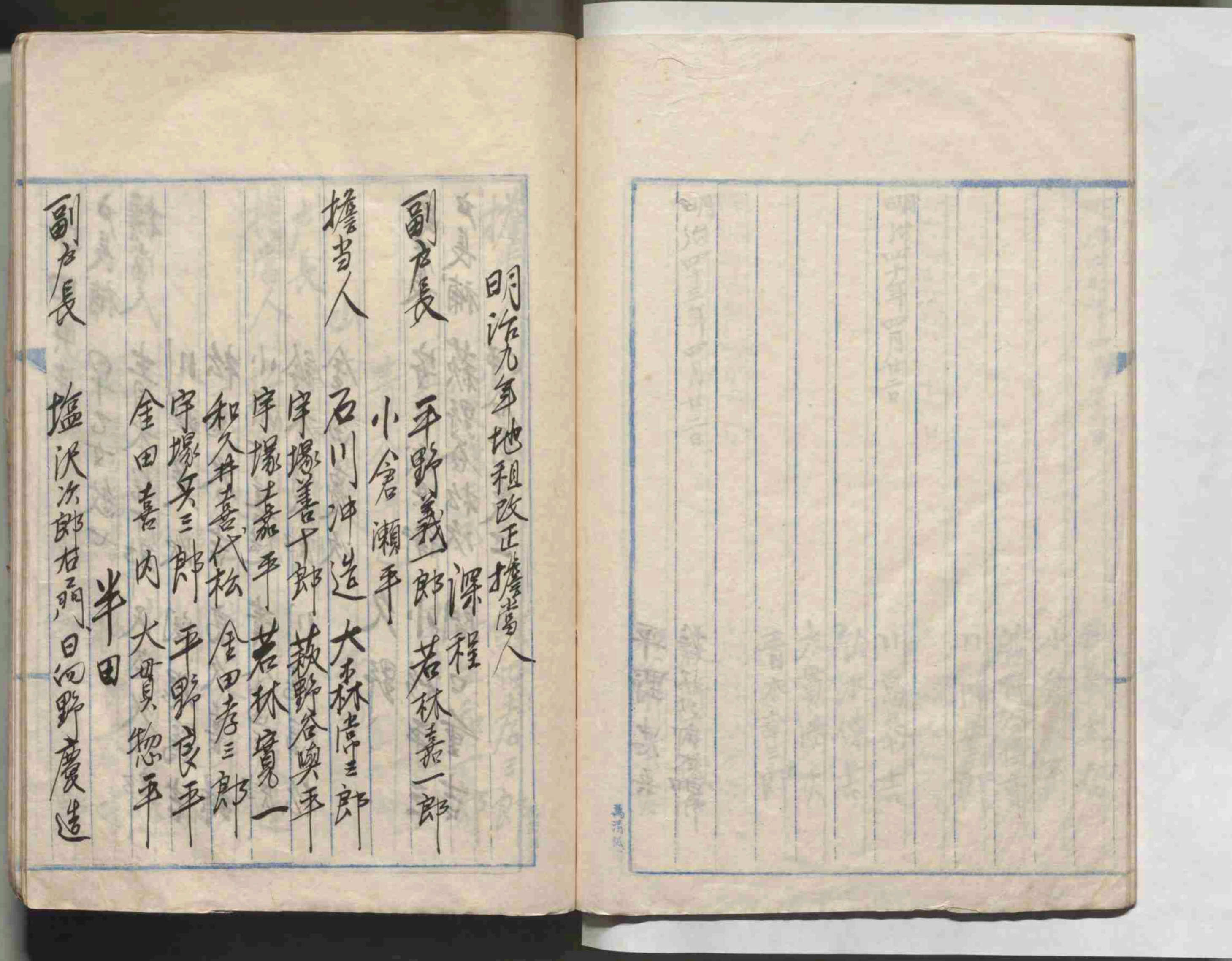
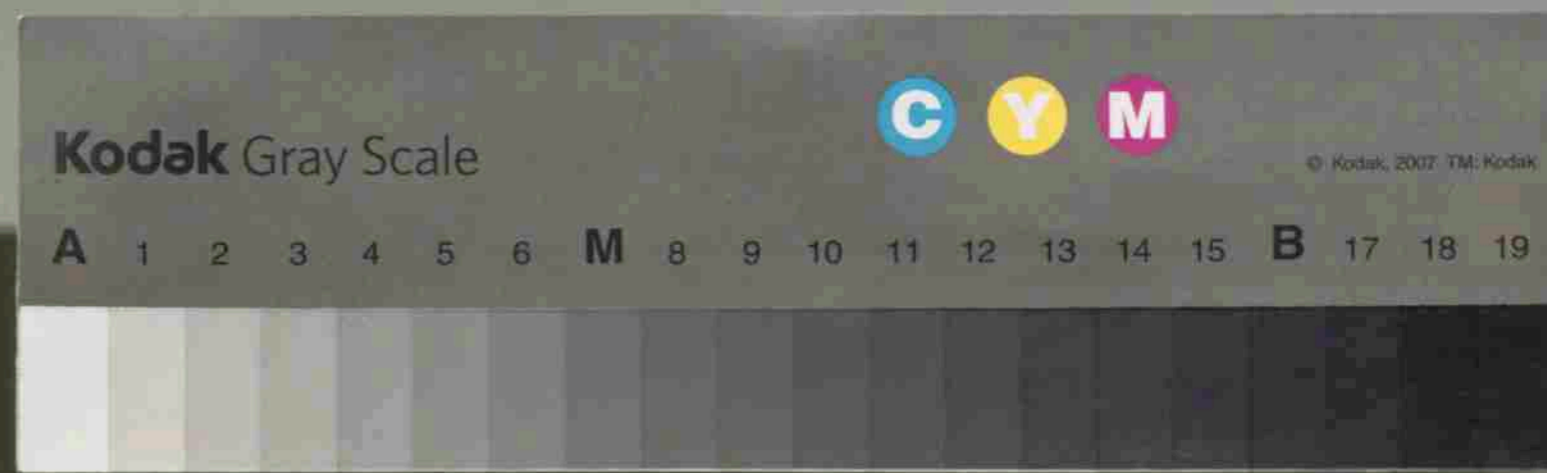




平野忠吾
塩沢以郎太郎

明治廿七年四月廿一日
松島太吉
小倉文平
萩野谷儀市
川津米三郎
川島恭吉
鈴木傳吉
大貫清次
青木幸三郎
萩野谷儀市
伊谷幹喜志
明治四十年四月廿二日





明治九年地租改正擔當人

副書長 深程

平野義一郎 若林嘉一郎

小倉瀬平

石川沖造 大森浩三郎

宇塚善十郎 萩野谷與平

宇塚嘉平 若林寛一

和久井喜代松 全田孝三郎

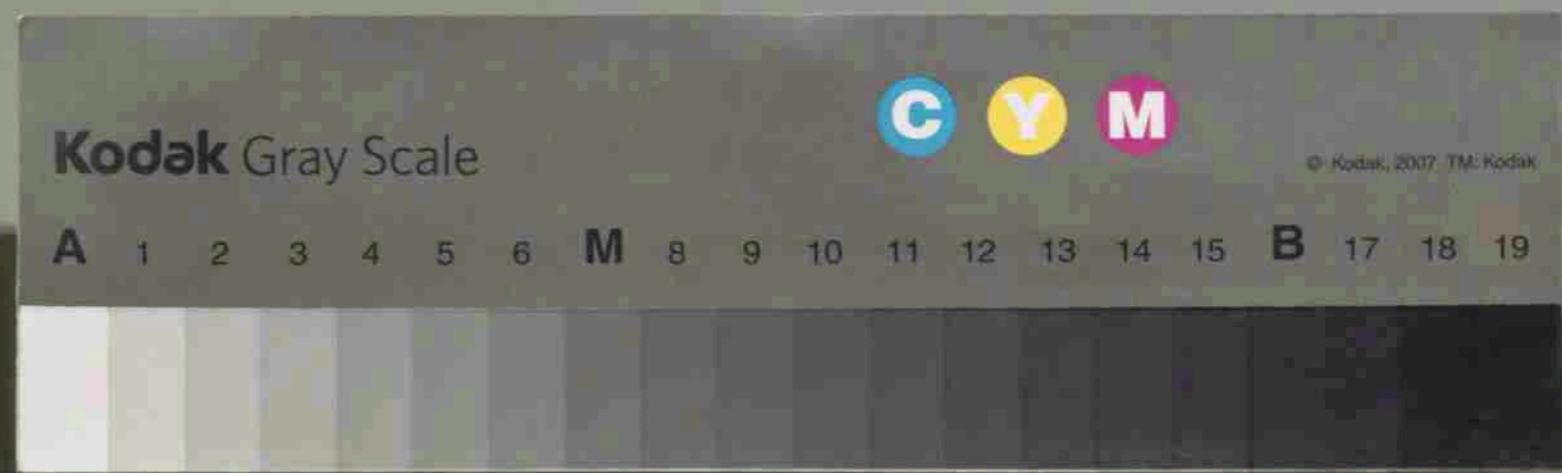
宇塚兵三郎 平野良平

全田喜内 大貫惣平

半田

副書長 塩沢次郎右衛門 日向野慶造

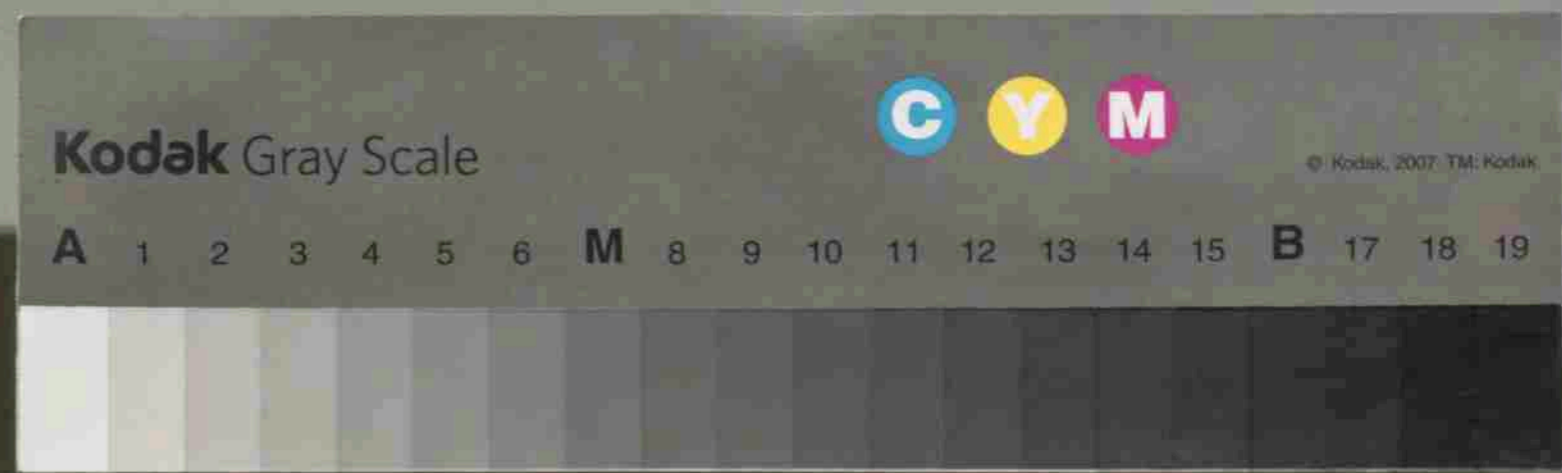




擔當人 関口半三郎 鯉沼孝三郎
 池沢謙三九 安生和一郎
 黒川秀作 黒川喜四郎
 青木幸造
 山岳 擔當人 半田
 塩沢治郎屋門 日向野慶造
 安田與宗 青木宗十郎
 早乙女紋七 川島定次
 天谷久三郎 小保方善造
 全田慶次 松島太吉
 関塚為吉 青木富三郎
 高久喜録

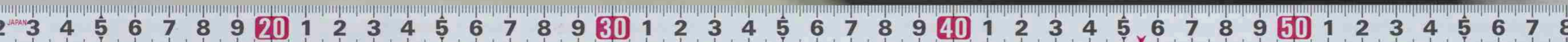
安田與宗
 戸長補 早乙女紋七 天谷久三郎
 擔當人 青木宗十郎 関塚為吉
 川嶋定次 高久喜録
 松島太吉 青木富三郎
 小保方善造 鈴木清太郎 川嶋福松
 鈴木清太郎 金田慶次
 久野
 小杉平三
 関口重吉
 副戸長 安生武兵衛
 戸長補 萩野谷松次 関野喜久二

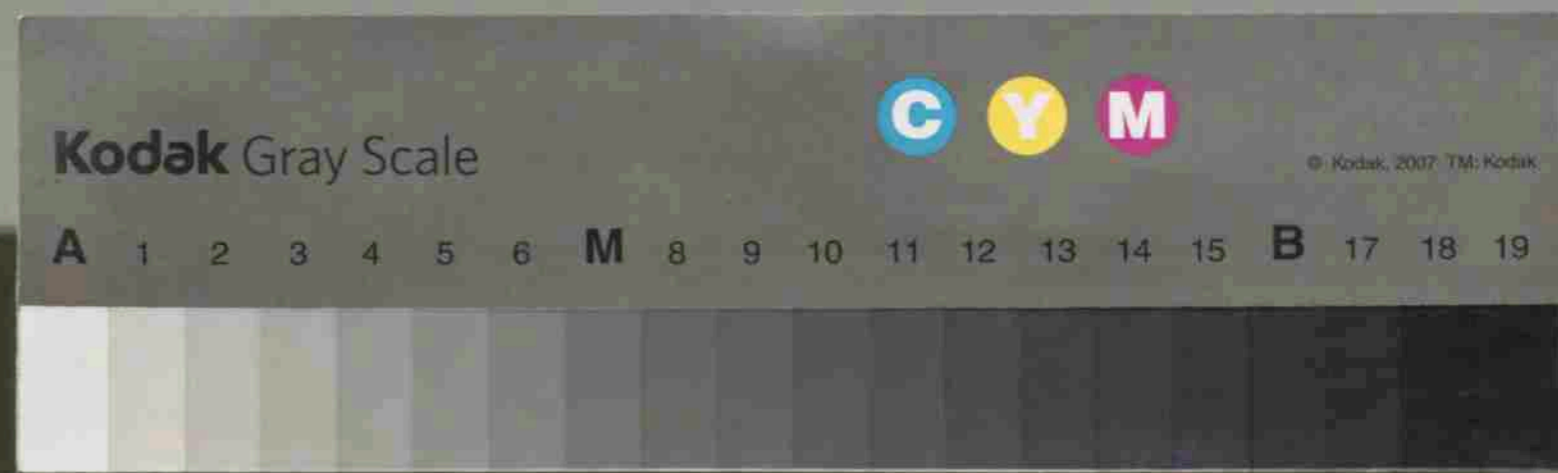




山岳擔當人
 戸長 石川 沖造
 擔當人 若林 嘉一郎
 宇塚 善一郎
 宇塚 定一郎
 全田 喜内
 松岡 佑平
 全田 幸三郎
 萩野 谷與平
 大森 常三郎
 大貫 惣平
 大貫 初太郎
 深 程

山岳擔當人
 戸長 安生 武兵衛
 擔當人 伊谷 野喜久次
 萩野 谷松次
 青木 幸造
 黒川 秀作
 鯉沼 孝三郎
 安生 和一郎
 牧野 長吉
 大森 岩吉
 青木 松三郎
 久野
 川嶋 福松
 小杉 平三
 関口 半三郎
 黒川 喜四郎
 関口 重吉
 池沢 謙三九
 遠藤 市三郎
 川津 米三郎
 津布 久松四郎





置

第四章 官公署

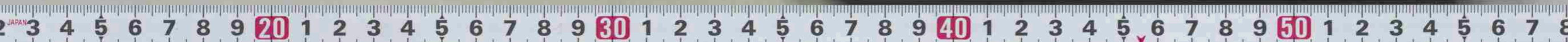
第一節 區務所

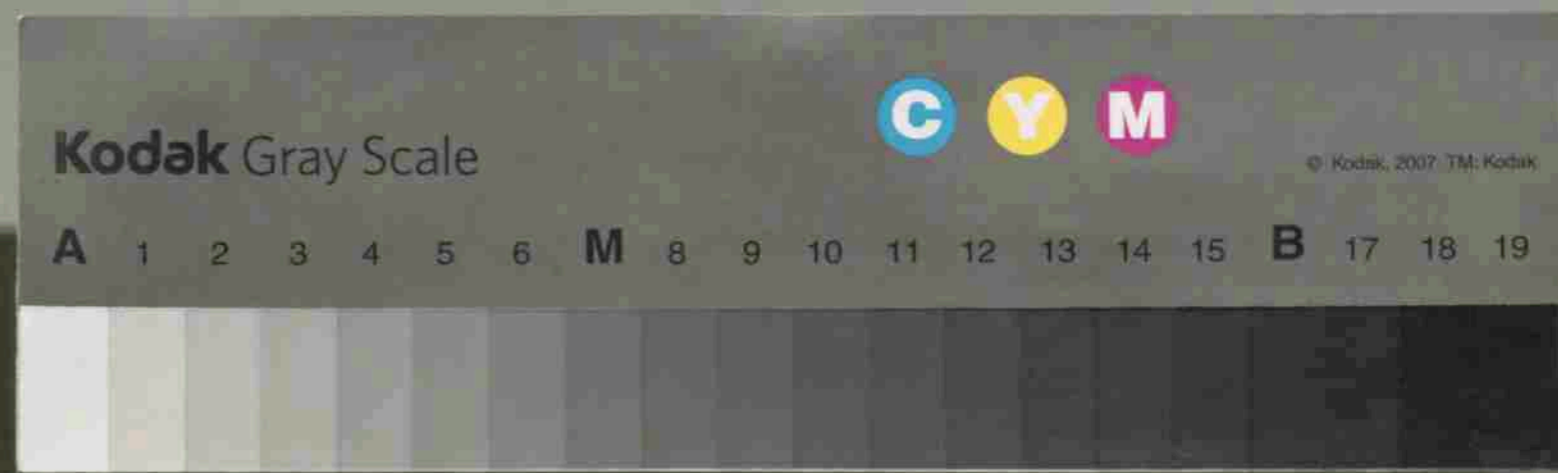
明治十一年以前大字北半田醫王寺内ニ第一大區ノ
區務所ヲ設置シ雲雙寺ニ第一大區九小區ノ區務
所ヲ設置シタルコトアリシガ明治十一年上郡賀郡役所
設置ノ為メ大小區務所共ニ廢止セラレタリ

第二節 町村役場

明治十七年頃真名子深程 北半田久野ノ四箇村
聯合シテ聯合役場ヲ深程ニ置キシガ明治二十二年町
村制施行ノ為メ真名子村ハ分離シテ別ニ村トナリ
深程北半田久野ノ三ヶ村合併シテ清洲村ト名称
シ役場ヲ深程地内小松神社ノ附近人家ヲ代用シ
(谷村ヲ大字トナレ)

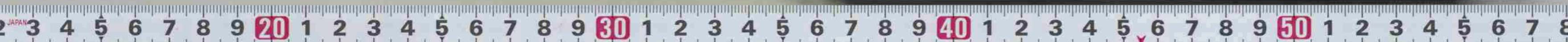
Handwritten text in vertical columns, likely a list or record, written in cursive Japanese (sōsho). The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.

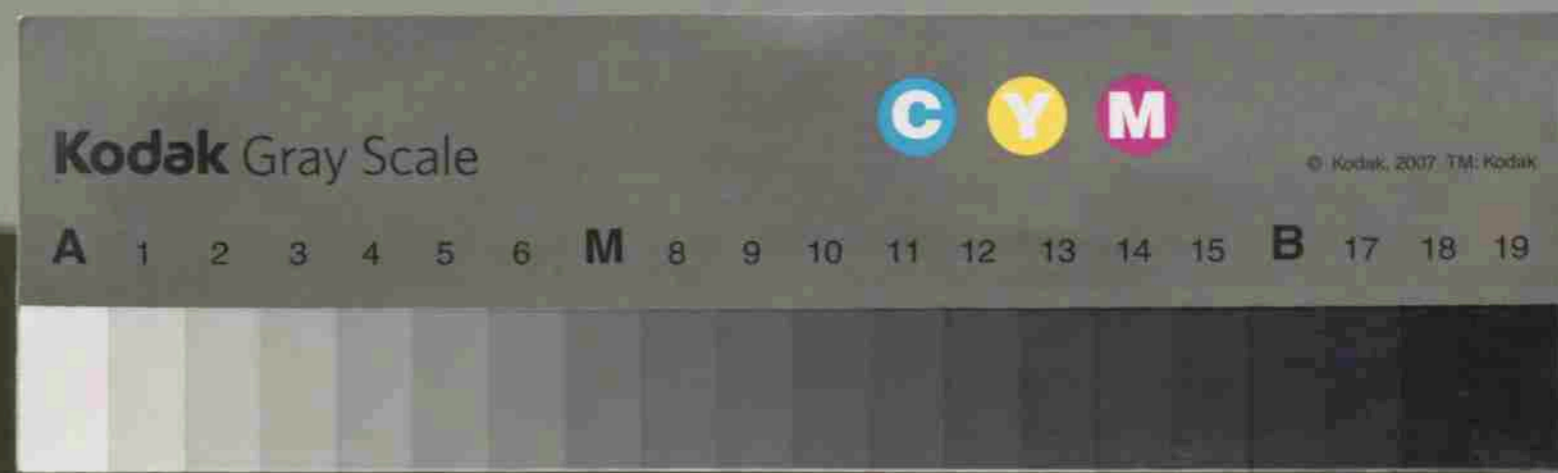




第五章 風俗習慣
 第一節 冠婚喪祭ニ於ケル慣例
 子女出生時ニ於ケル慣例
 子女ノ出生アルヤ親戚曰故隣保等早キ七日以内衣
 服及物若クハ其料金牡丹餅等ヲ出産見舞トシテ
 贈ル産家ニテハ七日目ニ七夜祝ト称シテ赤飯ヲ炊キ
 親戚曰故隣保ノ者ヲ請ヒテ祝延ヲ用キノミナラス
 赤飯ハ右見舞ヲ贈ラレシ家ニ呈ス而シテ赤見ハ雪
 隠諸リト称スル奇習ヲ行フ雪隠諸リトハ七日目ヲ七夜
 ト称シ當日嬰兒ノ額ニ紅又ハ墨ヲテ犬ノ字ヲ書シ
 産衣ヲ着セシメ産後女抱キテ隣保ノ婦女小見等ト大
 便所ニ行キ長キ箸ヲ赤見ニ大便ヲ食セシムルモノヲ

テ執務セシガ火災ニ罹リ現位置即チ佐目道北角
 ノ民家ヲ借受ケ執務スルヲナセリ
 因ニ記入北半田ハ半田村ト称シカ明治十一年ニ北半田村ト改称シ甲二十五年ニ至リ大字ト
 ナレリ
 第三節 駐在所
 明治十五年申ヨリ清洲村ハ栗野村大字口栗野巡查
 交番所ノ受持區域ニ屬シ居タリ
 明治二十二年申各村落ニ巡查駐在所ヲ設置スル制
 度トナリタルヲ清洲村大字深程ヲ以テ駐在所設置
 ノ箇所ニ選定シタリ
 然レドモ駐在所ニ充ムル家屋ノ建等ナキヲ以テ民
 家ヲ借受ケ執務シマアリ





C Y M

一般ニ對シ披露スルナリ 結納ノ節ニ左ノ目錄ノ如ク
 交換ス

一長鬚斗一折	二家内喜多留壹荷
三帶(袴)代	四白髮
五壽留め一把	六和紙
七末廣	一對
壹束	壹束

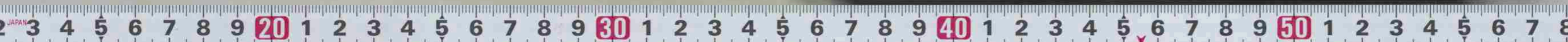
婚姻上ノ奇習ハ嫁入トキ炬火ヲマタグコト嫁ニ出テ
 行クトキ六嫁ノ出タル後ニテ籠ラ坐敷ノ中ヨリ轉ガシ
 出スコトナリ

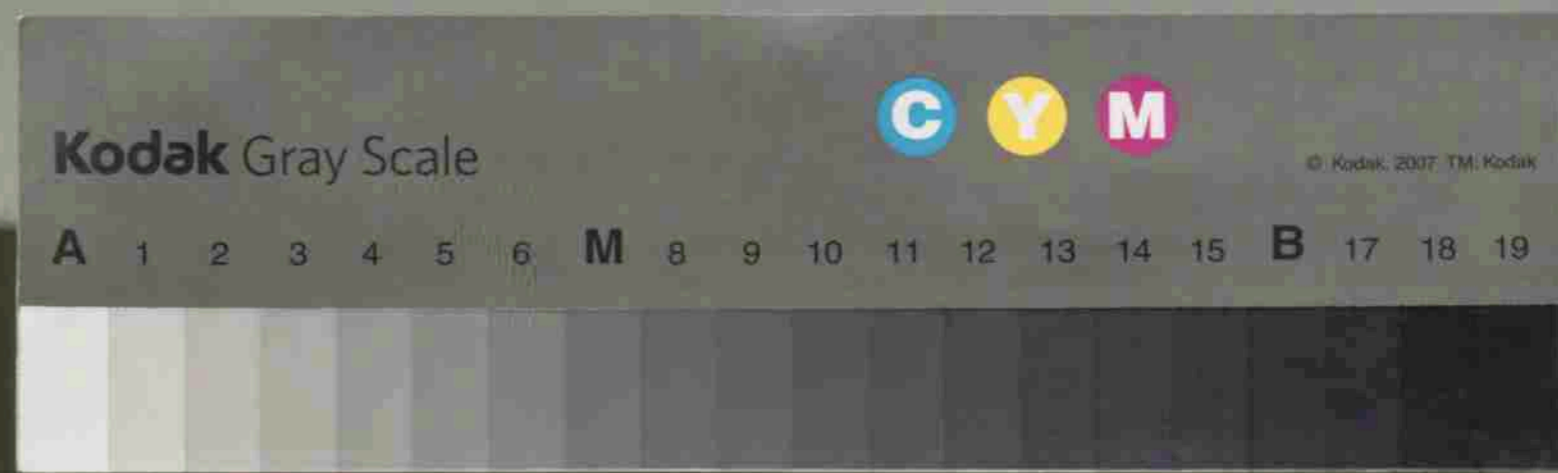
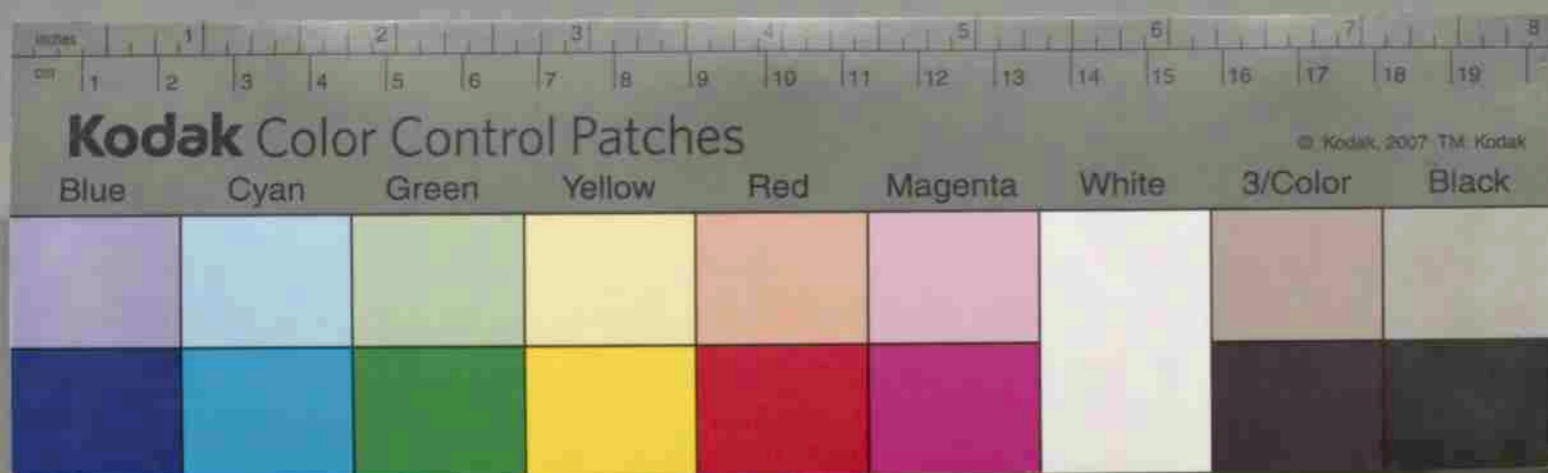
喪祭ニ関スル慣例
 一佛葬式

ナレ候所ノ前ニテ赤飯ヲ重ラ開キ祝杯ヲ挙グ右ノ如ク
 更ニ祝宴ニ移ルナリ又當日ハ出初式ト稱シテ産婆赤
 兒ヲ抱キ近所ノ親戚着レ親戚近所ニアラザルトキハ
 近所ノ懇意ノ家ニ客来スルナリ

結婚式ニ関スル慣例

婚姻セトスル時ハ先ツ媒灼人ノ申込ニヨリ夫々財産
 程度系統本人ノ性行等ヲ調直シ互ニ投合セル時ハ見
 合ヲナス是レ本人同志ノ意向ヲ確ムル爲メナリ見合
 済メバ結納ヲナス 結納ハ媒灼人組合内ノモノヲ立
 會ハレム茲ニ始メテ結婚ノ約成立スルナリ結婚式ハ新
 郎新婦媒灼人近親等一室ニ於テ式ヲ喫キケ夫レヨリ

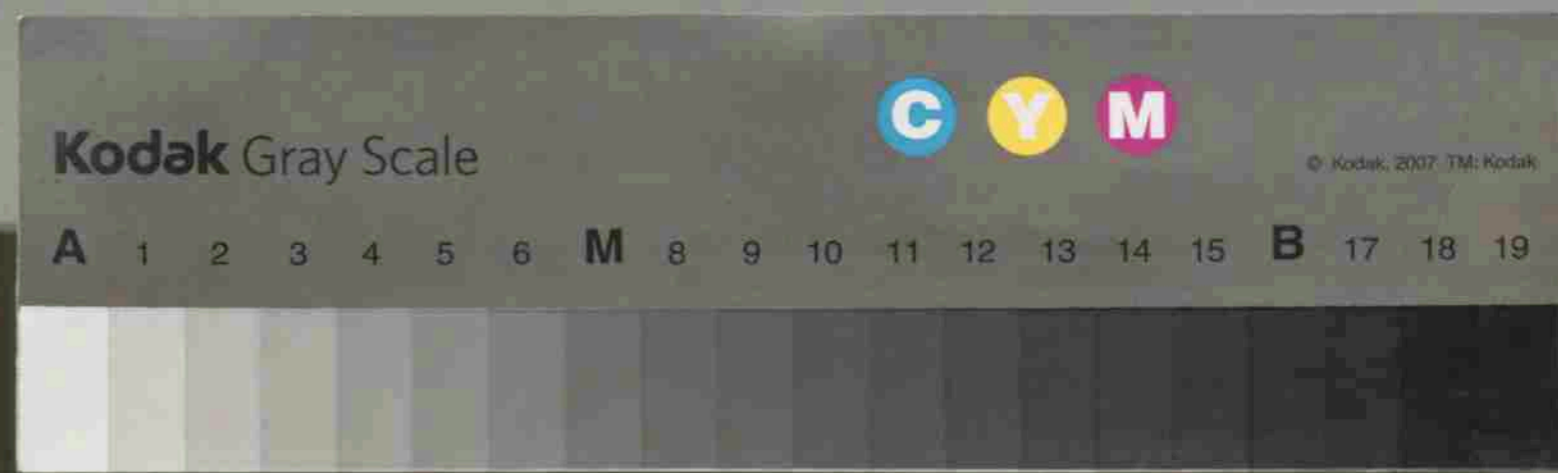
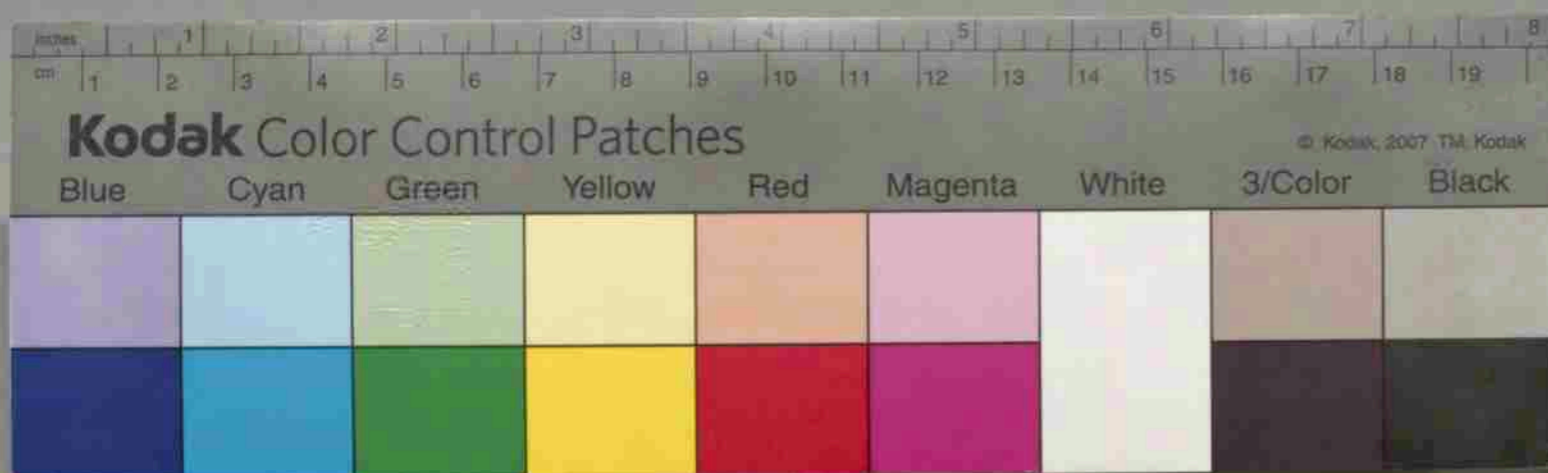




墓地ニ於テ僧侶ハ再ビ讀經ヲナシ燒香ヲ了リ埋葬
 了レテ歸ル此ノ時近親一名近隣ノモノ名ト門前ニ於テ
 會葬者ニ會葬ノ礼ヲ述ブ僧侶ハ埋葬了リテ歸リ後
 尚位牌ノ前ニ於テ讀經ヲナシ全ク式ヲ了ルナリ
 葬式ニ會葬セルモノハ食膳ヲ饗ス食膳ハ家々ヨリテ
 素ヲ甲乙アリト雖引出物ヲ供ヘ酒ヲ饗シ身分ニ恥
 ナガル振舞ヲナスラ例トス又會葬者ハ多少香奠ト
 称シテ金錢ヲ贈呈スルナリ
 夜ニ至リテ近隣ノモノ靈前ニ念佛ヲ合唱シテ靈魂ヲ
 慰メ夜深フニテ各々家ニ歸ル
 葬式ニ了スル奇習ハ靈柩屋ヲ出ツルトキ龍ヲ坐敷ノ
 中ヨリ轉シ出ス

死之人アルトキハ近隣(坪内又ハ組合)ノモノ集マリテ親戚其
 他交際上親ニキ家々ニ死亡ノ通知ヲナシ傍ラ葬式ニ関
 スル準備ヲナス死人ハ近親ノ集マルテ臥床セシメ近
 親ノ集マルヲ待テ入棺ノ式ヲ行フ入棺式ハ死人ヲ湯ニテ
 洗ヒ白布ヲ纏ヒ草鞋ヲ穿カシメ棺ニ納ム夫レヨリ祭壇
 フ設ケ時差ノ品々ヲ供ヘ香花ヲ手向ケ食膳ヲ祭壇
 ノ前ニ具ス出棺ノ間際ニ至リ親戚其他悉ク靈前坐
 シ僧侶讀經アリ了テ野邊送りヲナス野邊送りハ録
 旗提燈花香自食膳等ヲ近親ノモノ持シ殊ニ嗣子ハ素
 足ニ草鞋ヲ穿キ編笠ヲ被リ位牌ヲ捧ゲテ棺ノ前ニ
 徐行シ婦女子ハ白布ヲ棺ニ結ビテ大勢ノモノ之ニ吊カリ
 其餘ノ會葬者ハ棺ノ後ニ供ヒテ棺ヲ墓地ニ送ル





二神葬式

祭儀式次第

第一鼓ヲ装束ヲ整ヘ豫テ定メシ各自奉仕ノ役割
及ヒ席煩ヲ訂シ嗽手水ノ儀アリテ溜間ニ正座ス

第二鼓ヲ祭場ニ入ル

着座

一 神籬及ビ被具ヲ供フ
後取之ヲ勤ム

二 副斎主降神祠ヲ白ス
諸員平伏

三 被主 被祠ヲ白ス
..

四 大麻行事
大麻役之ヲ勤ム

五 塩湯行事
塩湯役之ヲ勤ム

六 副斎主昇神祠ヲ白ス
諸員平伏

七 神籬及被具ヲ撤ス
後取之ヲ勤ム

八 御簾役御簾ヲ上げ
警蹕ニ唱 諸員平伏
奏楽

九 神饌ヲ供フ
奏楽

一〇 斎主祝詞ヲ奏ス
諸員平伏

一一 神徳経
一同合唱ニ拜四拍手

一二 玉串ヲ捧ク
一拜ニ拍手 奏楽

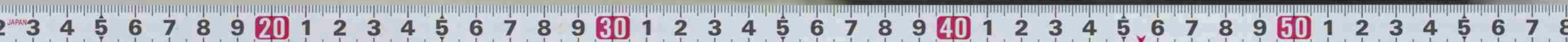
一三 神饌ヲ撤ス
奏楽

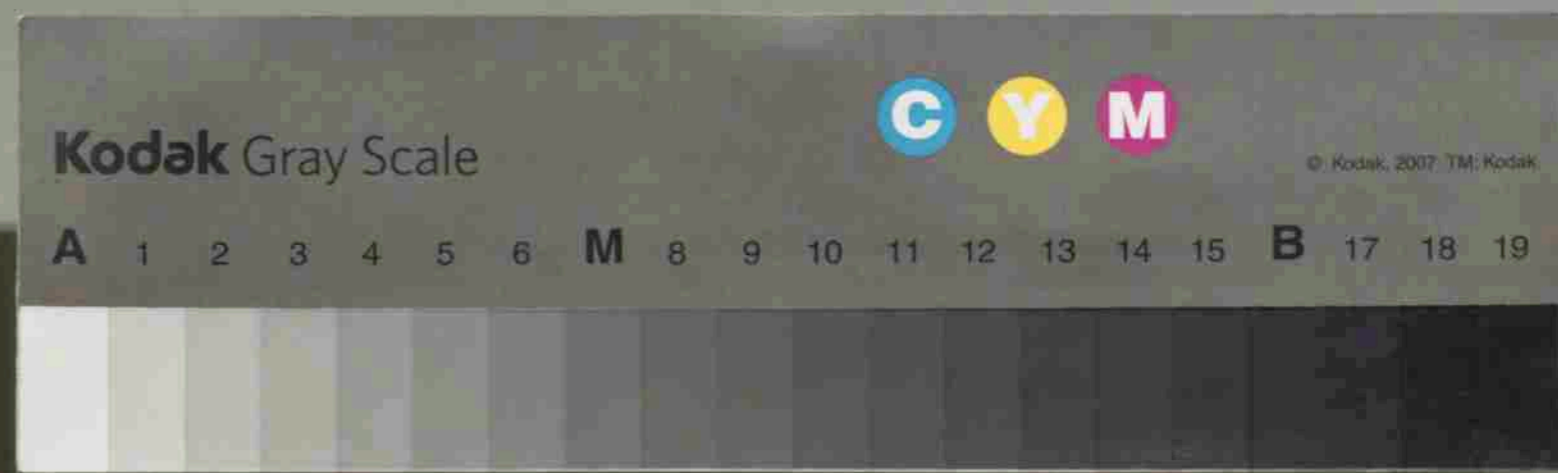
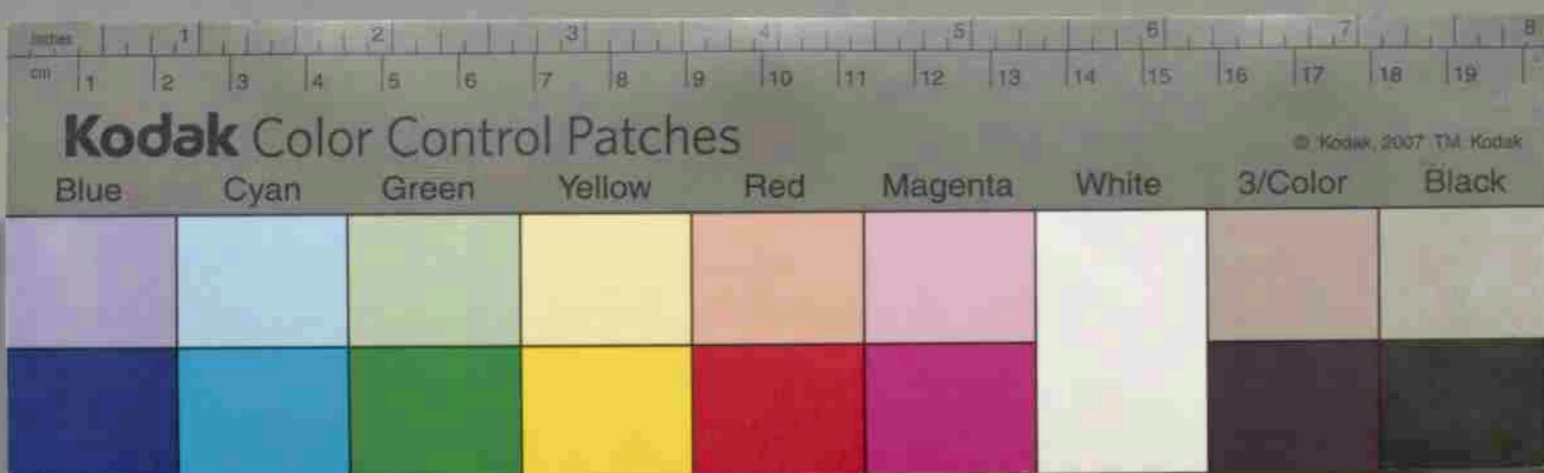
一四 御簾役御簾ヲ下ゲ
警蹕ニ唱 諸員平伏 奏楽

一五 退手
一拜ニ拍手

一六 第三鼓ヲ退場
奏楽

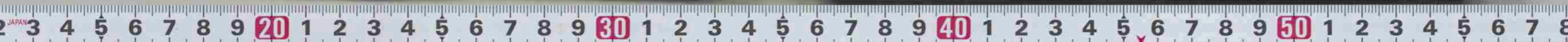
溜間ニ於テ直會 終ラ装束解

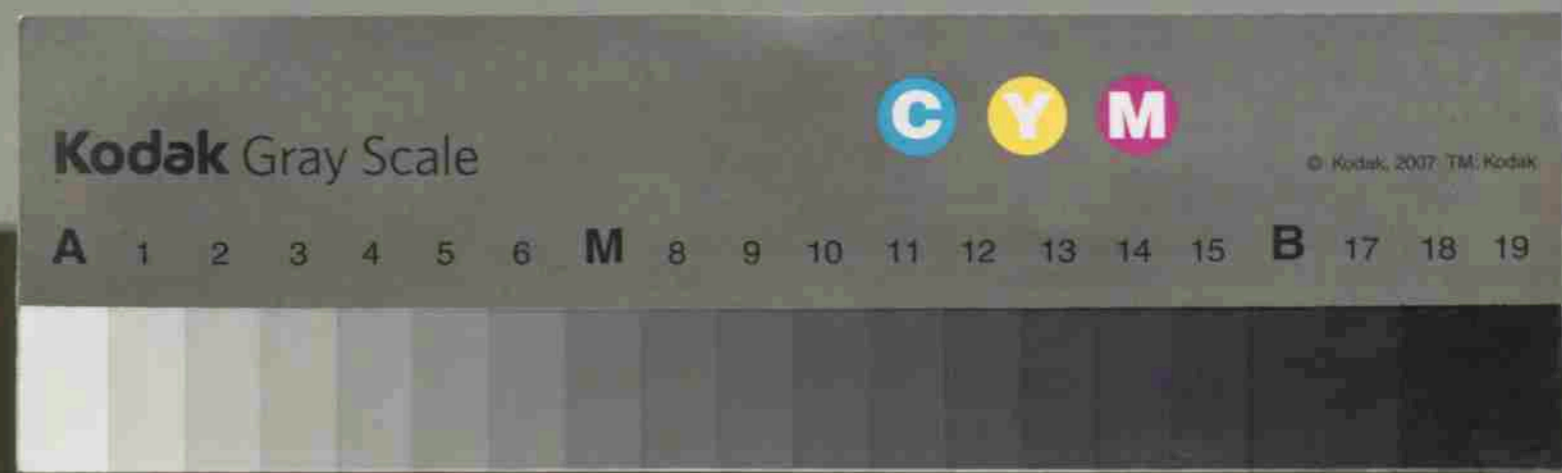
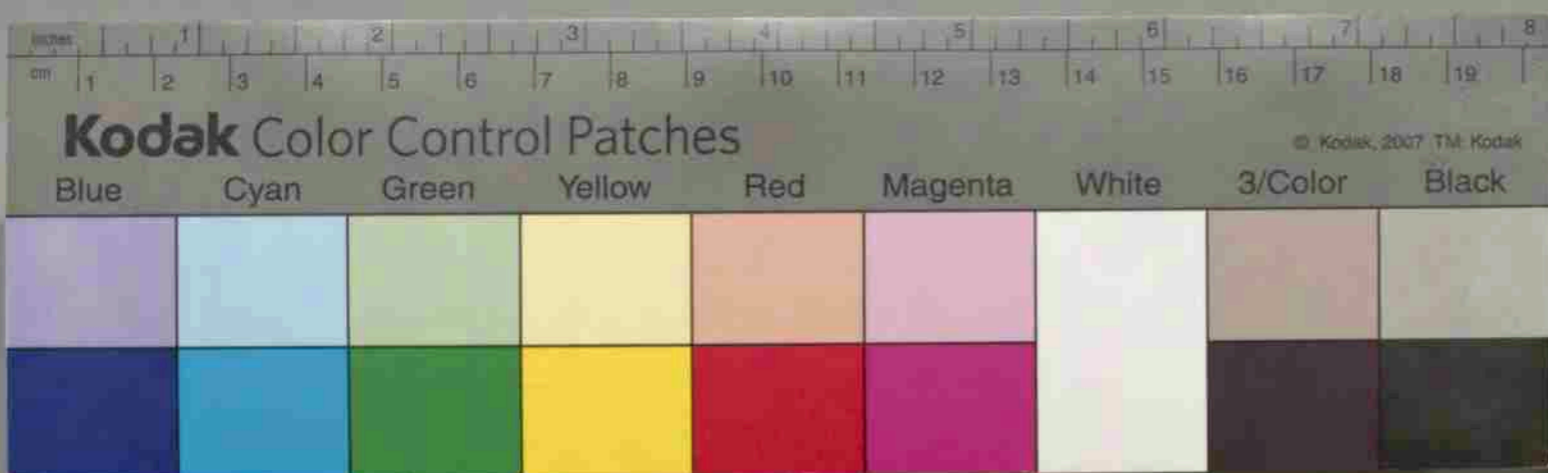




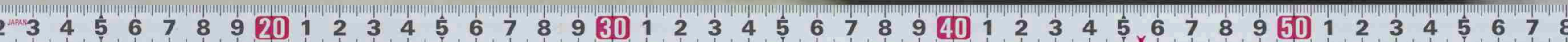
第二節 休日制度 勞働上ノ習慣
 一 休日祝祭日ハ物日節旬制度ニシテ正月 初午上巳
 誕生會端午七夕重陽朔日十五日二十日ニテ三日自費
 年祭天災祭其他等ニ業ヲ休ミテ終日悠遊
 ス而シテ新曆ヲ勵行スルハ如ク村役場ノ通達ア
 ルモ閑セズ今ニ改メス但今四十四年ニ於テハ于蘭盆
 會ハ新曆八月ヲ用フルコトナリタレバ漸次改良スル
 ニ至ラン
 明治四十三年十月十九日 清洲村長 金田慶次
 一年末年始、廻礼贈答等陰曆ニ依リ行ヒ未リシ
 旧慣ヲ改メ總テ陽曆ニ依ルコト
 二年中ノ休息日ヲ左ノ如ク定ムルコト

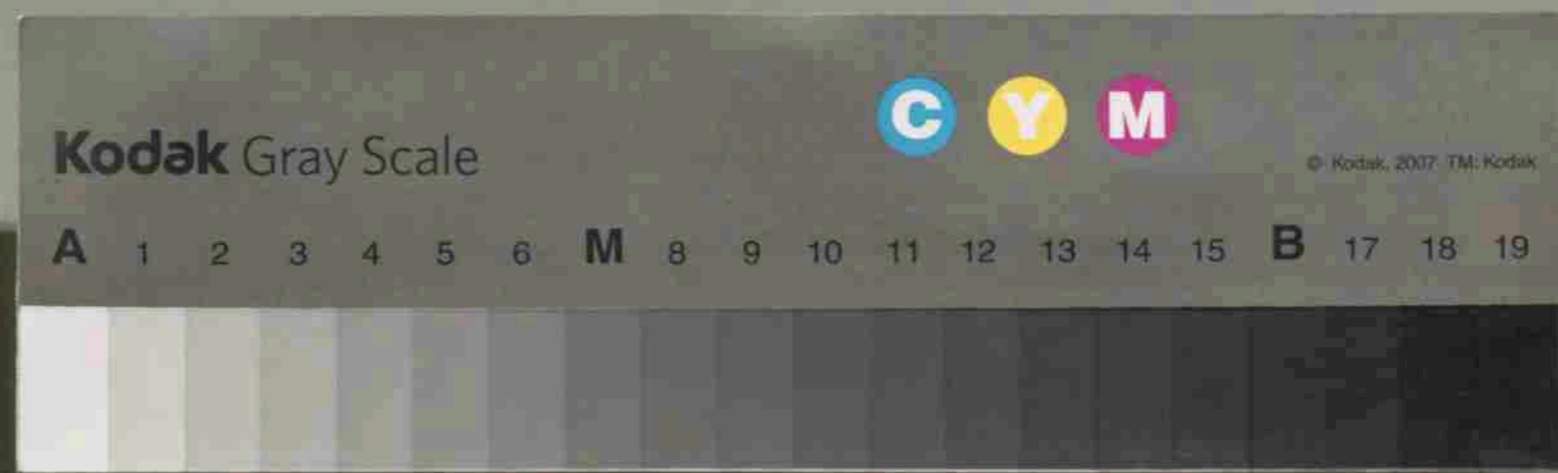
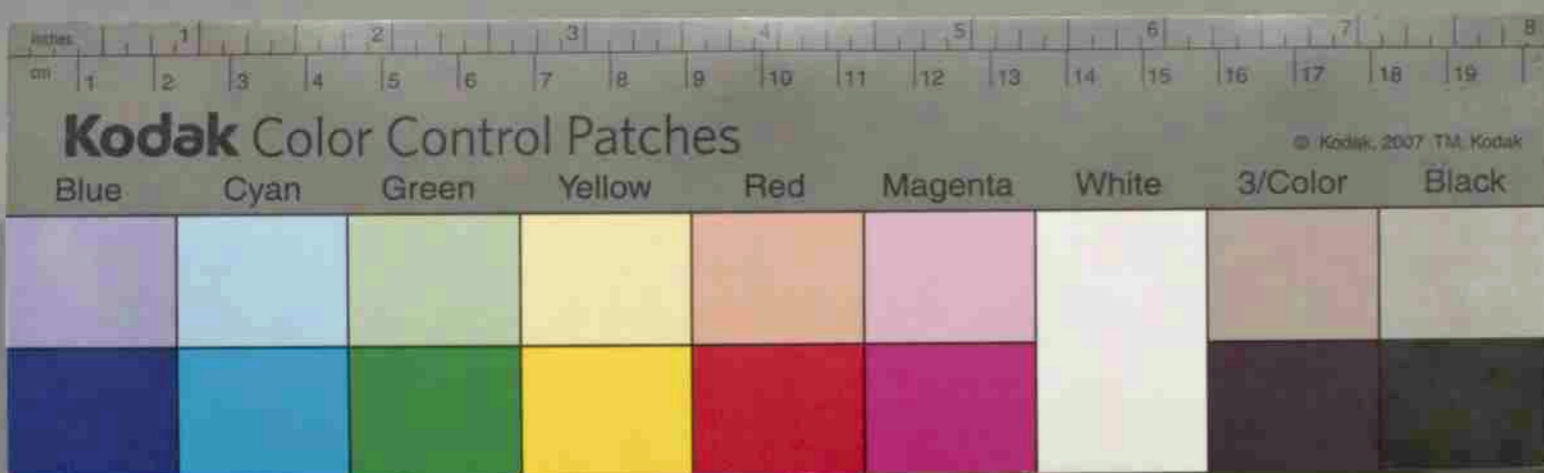
(Faint handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page)





一月 一日四方拜 二日賣初山入 三日元始祭
 七日 十日 鎌入 十五日 十六日 二十日
 春日 孝明天皇祭
 二月初午 十日 十日 紀元節
 三月 三日 四日 春季皇靈祭
 四月 三日 神武天皇祭 八日
 五月 五日 六日
 六月 十五日
 七月 七日
 八月 十日 十一日 十六日
 九月 九日 二十日 秋季皇靈祭
 十月 十日 二十七日 神嘗祭 二十日
 十一月 三日 天長節 二十三日 新嘗祭
 三神社祭典ハ陽曆ニ依リ適當ノ月日ニ改定スルコト
 四前項ノ外臨時休業日ハ日曜日ヲ利用スルコト
 五市日ハ統テ陽曆ニ引直スコト
 六門松等ハ心松ヲ使用セズシテ技松ヲ用ユコト
 二労働上ノ習慣 田植麻拔等ニ隣保相扶クルノ美
 風アリ殊ニ五人組ノ制度ハ寛永六年今ヨリ二百七十五年
 以前ノノ制度ナリニモ係ルルニ現今ニ至ルモ高衰ハ不
 吉此禍福共ニ相度及吊スルノミナラズ相扶クルハ飲ハ
 ヲキ現象ナリ政党政派ノ為ナリ此良俗美風ヲ損スル





Handwritten text on the left side of the page:

ハ共ニ積立フコトセリ
現在組合員ハ八拾人アリ資

Handwritten text at the top of the page:

一 村
二 村
三 村
四 村
五 村
六 村
七 村
八 村
九 村
十 村

Handwritten text at the bottom of the page:

五 月 廿 日
吉 野

A large rectangular area in the center of the page is covered by a piece of aged, yellowish paper, likely a repair or a placeholder for a drawing or photograph.

Handwritten text on the right side of the page:

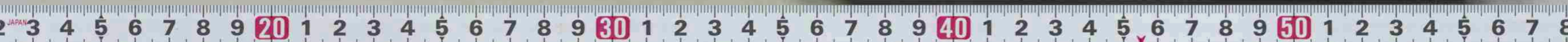
コトナクシハ昔其甚ナリ

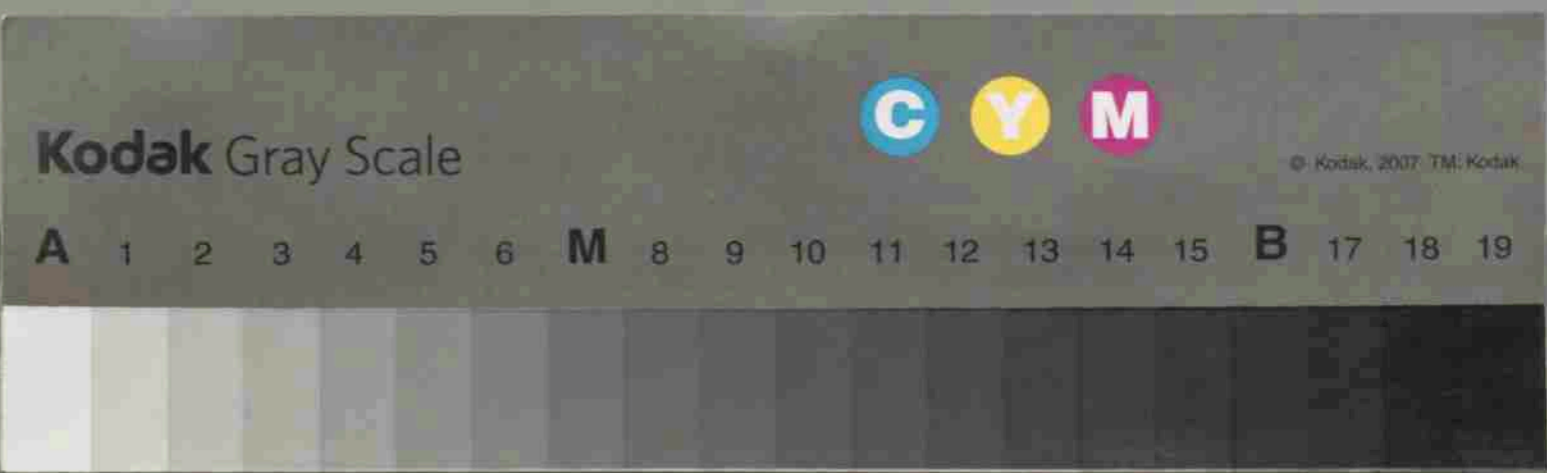
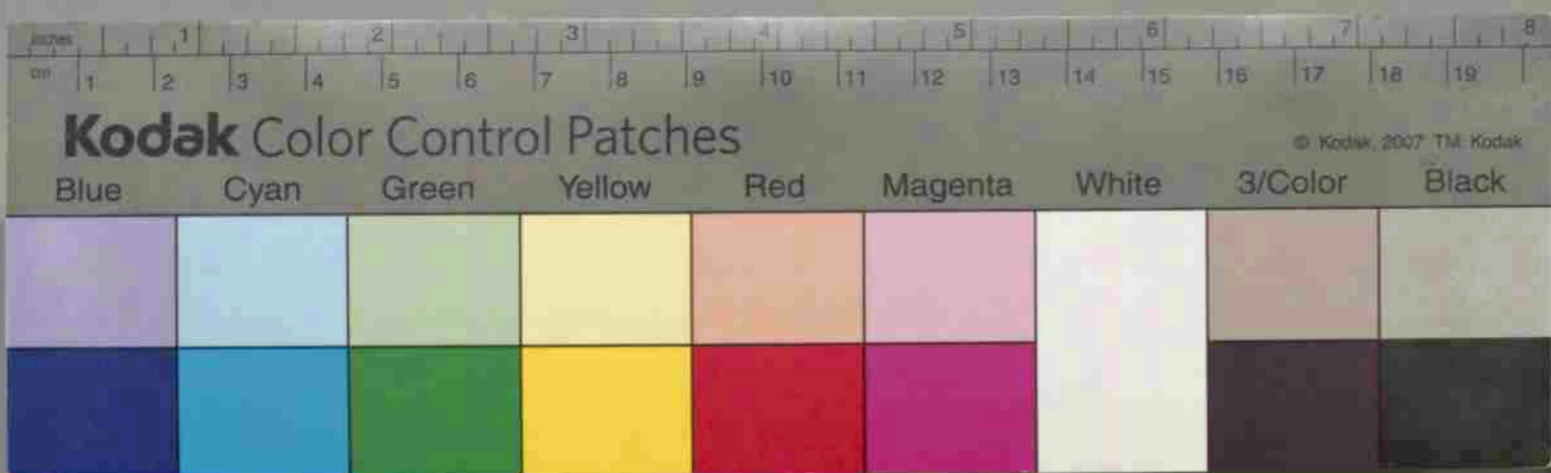
Handwritten text in the center of the page:

三 村 故 茶 典 八 部 野 林
四 前 野 林 故 茶 典 八 部 野 林
五 前 野 林 故 茶 典 八 部 野 林
六 前 野 林 故 茶 典 八 部 野 林
七 前 野 林 故 茶 典 八 部 野 林
八 前 野 林 故 茶 典 八 部 野 林
九 前 野 林 故 茶 典 八 部 野 林
十 前 野 林 故 茶 典 八 部 野 林

Handwritten text at the bottom of the page:

五 月 廿 日
吉 野

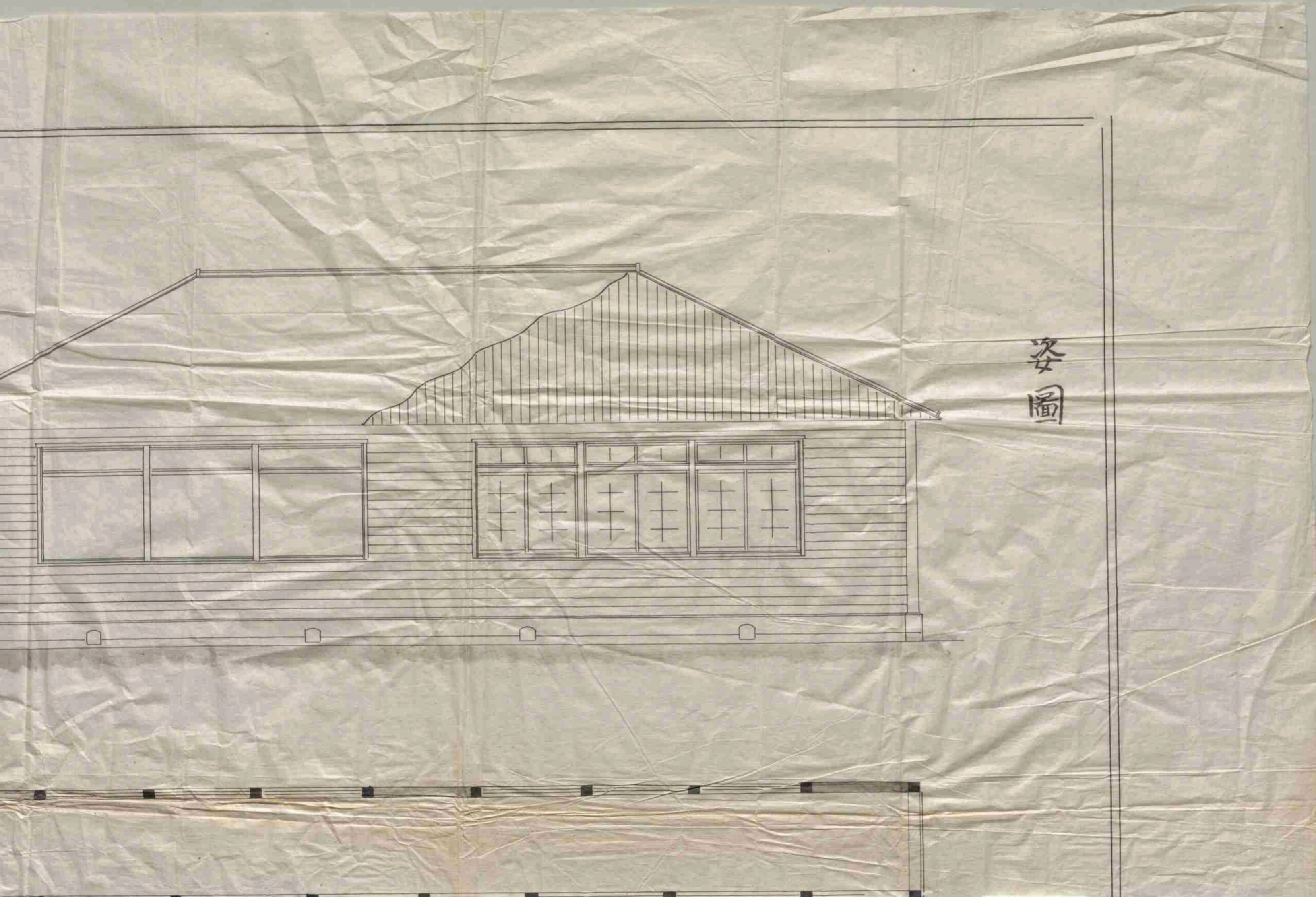
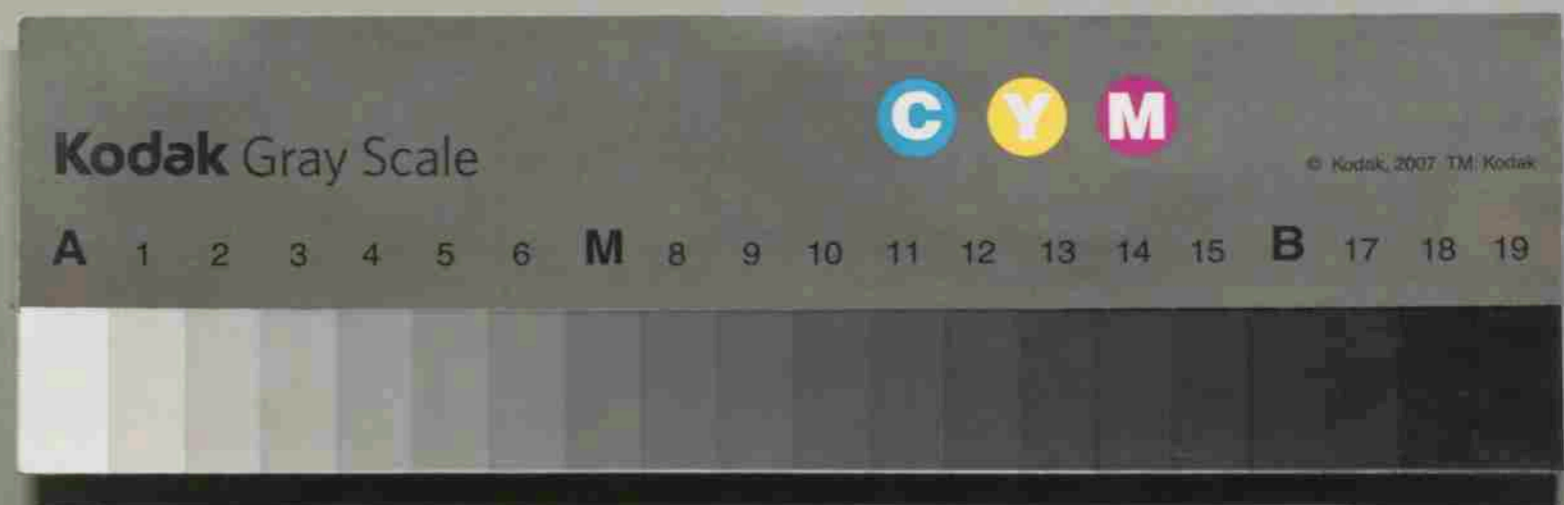
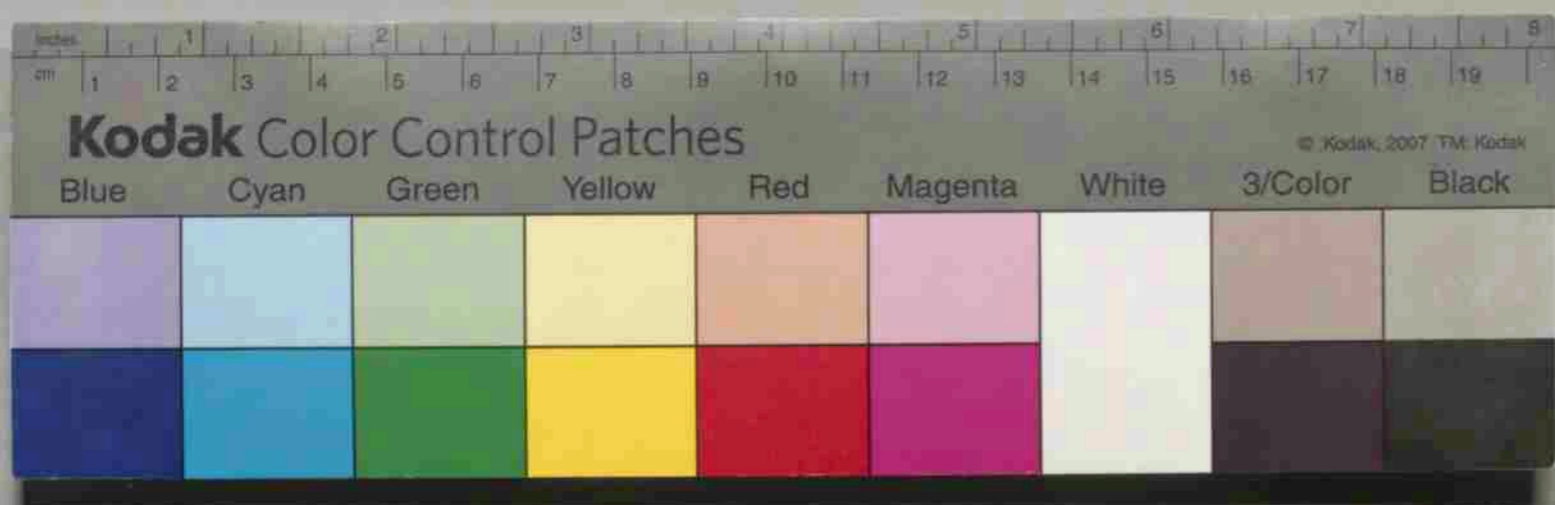




第一 村是規約條例
 二 村條例
 一 退隱科條例
 二 年數科 調考之條例
 三 村會議員定員 調考之條例
 四 村會議員選舉事務之 調考之條例
 五 公文格式之 調考之條例
 六 諸收入監督條例
 七 區會條例

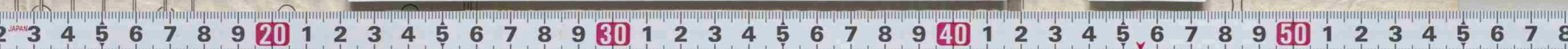
コトナクシハ 五年甚ナリ
 第一 村是規約條例
 第二 村條例
 第三 退隱科 條例
 第四 年數科 調考之條例
 第五 村會議員定員 調考之條例
 第六 村會議員選舉事務之 調考之條例
 第七 公文格式之 調考之條例
 第八 諸收入監督條例
 第九 區會條例

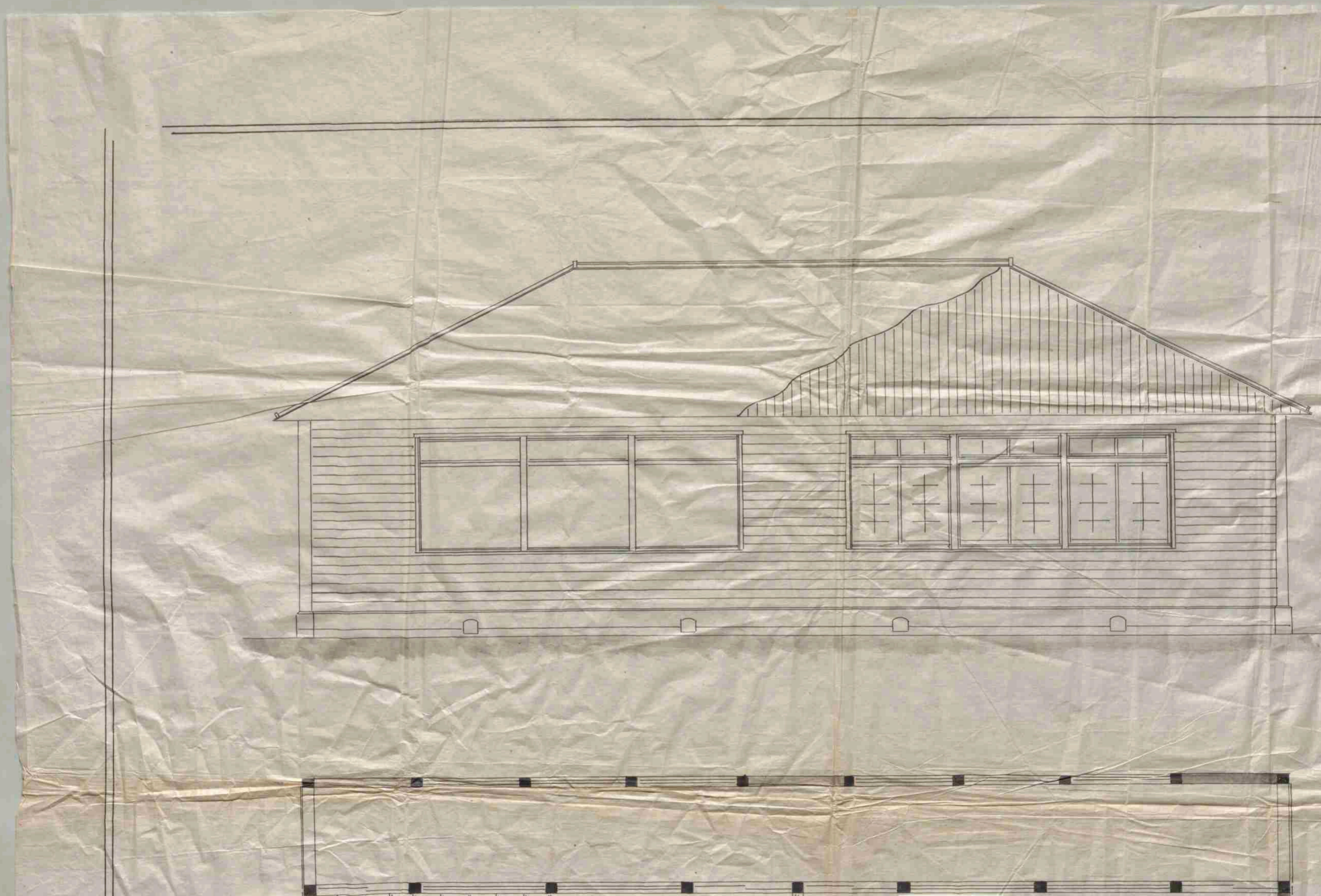
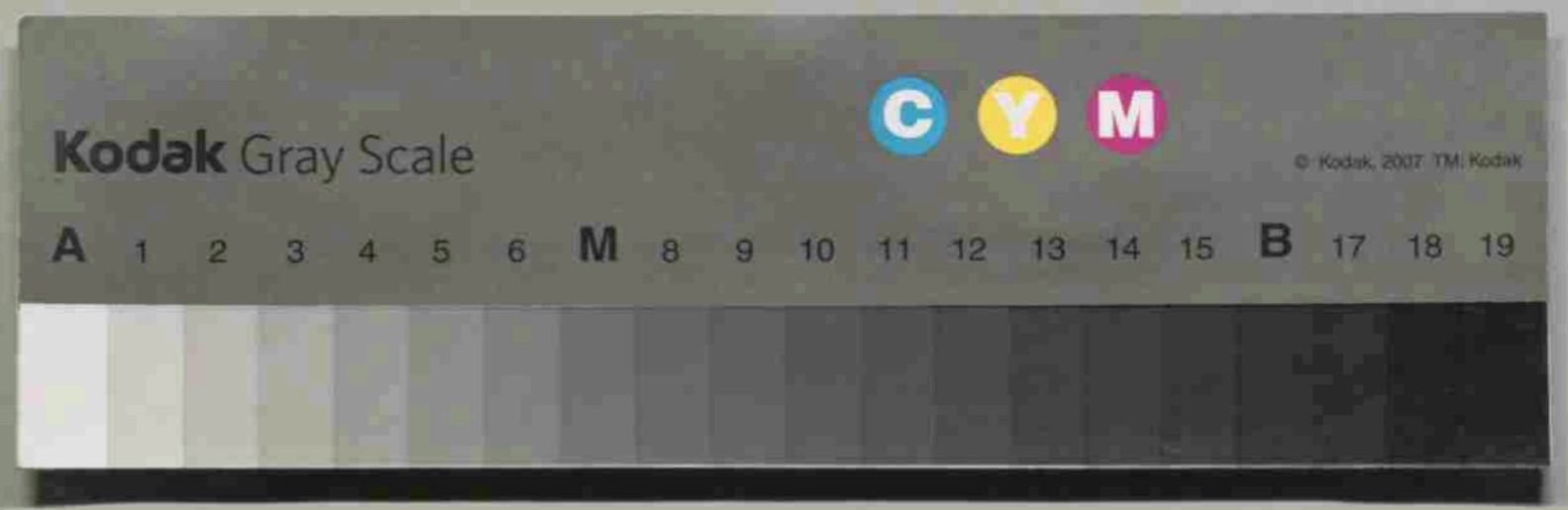




527 清洲地区久野 清洲第一小学校所蔵資料

ウ21

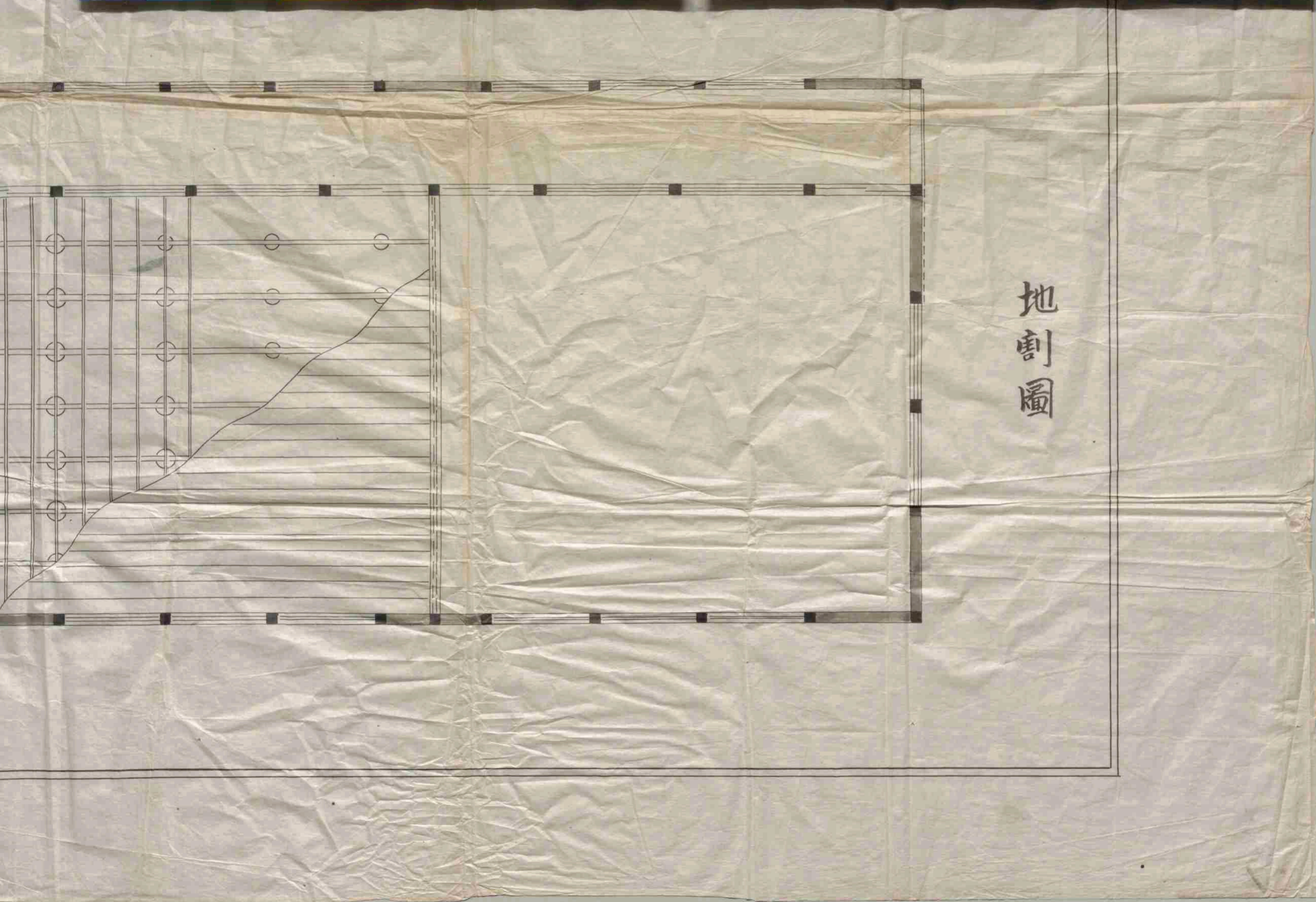




527 清洲地区久野 清洲第一小学校所蔵資料

ウ21



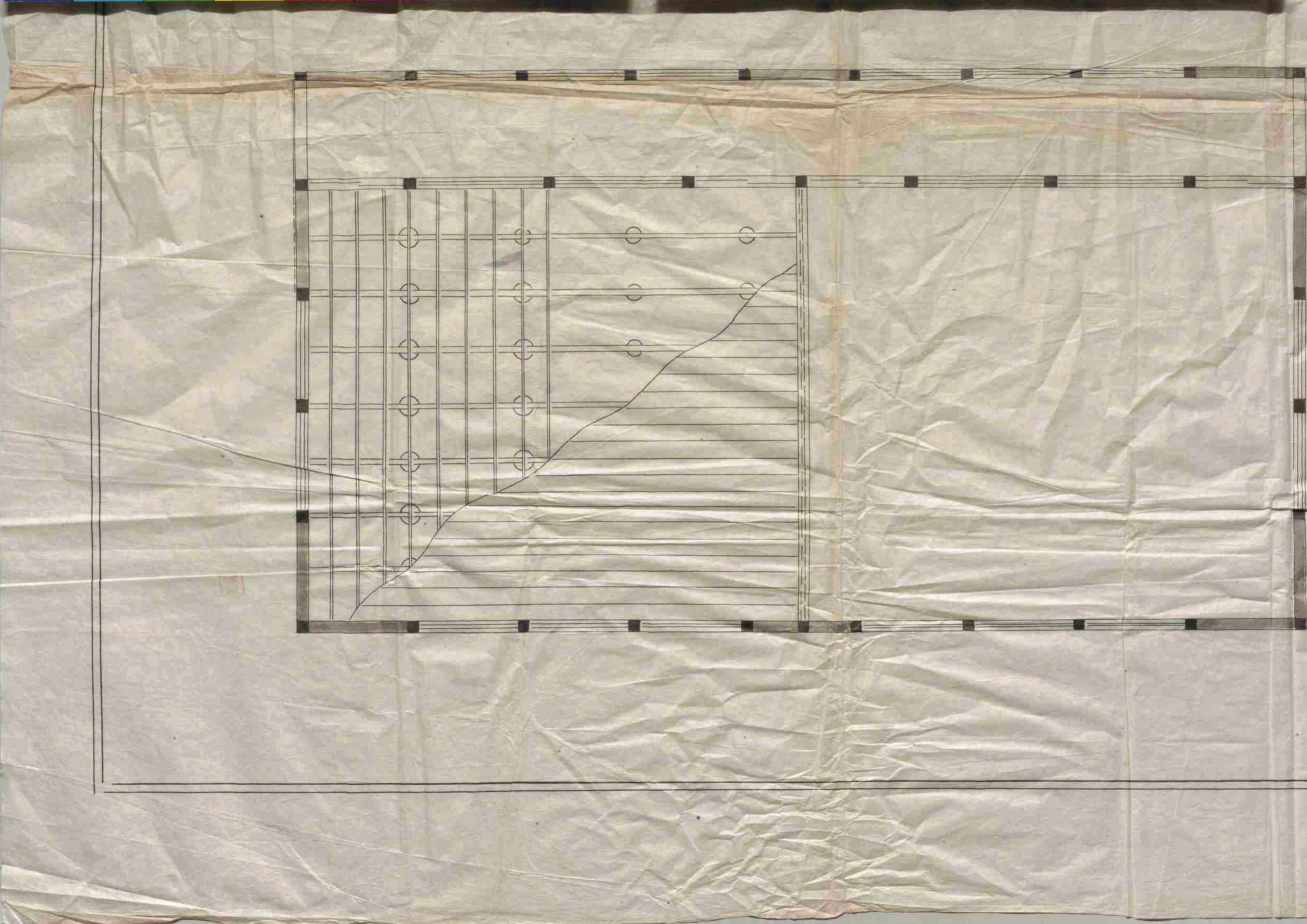
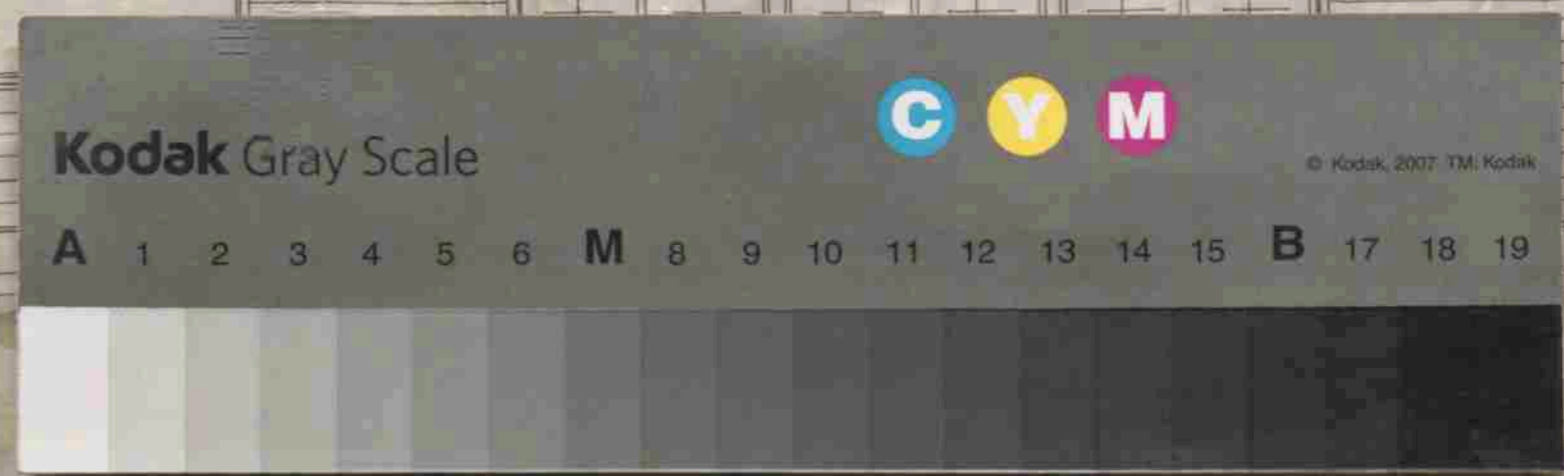
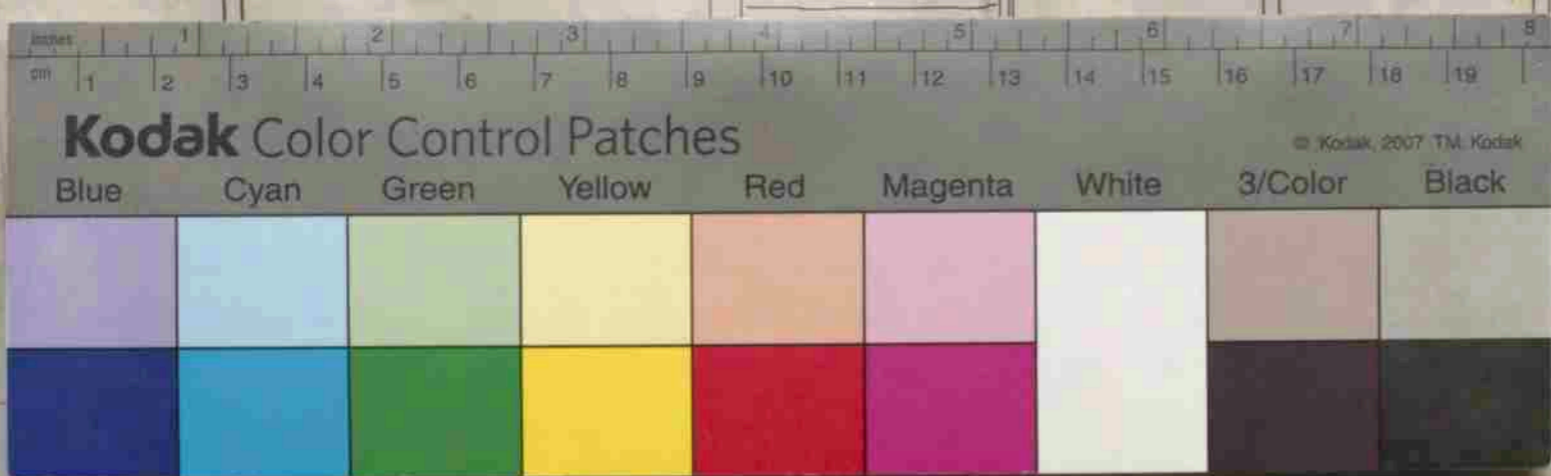


地割圖

527 清洲地区久野 清洲第一小学校所蔵資料

ウ21

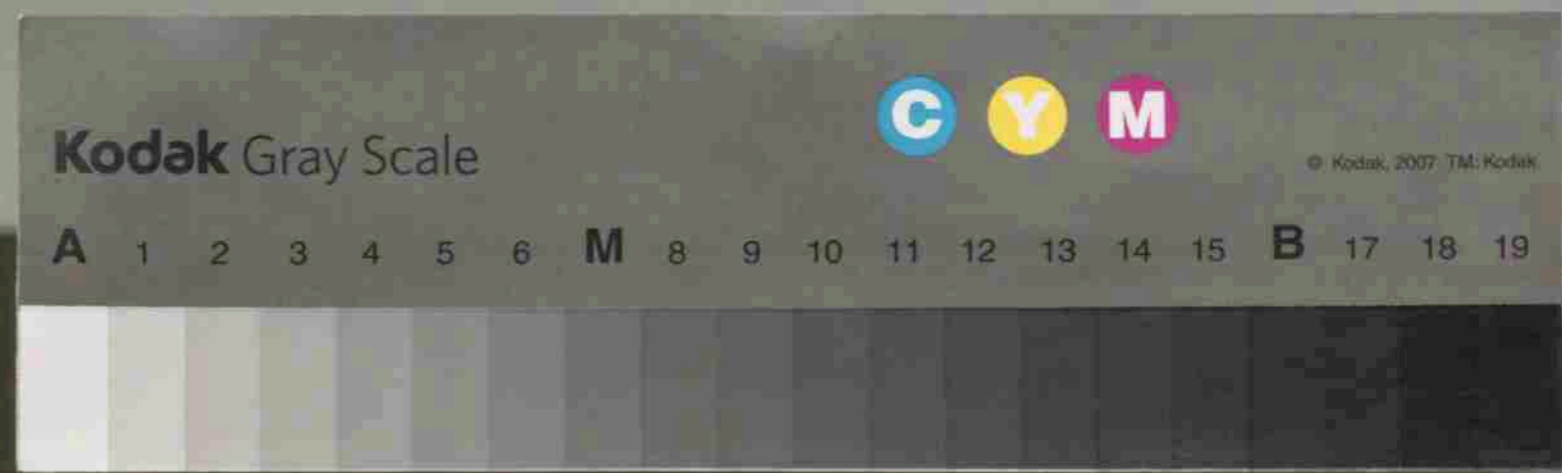
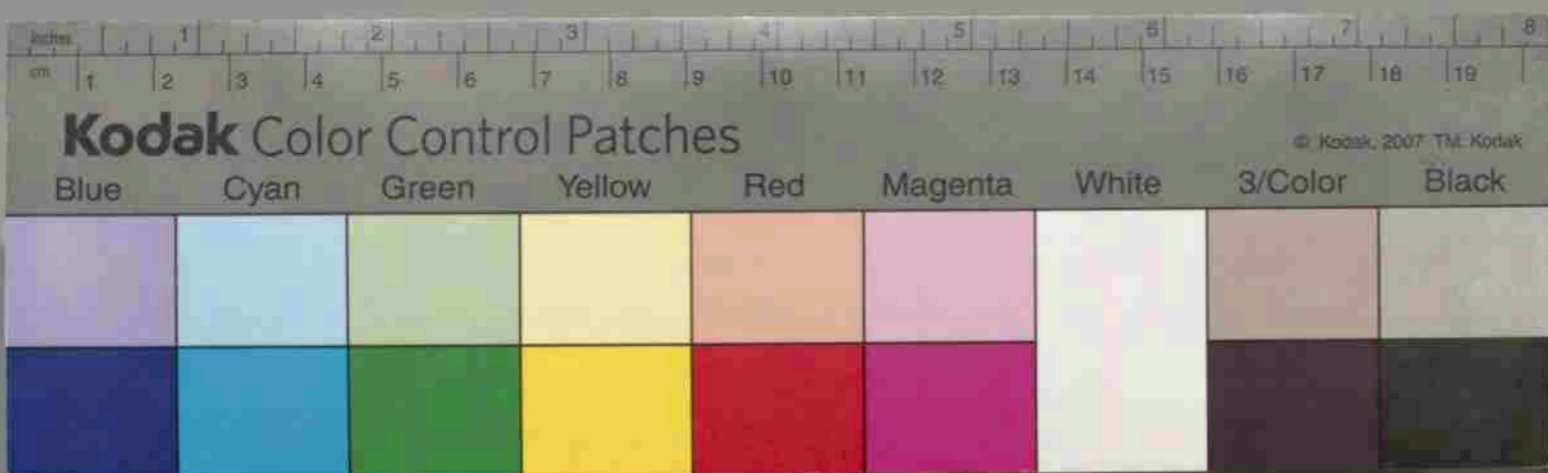




527 清洲地区久野 清洲第一小学校所蔵資料

ウ21





第七章 經濟

第一節 金融

第一目 金利

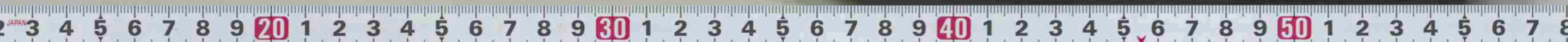
一金利ノ歩合
 信用貸低當貸ニ金五拾円以下ハ年利壹割五
 分五拾円以上ハ壹割ニ分位ナリ

二質物
 金老円以下ハ月利金四銭 以上ハ冬銭五厘位ナリ

三金融機関
 深程ニ清洲青年貯蓄組合ヲ毎月老口貳拾
 銭宛ヲ積立テ五年満期ニシテ満期ニ至ル迄ハ利子
 ハ共ニ積立ツトセリ 現在組合員ハ八拾人アリ資

清洲第一小学校所蔵資料

ウ21



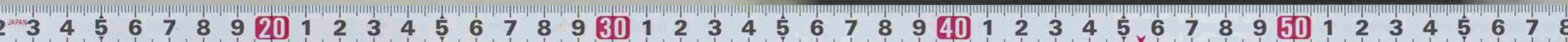


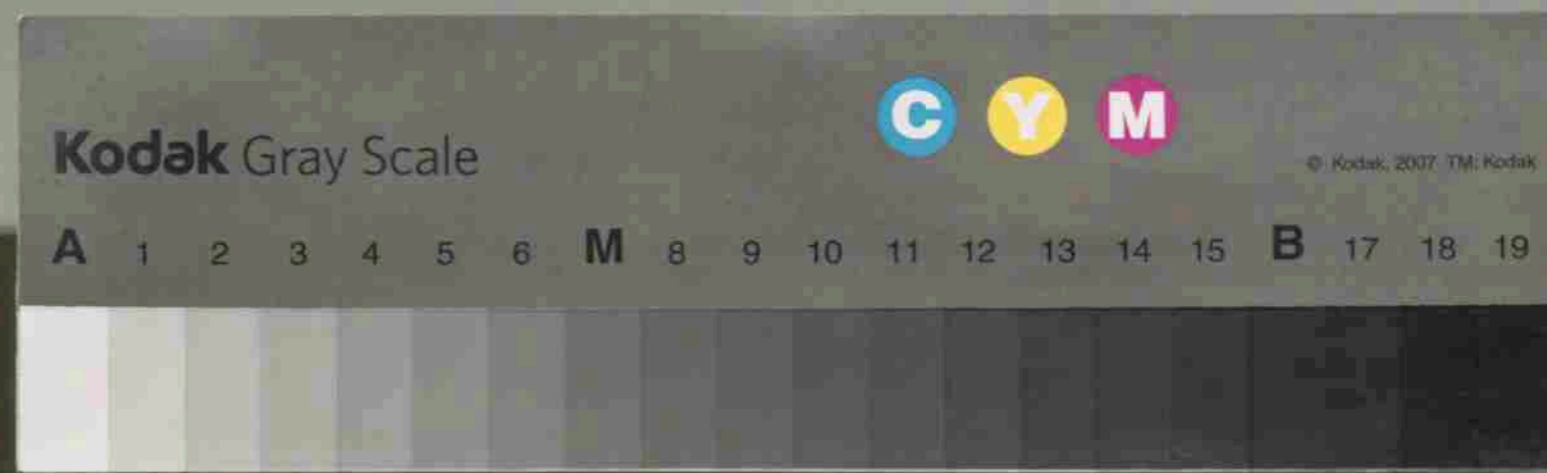
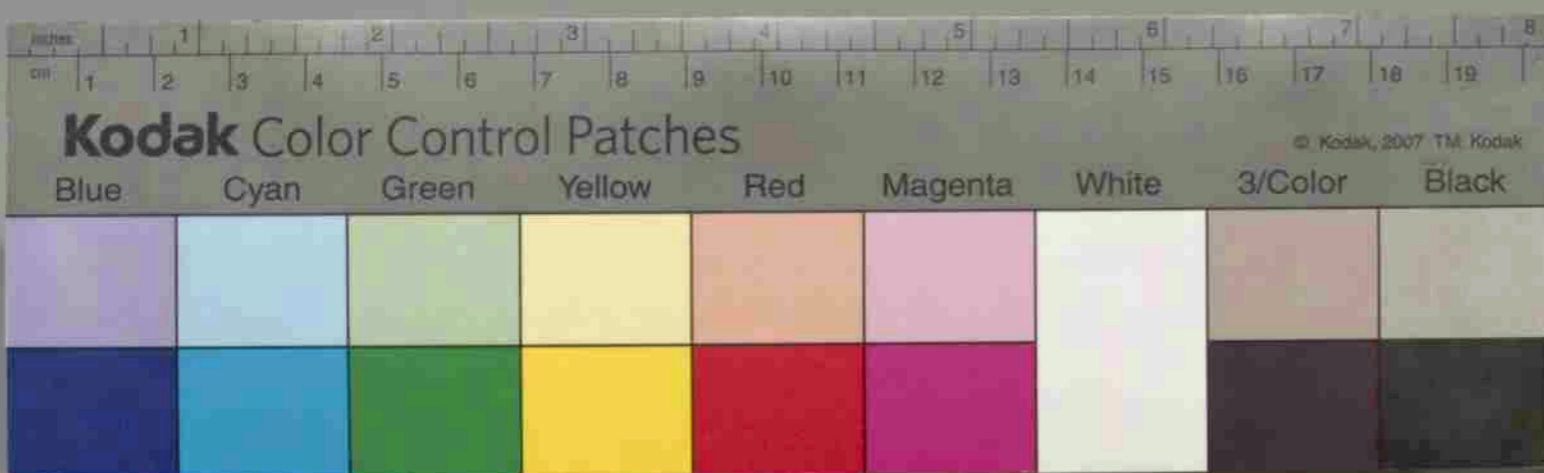
栗野銀行		南摩貯蓄銀行		南摩興業銀行		貯金所	
北半田	久野	北半田	久野	北半田	久野	大字	計
深程	久野	北半田	久野	北半田	久野	大字	計
一八八六・二二〇	五〇・一六〇	四七八八・一〇	一九一・五九〇	一六七二・〇一〇	二二三九・五八〇	〇	〇
七〇	二二〇	一四	一六	七	九	〇	〇

(明治卅四年七月末日現在)

金四千五百円ニ至ル 然レトモ未ダ法人組織ノ登記ヲ
 径下
 久野及北半田ニ産業組合ヲ(第三節産業組合
 制度ノ欄參照)

第一目 金
 第二目 金
 第三目 金
 第四目 金
 第五目 金
 第六目 金
 第七目 金
 第八目 金
 第九目 金
 第十目 金

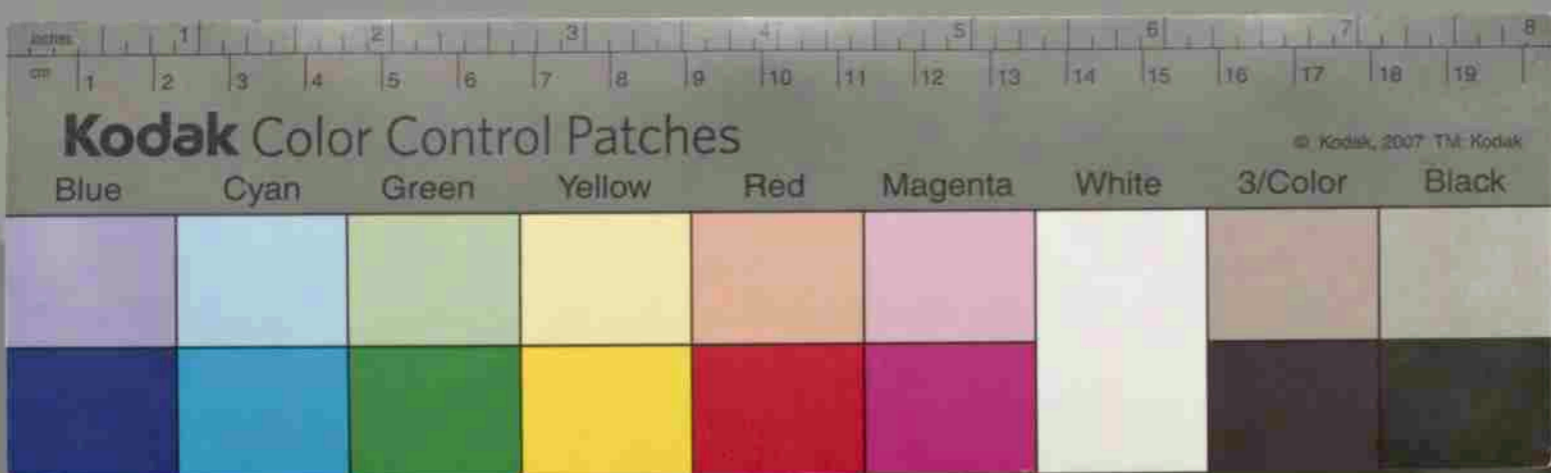




			通計	計	蓄組合	清洲青年野	計	久野
					深程			
			二、九三、一六〇	四、五〇〇、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇		一、二三五、八〇〇	
			四八〇	八〇	八〇		三二〇	

			計	計	栗野郵便局	下野野銀行	計	久野
			源程	久野	北半田	北半田		
			〇	一、三三五、八〇〇	三、八五六、〇〇〇	六、二六六、六五〇	五、九九八、二八〇	三、五三二、九〇〇
			〇	一三〇	六八	一八七	七二	一六





第二節 保險

保險ノ種類及金額表 (昭和八年現在)

種類	種別		計	金額
	男	女		
生命保險	一五	一	一六	一五〇〇〇月 (現在)
火災保險	一	〇	一	四〇〇〇月
合計	一六	一	一七	一九〇〇〇月

(本村ニ代理店ナシ)

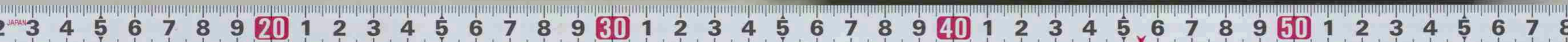
第三節 産業組合制度

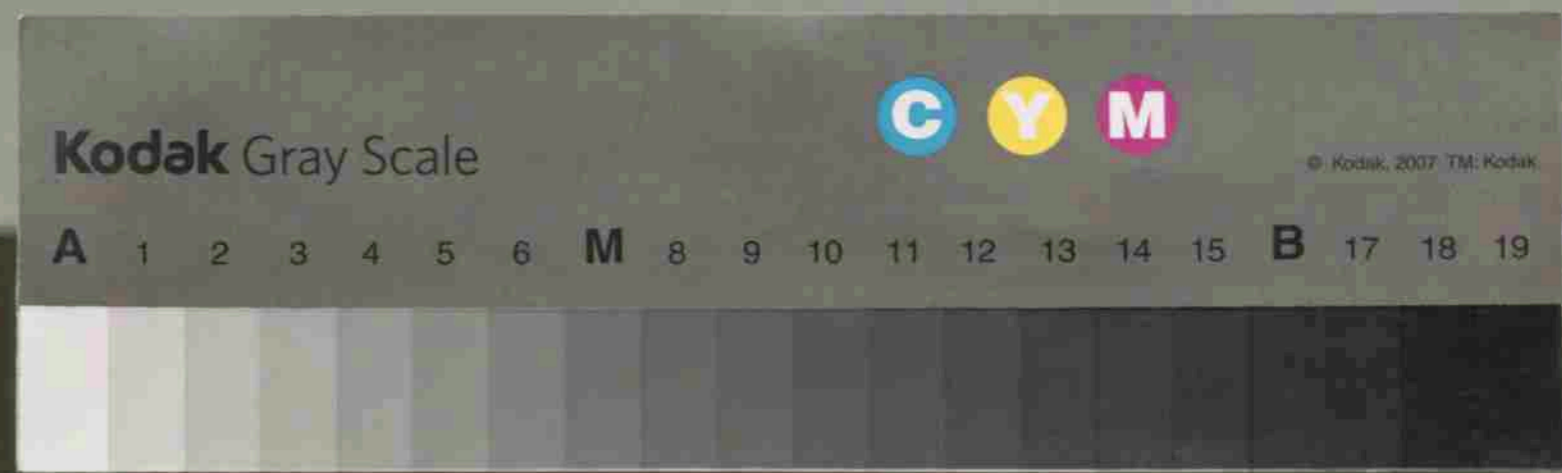
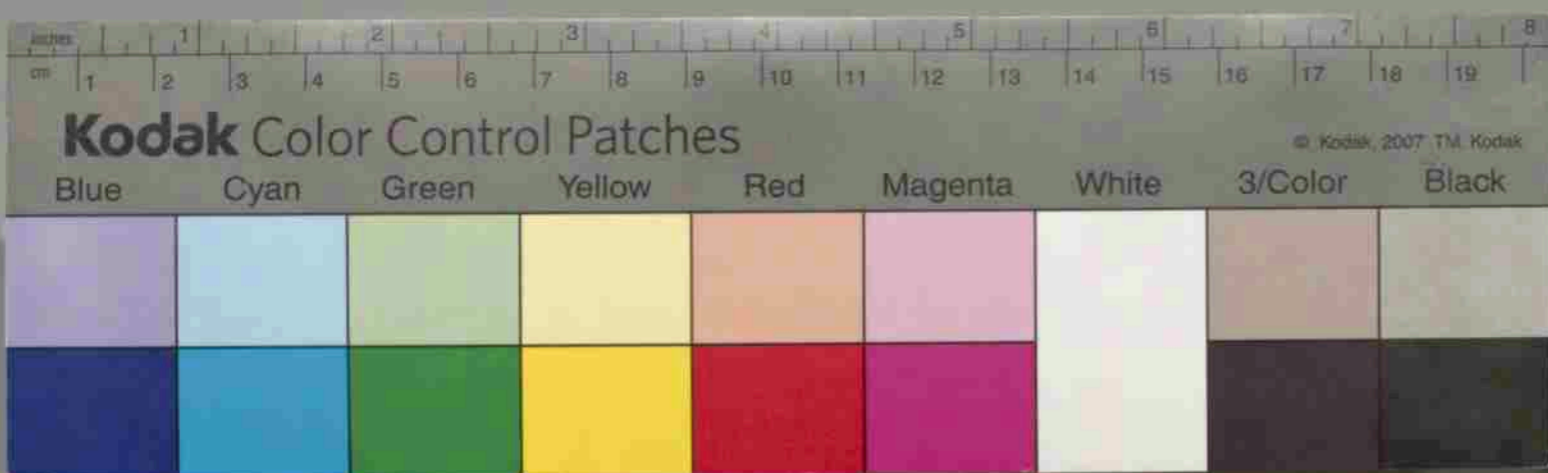
組合名稱 事務所在地 設立年月日 組合員 出資額已済及積立金額 沿革及事業 大要

清洲信用組合	大津久野	三十四年五月十五日	四六	三五七三六〇	組合員三〇名 事業三 必要元
北里田信用購買販賣組合	大津北里田	明治四十年十月二日	一〇一	四九八八〇〇	組合員一〇名 事業一 必要元

昭和八年現在

Blank page with faint vertical lines and ghosting of text from the reverse side.





第四節 運輸交通

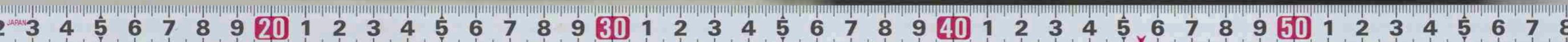
第一目 道路

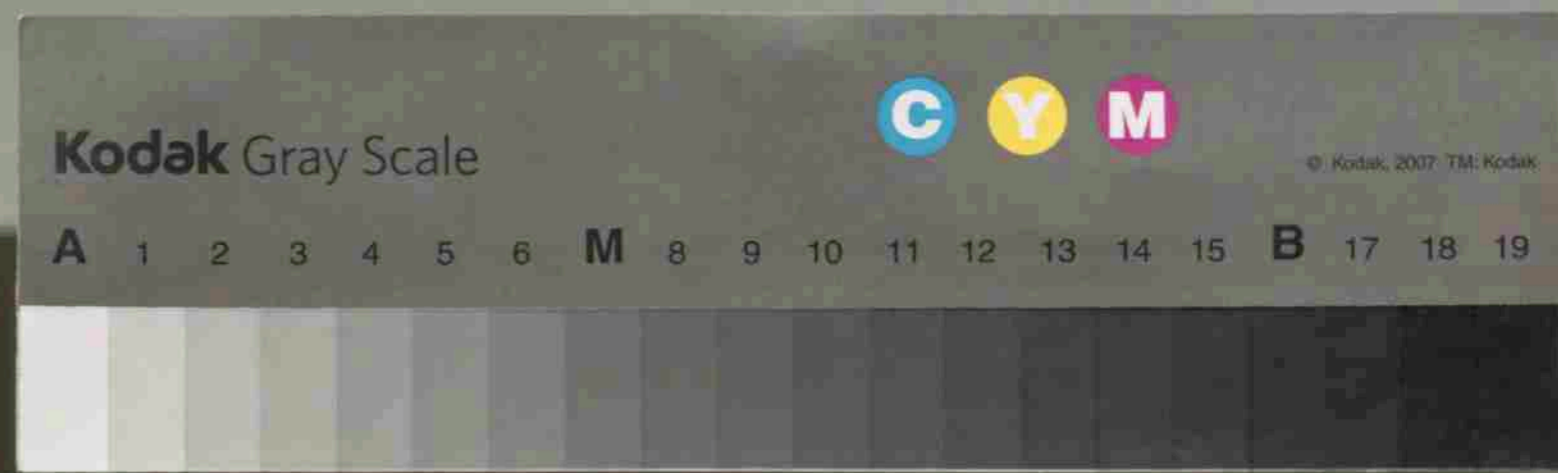
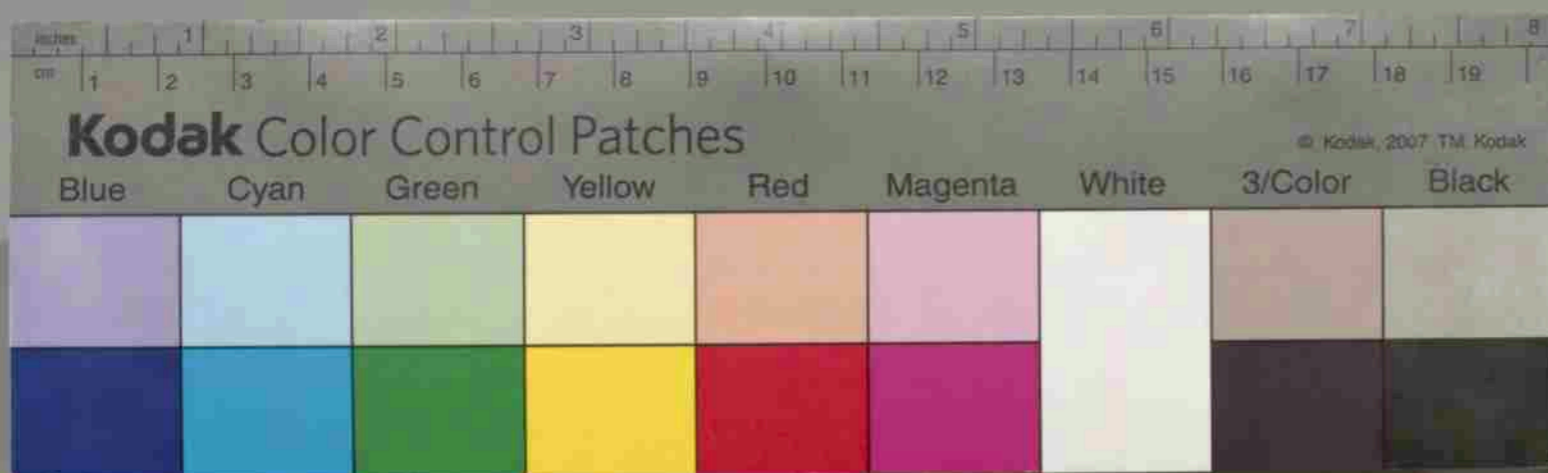
仮定縣道 栗野街道 栗野町 栃木町間、道路
ニシテ 本村 久野 深程、二字ヲ 縦貫シテ 真名子 村ニ
出ツ

一等 里道 鹿沼 街道 栗野 鹿沼 兩町間、道路
ニシテ 本村、北部 大字 久野ヲ 經テ 南 摩村ニ 至ル
一等 里道 栃木 道 大字 北 半田ヲ 經テ 西方 村ニ 至ル
里道 深程ヲ 北 半田ヲ 經テ 南 相原 村 大字 磯ニ
至ル

第二目 郵便 電信 電話
栗野 局 配 達 區 外 久野 深程、二字ハ 市内トシテ

栗野 鹿沼 街道 栗野 鹿沼 兩町間、道路
ニシテ 本村、北部 大字 久野ヲ 經テ 南 摩村ニ 至ル
一等 里道 栃木 道 大字 北 半田ヲ 經テ 西方 村ニ 至ル
里道 深程ヲ 北 半田ヲ 經テ 南 相原 村 大字 磯ニ 至ル



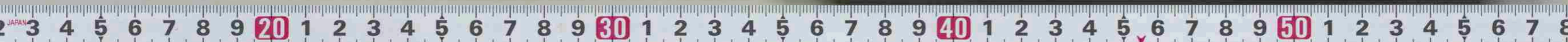


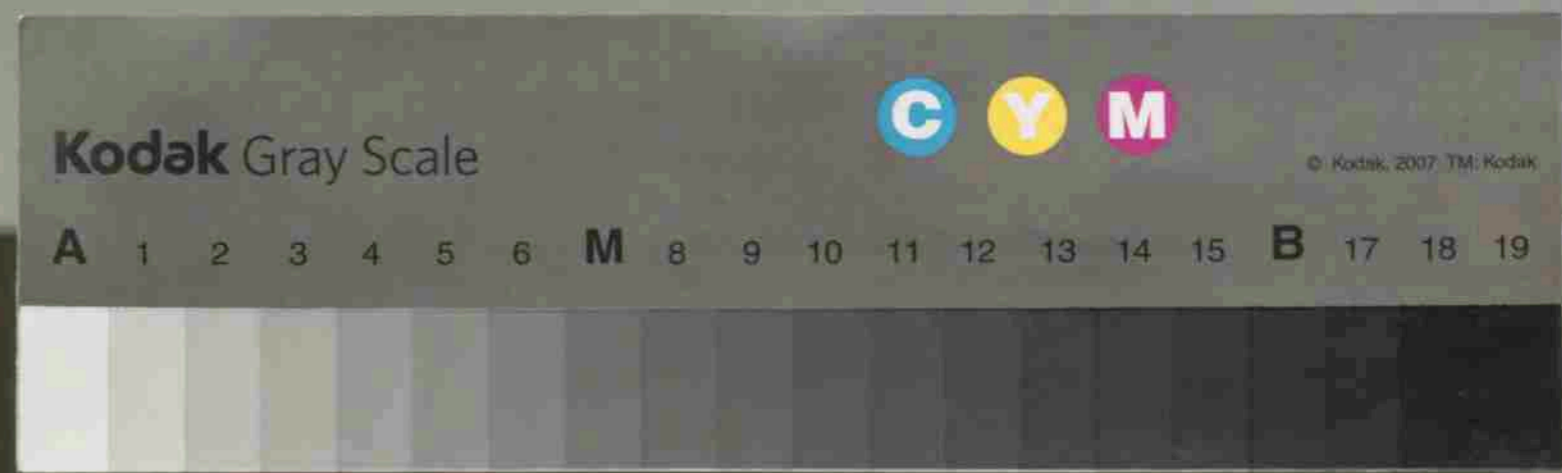
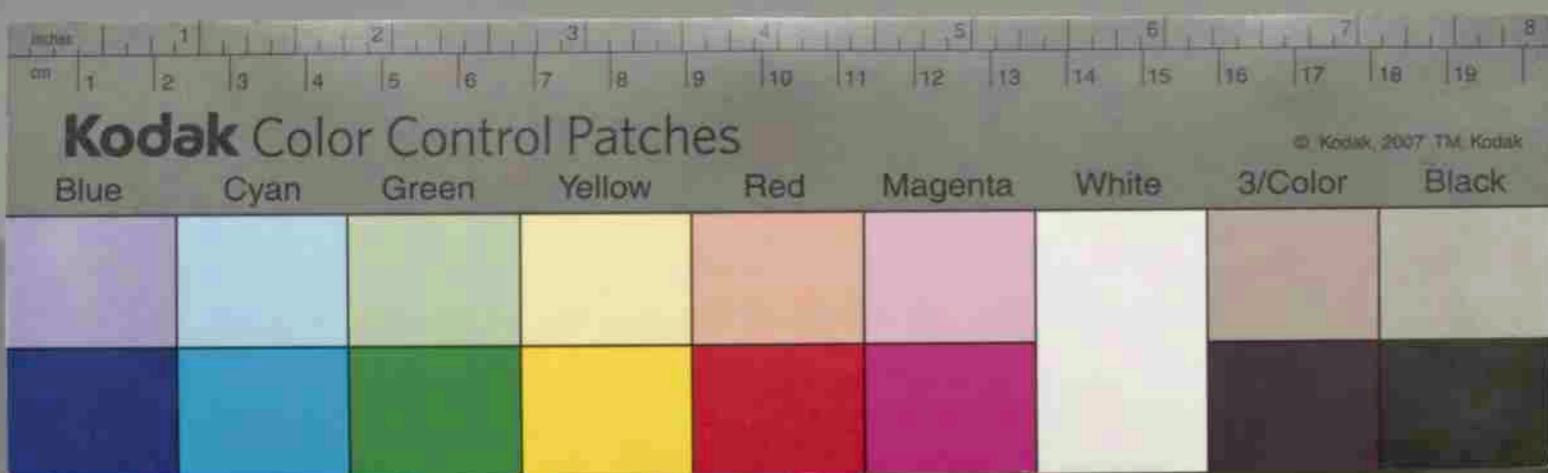
第五節 生産業
第一目 農業
重要農作物、種類及産額

種類	産額	金額
米	三九八三石二斗	六九四二六円
麦	四五一七石五斗	一八、一〇五円
苧	九五〇石〇斗	一、一八七円
大豆	三三石〇斗	三三〇円
麻	一八〇〇貫	四、六八〇円
煙草	七八八貫	七八八円
合計		九七、四六円

副業、部

郵便電信ノ配達ヲ取扱フ郵便ノ配達ハ一日二回
 榆木局配達区内ニ大字北半田ハ榆木局区内ニシテ
 配達ハ一日一回
 箱場 北半田ニハ塩沢次郎太郎深程ニハ平
 野幸七久野ニハ安生武一郎方ノ三ノ所トス
 電信線 久野ニ鹿沼栗野間ノ線アルノミ
 電話 架設ナシ





合計 九九枚 五五四枚 九七三四

右産出ノ繭ハ生繭ニテ仲買人ニ賣却ス

桑園反別ハ早生五反中生九反晩生一町五反計

二町九反歩ノ其中夏秋蚕専用桑園ナルモノ三反三畝

歩ノ其他ノ桑ハ高木仕立ト付シ田畑ノ畦畔或ハ山ノ

麓等ニ植付ケアリ桑園ノ中耕ハ春夏秋ノ三四之

ヲ耕鋤ス

本村内煙草専賣法施行前ニ於テ耕作者アリタレド

モ施行以來之が栽培ヲ禁セラレタリ然ルニ明治四十二年

ヨリ是レハ試作ヲ許サレ現今約二丁歩ノ試作ヲナス

ニ至レリ

第四目 林業

種類	産類	金額
家畜卵	六一八メ	一〇五四
果實		一三五四
合計		二四〇月

第二目 工業

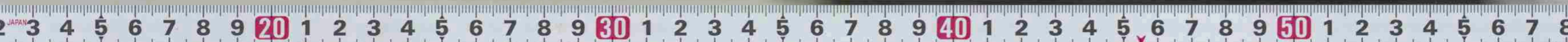
工業ト称スヤキ程ノモノナシ僅々一二ノ生線機械ニテ

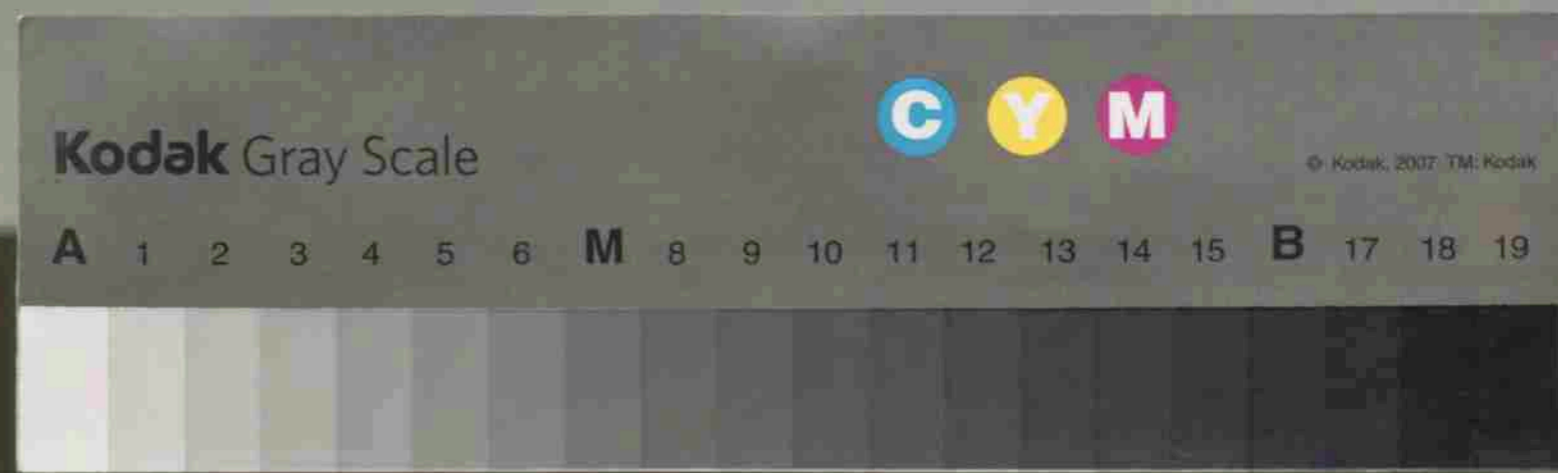
生糸ヲ製スル外農家ニ於テ自家用ノ製糸ヲナス位

ノ三、

第三目 蚕業 葉煙草

種類	掛立枚数	貫数	金額
春蚕	五六枚	一六八貫	六七二四
夏秋蚕	四三枚	八六貫	三〇一四





第七節 郷土、公經濟 (四三年一月日現在)

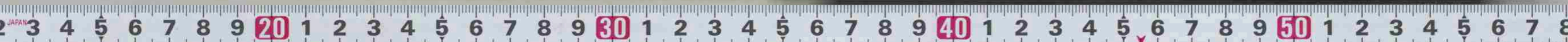
第一目 別地租及戸口當り

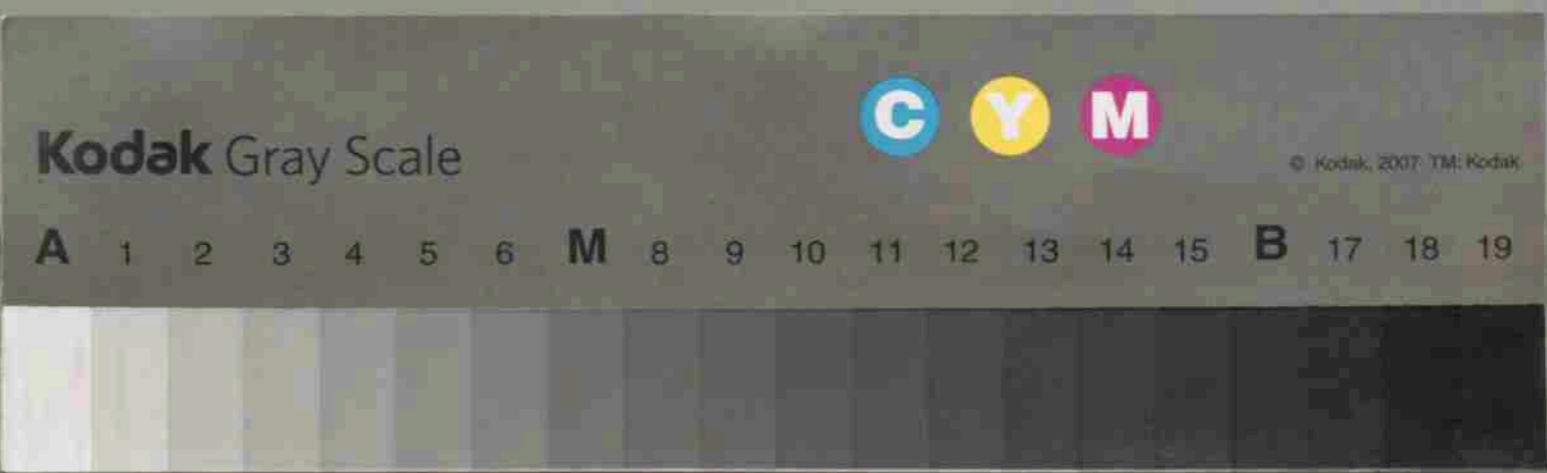
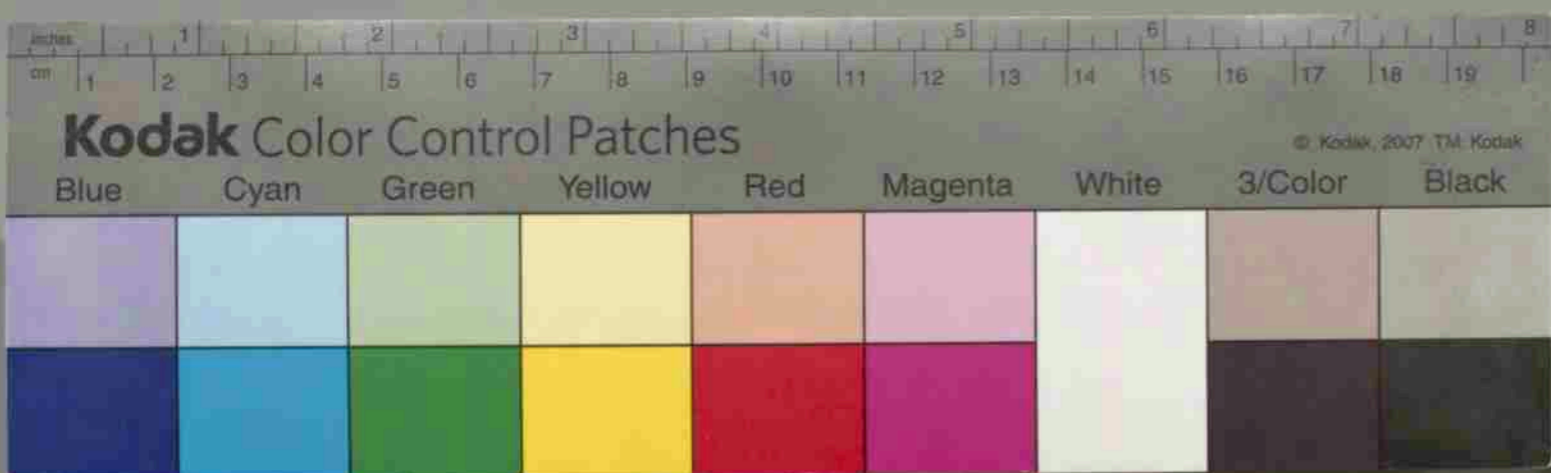
種目	種別	反別地租	一戸當平均額	一人當平均額
田	反別	二八八六	四三二七	九二五
畑	反別	一三三六五	九八五二	九五四
合計	反別	三三三三三	五二七〇	九〇九
其他	反別	八四三三	九七二二	五五四
總計	反別	二八五五五	五七三〇	五五四

第六節 商業

本村ハ農村ニシテ商業ニ於テハ特ニ記述スルキ程ノモノナシ

植林地 山林七二七三、五六一六、原野二五六、九一六
 反ニシテ植林法ハ大抵天然造林法ナリ人工造林法
 ニ於テハ谷或ハ平原ニ於テ杉松ク又キ等ノ植樹ヲナス
 落葉及ビ下草ハ主要ナル副産物トシテ肥料ニ供ス

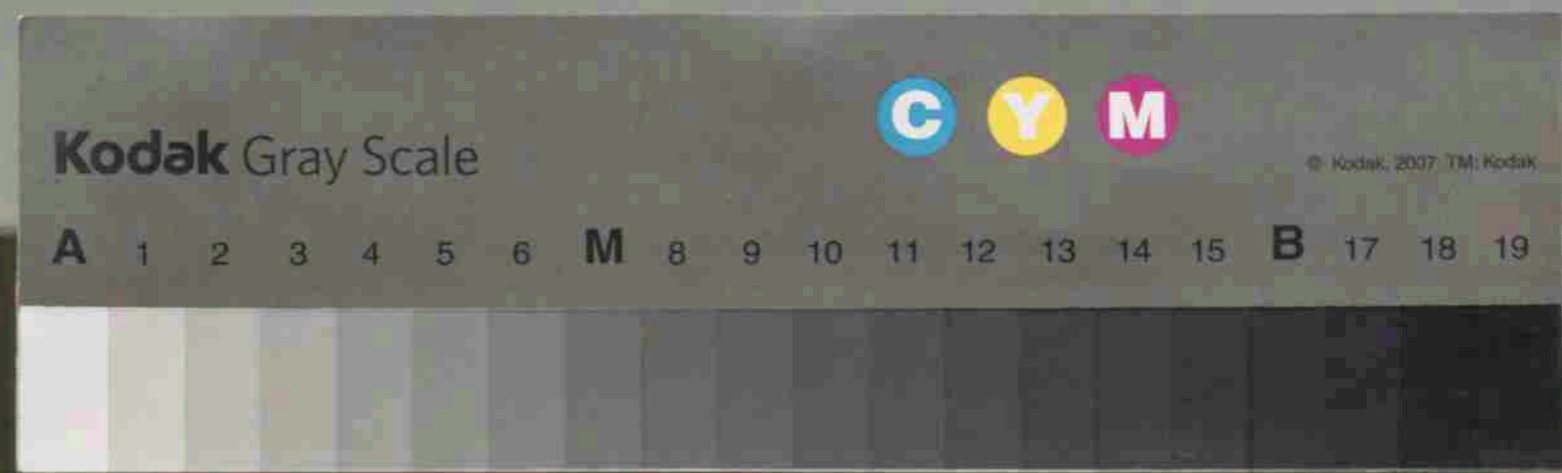




種類 種別	小作	所有	種別 種別	合計	山林	畑	田	種別 種別
反別	0	一四九七三四	反別	一三八〇〇	五〇〇〇	二三〇〇	五五〇〇	反別
小作料	0	一七五四六八	地租	六〇一九〇	一一〇〇〇	一四七四〇	三四四五〇	地租
小作料	0	一〇四九七二〇〇	小作料	一二二四〇〇	五〇〇	一八四〇〇	九九〇〇〇	小作料
<p>第二日本村ヨリ他町村ニ所有スル反別地租小作料</p> <p>第三目他町村ヨリ本村分テ所有スル反別地租小作料</p> <p>第四目他町村ノ地所ヲ本村人ノ小作反別小作料</p>								

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a ledger or record book. The text is written in a cursive style and includes various entries and numbers, possibly related to land or agricultural records. The page is numbered 21 at the bottom right.



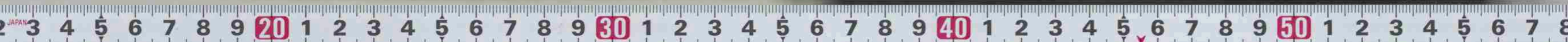


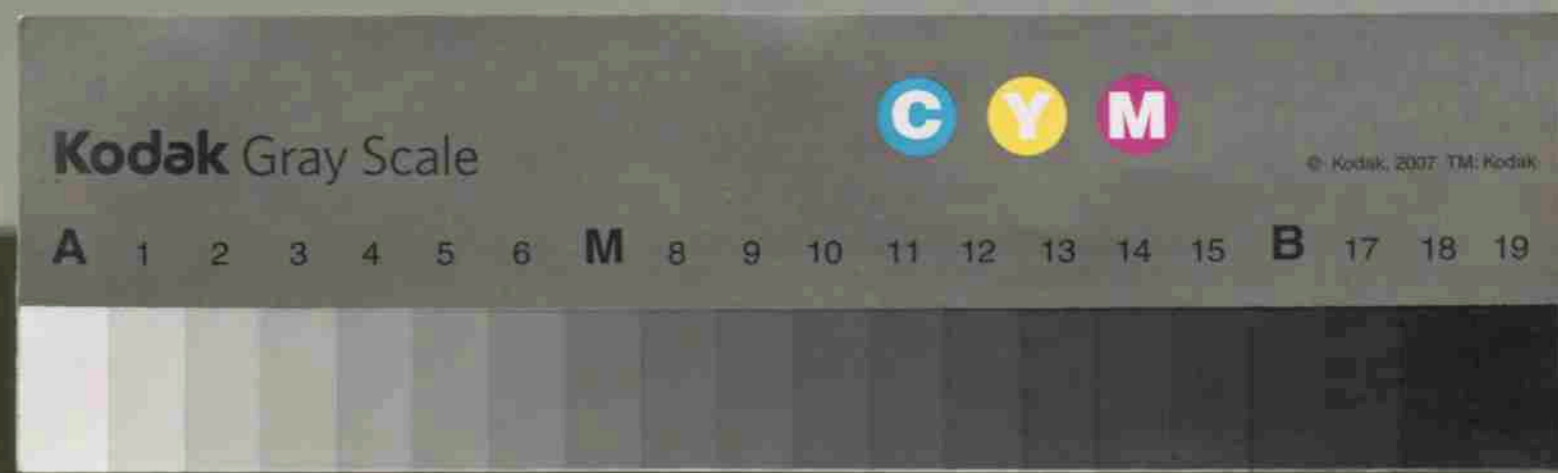
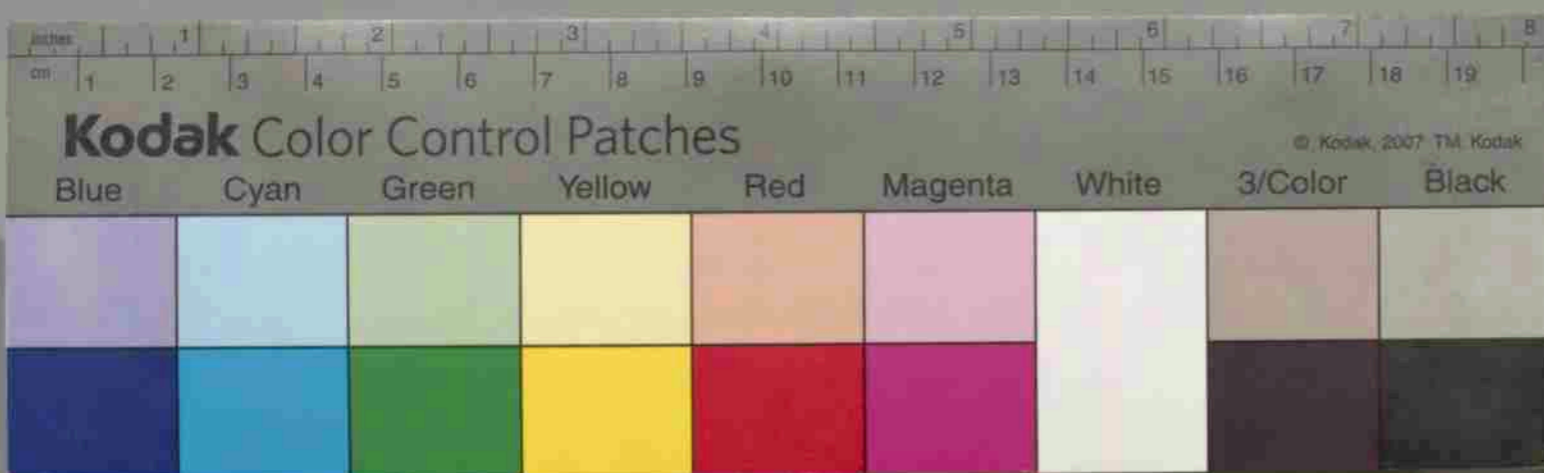
算目其二

種目	種別	及	別	小作料
本村人他町村に於り 小作スル土地				
他町村人本村に於り 小作スル土地				
差引他町村に於り 小作スル土地				
大字	種別			
久野	自作農	小作農	自作兼小作農	計
深程	二九丁歩	四丁歩	七三丁歩	
地半田	三一	三八	七五	
合計	一〇〇	一三三	二三八	肆五丁歩

算目其一

種目	種別	及	別	地租	小作料
本村人他町村 に所有スル土地					
他町村人本村 に所有スル土地					
差引本村人 所有スル土地					
第六目本村民所有權下及別地租及其元口當					
種目	種別				
所有	及別	地租	及別	平均額	平均額
一〇八反	一四一五反	五五三三	三三三〇	三三〇五	一六三六
第七目其一反別地租小作料差引過不足表					
種目	種別				
及別	地租	小作料			
一三八反	六〇一九〇	一三二四〇〇			
一四九九反	一七五四六八	一〇四九七二〇			
一三七反	一七二四	九二七三二〇			

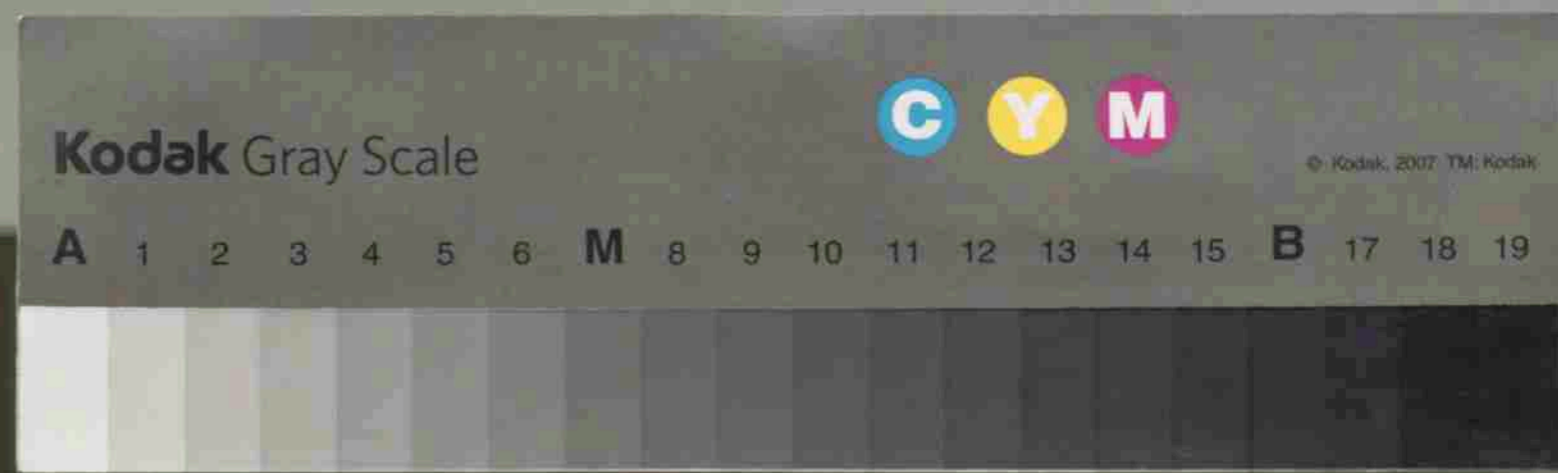
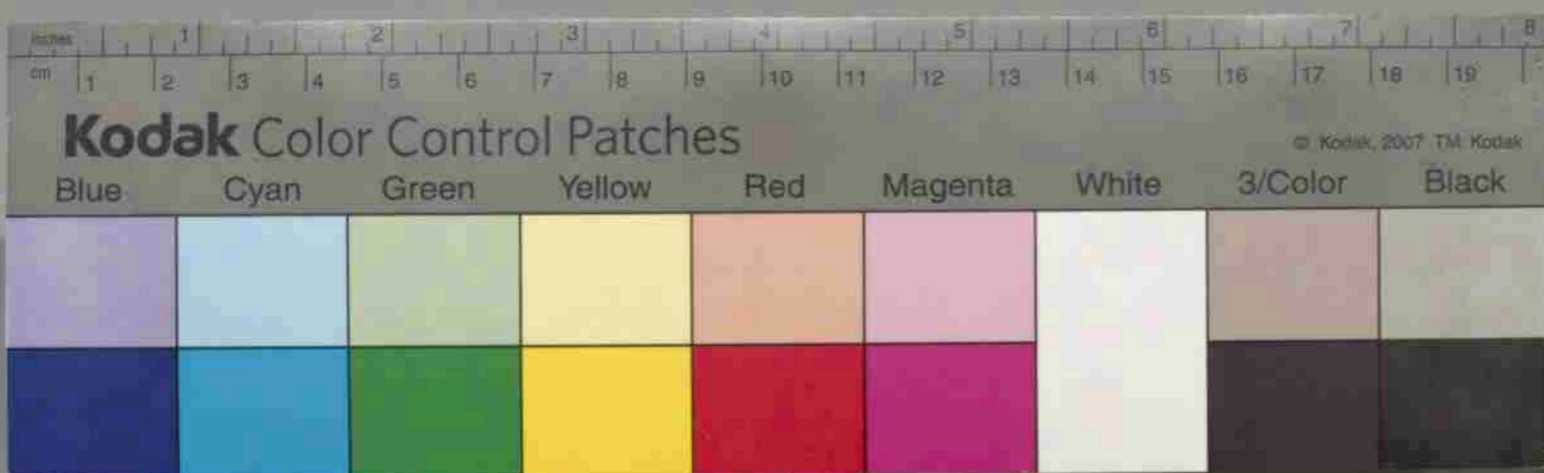




種目		種別		第十目生産額及其戸人當リ(明治三十五年)	
種目	種別	金額	一戸平均額	一人平均額	
米	糯米	四〇、八〇〇円	八三、九	一一、四	二、七
	陸米	九〇〇	八五二	一一、四	二、七
	大麥	一、一五〇	三〇九	一、一	〇、四
	小麥	一、一五〇	三〇九	一、一	〇、四
	裸麥	四〇〇	八二二	一、一	〇、三
	粟	一、四〇〇	〇九九	一、一	〇、三
	稗	一、五〇〇	三〇九	一、一	〇、三
	大豆	六、四〇〇	三一七	一、一	〇、五
	小豆	四、〇〇〇	八三三	一、一	〇、四

Handwritten notes in vertical columns, likely providing additional details or calculations related to the data in the table on the left. The text is written in cursive Japanese characters.

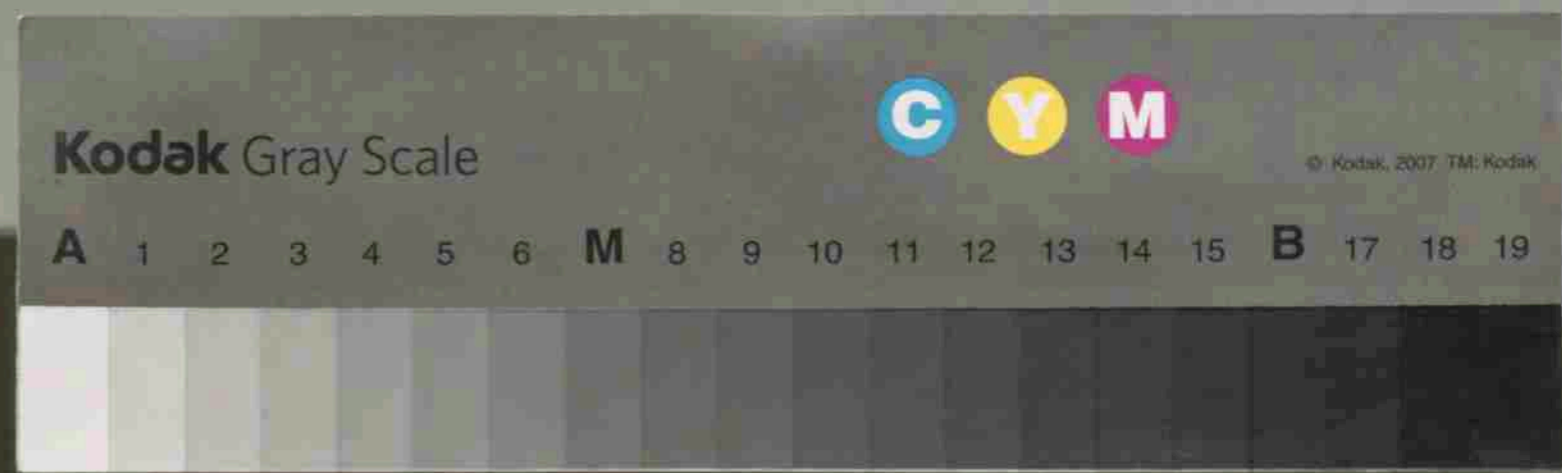
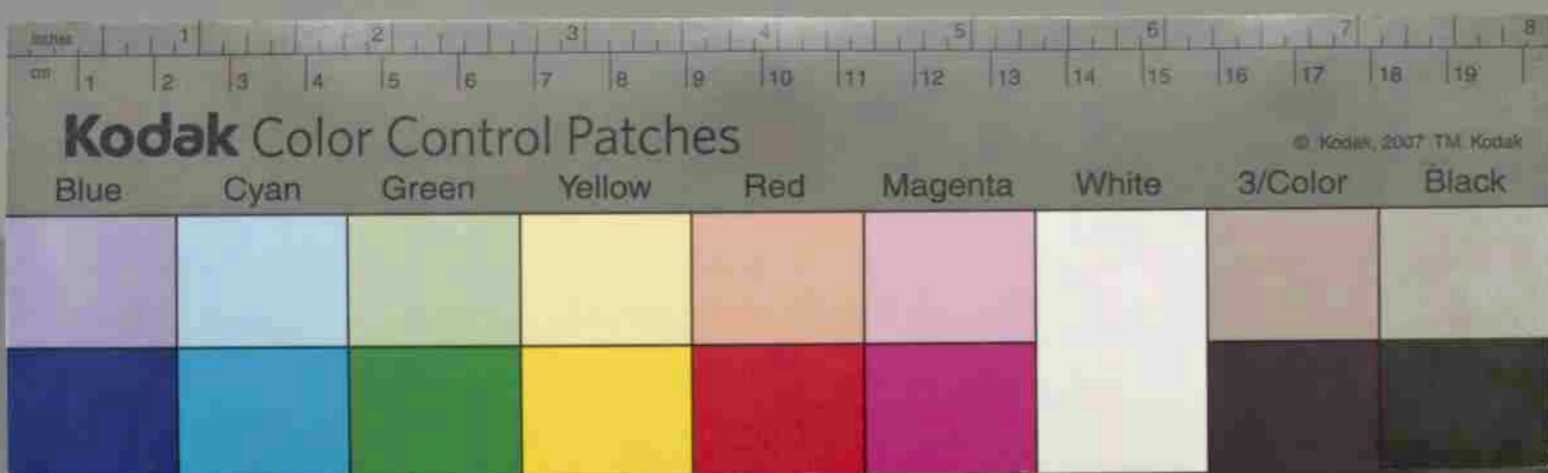




紙類	炭	薪	竹	材木	醬油	清酒	麻糸	屑糸	生糸	繭糸	製茶
一 四 五 〇	一 三 五 〇	一 三 八 〇	一 〇 六 〇	一 〇 〇 〇	一 四 五 〇	一 〇 〇 〇	一 三 五 〇	一 三 三 〇	一 二 五 〇	六 二 五 〇	二 八 〇 〇
九 二 六	三 一 三 八	二 七 五 三 一	二 〇 三 四 〇	二 〇 五 七 六	二 八 〇 七	一 〇 八 〇	三 〇 九	〇 六 八	二 五 七	一 二 八 六	五 七 六
一 二 三	一 四 一 八	三 六 六 五	二 七 四 〇	二 七 四 〇	三 八 三 六	一 〇 四	〇 〇 四	〇 〇 九	〇 三 四	一 七 一	〇 七 七

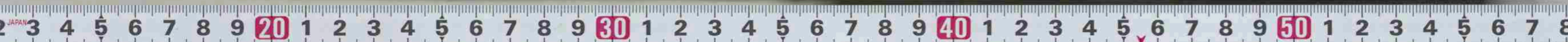
胡瓜	胡蘿蔔	大麻	麻種	荏種	胡摩	葱	茄子	芋	蘿蔔	甘藷	蕎麥
一 二 〇	一 二 〇	三 〇 〇	二 〇 〇	四 五 〇	一 二 五	一 四 〇	五 二 五	一 八 〇	六 〇 〇	六 四 〇	二 〇 〇
二 四 七	二 四 七	六 一 七 三	九 四 一 二	九 二 五 九	二 五 七	〇 八 二	一 〇 八 〇	一 三 七 〇	一 二 三 五	一 三 二	四 一 二
〇 三 三	〇 三 三	八 二 二	〇 五 五	一 二 三 三	〇 三 四	〇 一 一	一 四 四	〇 四 九	一 六 四	〇 一 八	〇 五 五

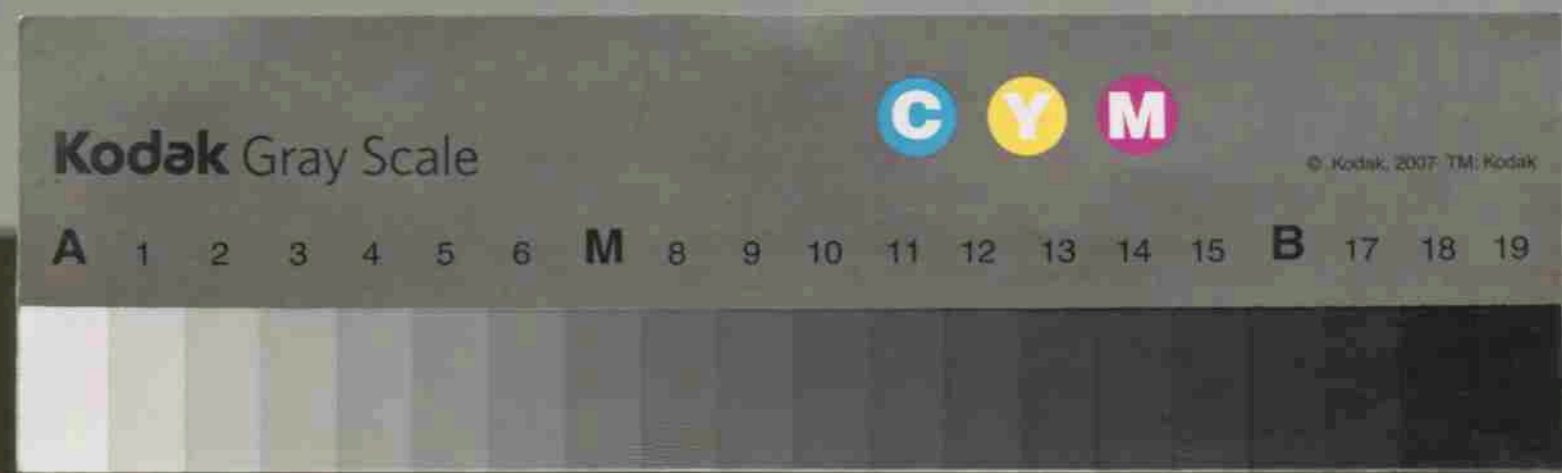
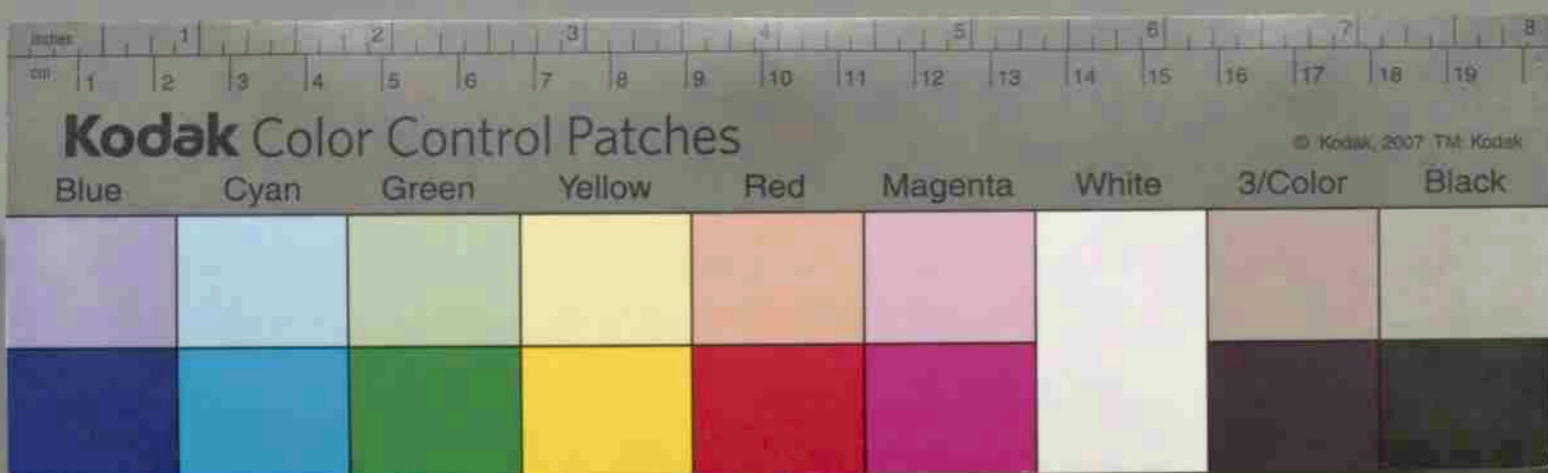




紙類	炭	薪	竹	材木	醬油	清酒	麻糸	屑糸	生糸	繭	製茶
一 四 五 〇	一 三 五 〇	一 三 八 〇	一 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇	一 四 〇 〇	一 〇 〇 〇	一 三 三 五	一 二 五 五	一 六 二 五	二 八 〇 月	
九 二 六	三 一 三 八	二 七 五 三 一	二 〇 五 七 六	二 八 八 〇 七	一 〇 八 〇	三 〇 九	〇 六 八	二 五 七	一 二 八 六	五 七 六	
一 二 三	一 四 一 八	三 六 六 五	二 七 四 〇	三 八 三 六	一 〇 四 四	〇 〇 九	〇 〇 四	〇 〇 三 四	一 七 一	〇 七 七	

胡瓜	胡蘿蔔	大麻	麻種	荏種	胡摩	葱	茄子	芋	蘿蔔	甘藷	蕎麥
一 二 〇	一 二 〇	三 〇 〇	二 〇 〇	四 五 〇	一 二 五	一 四 〇	五 二 五	一 八 〇	六 〇 〇	六 四 〇	二 〇 〇 月
二 四 七	二 四 七	六 一 七 三	四 一 二	九 二 五 九	六 二 五 七	〇 八 二	一 〇 八 〇	一 三 七 〇	一 二 三 五	一 三 二	四 一 二
〇 三 三	〇 三 三	八 二 二	〇 五 五	一 二 三 三	〇 三 四	〇 一 四	一 四 四	〇 四 九	一 六 四	〇 一 八	〇 五 五



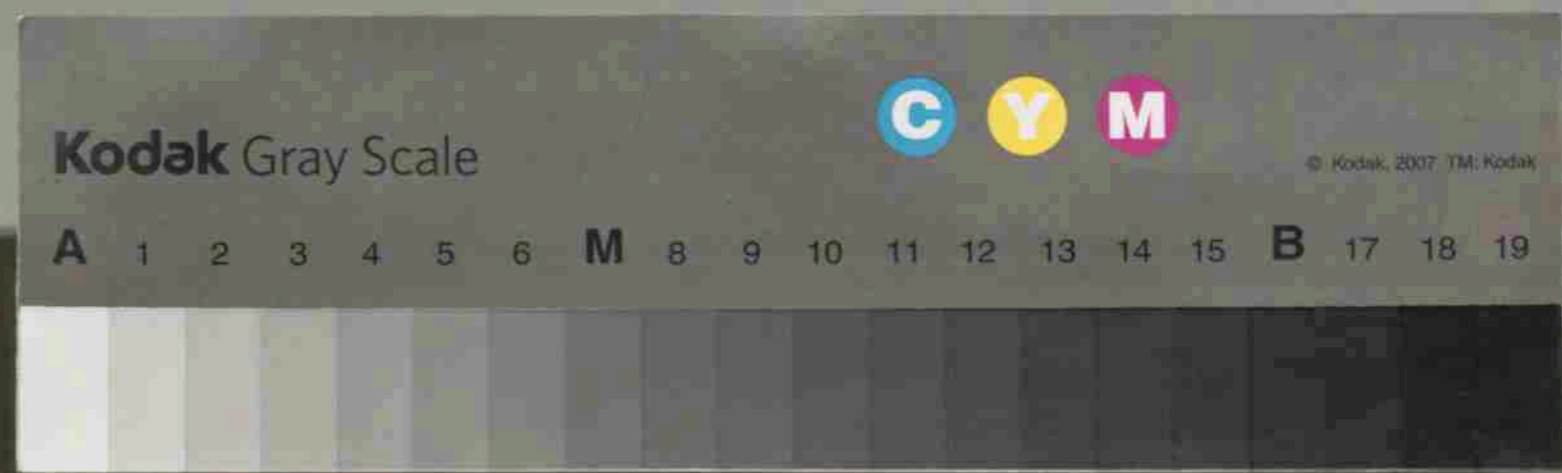
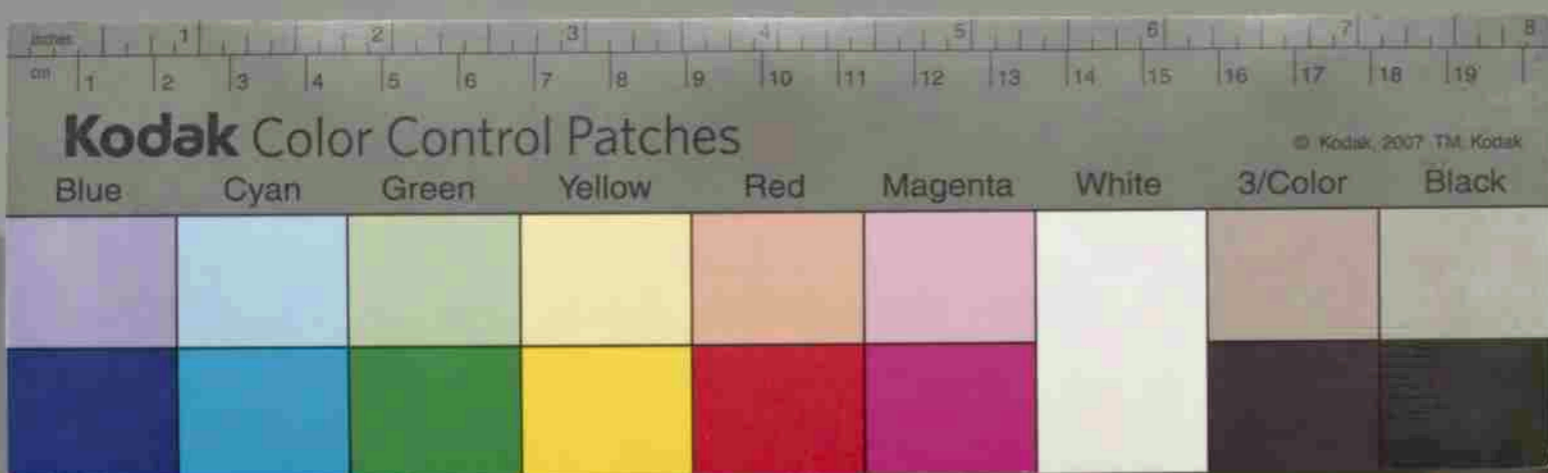


種目	種別	金額	一戸平均額	一人平均額
計		100,487円	206,764	27,531
米		40,800円	83,952	11,178
糯米		9,000	18,520	2,470
陸米		15,000	30,866	4,101
大麥		6,250	12,866	1,711
小麥		2,100	4,331	575
裸麥		4,000	8,233	1,100
粟		4,800	9,900	1,330

第十一目消費額及其一戸一人平均額

菓子	1800	206	227
鶏卵	1200	247	333
鳥類	4200	864	115
魚類	2630	541	72
葉烟草	4800	988	132
糖	2800	576	77
農具	3000	617	82
草鞋	5400	1111	149
下駄	2250	463	62
建具	9000	185	25
金物	6000	123	16
織物	5850	124	160

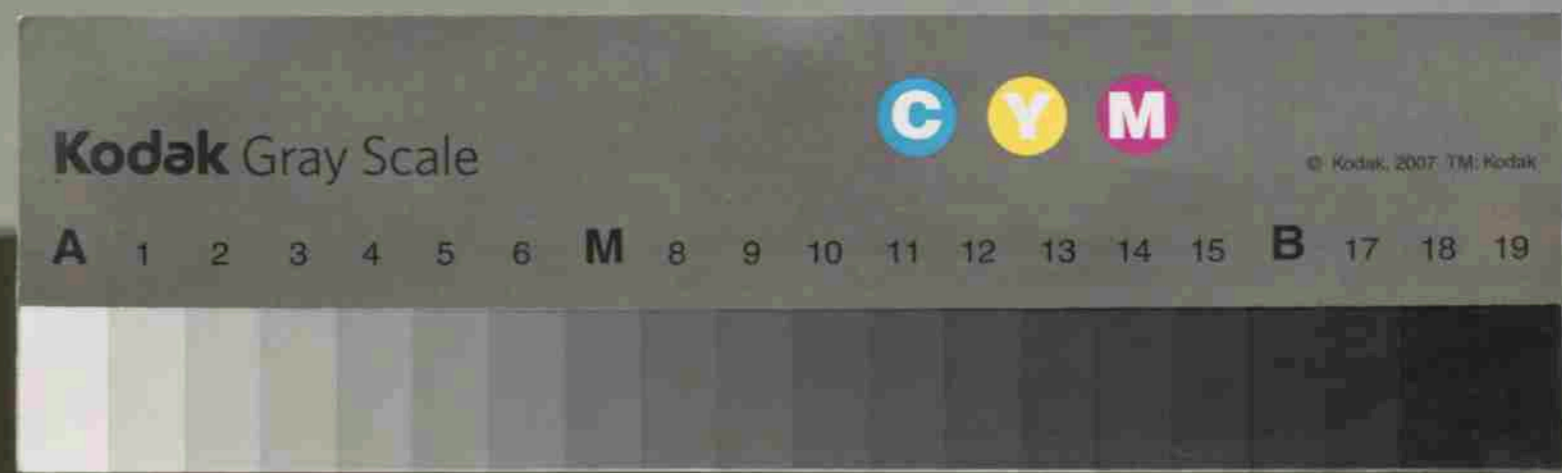
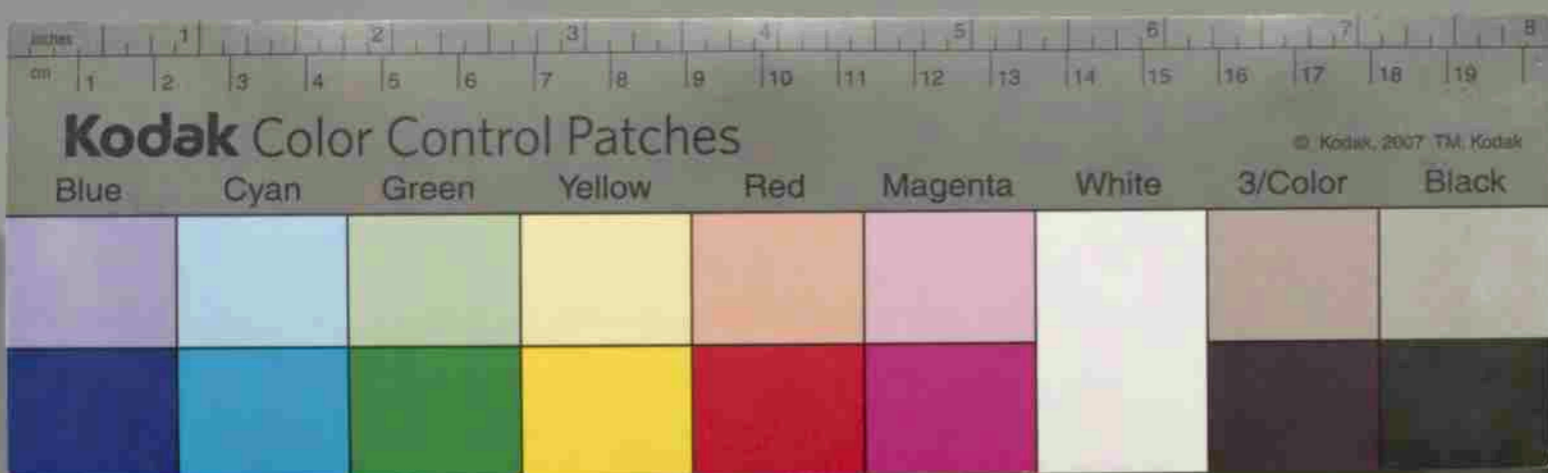




清酒	麻糸	木綿糸	綿	真綿	屑糸	生糸	繭	製茶	胡瓜	胡蘿蔔	大麻
一四〇〇〇	一五〇〇	二八六〇	八一〇	五〇〇	三三〇	一二五〇	一二五〇	四〇〇	一一〇〇	一一〇〇	九〇〇
二八、八〇七	、三〇九	、五八八	、一六七	、一三〇	、〇七八	、二五七	、貳五七	、八三一	、二四七	、二四七	、一八九
三、八三六	、〇〇四	、〇七八	、〇二二	、〇一四	、〇〇九	、〇三四	、〇三四	、一三一	、〇三三	、〇三三	、一〇五

麻種	干瓢	胡摩	葱	茄子	芋	蘿蔔	甘藷	蕎麥	小豆	大豆	稗
一〇〇〇〇	三二二	一二五	四〇〇	五二五	一八〇	六〇〇	六四〇	二〇〇	四〇〇	六四〇	一五〇
一〇、二六〇	、〇六六	、二五七	、〇八二	、〇八〇	、三三七	、一三三五	、一三三	、四一一	、八二二	、一三三七	、三〇九
四、二〇七	、〇〇九	、〇三四	、〇一一	、一四四	、一四四	、一六四	、〇一八	、〇五五	、一一〇	、一七五	、〇四一

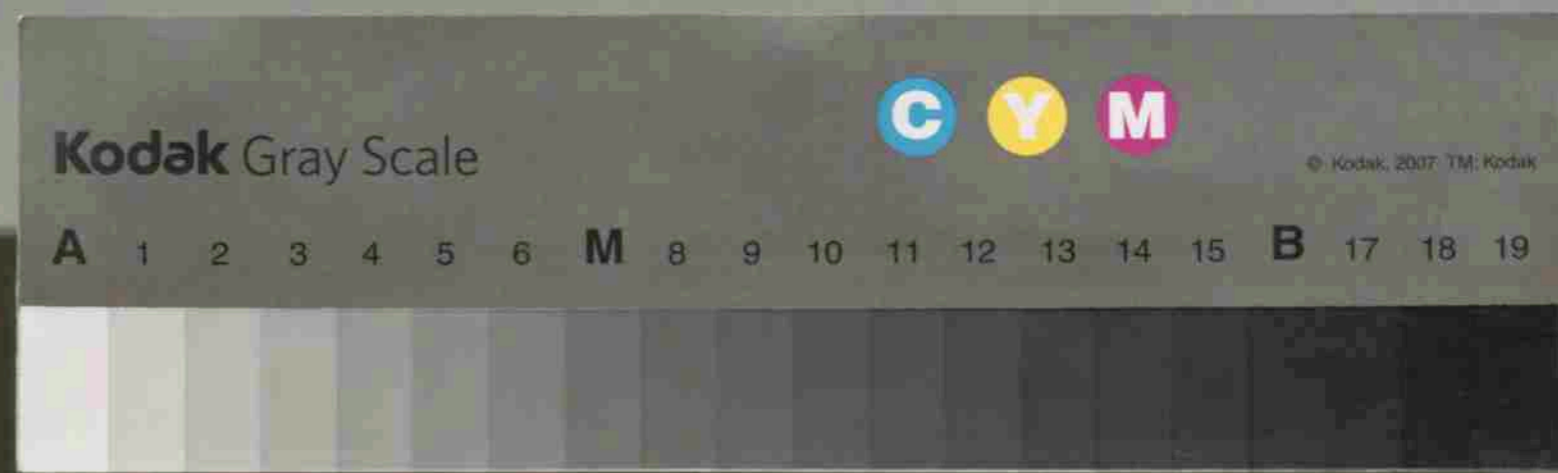
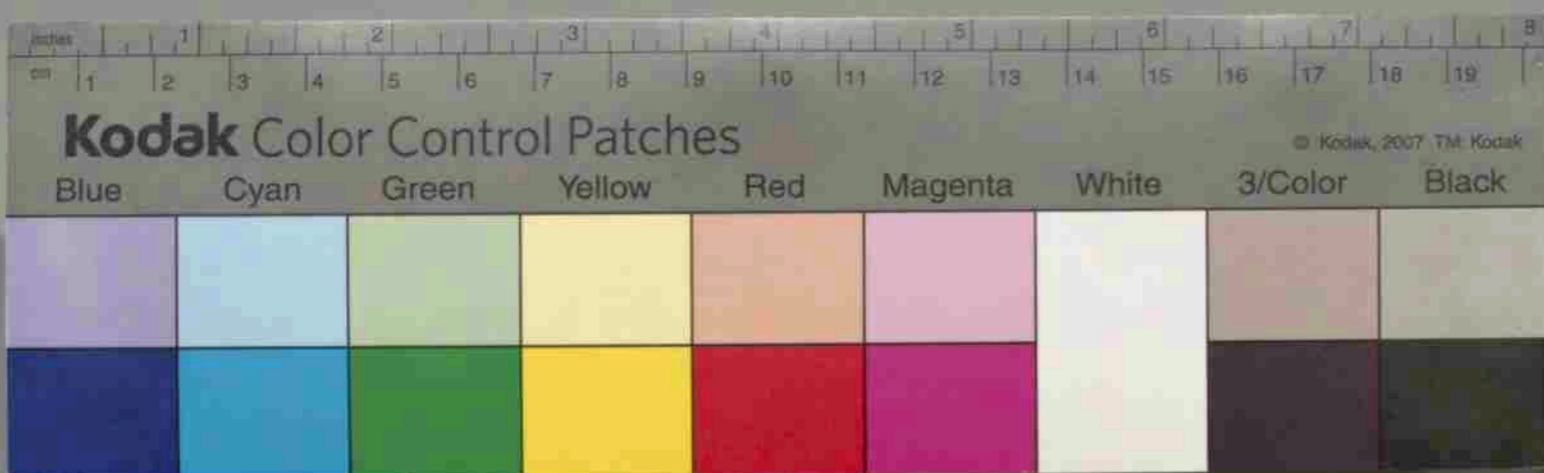




漆器	建具	下駄	麻裏	篋草履	草鞋	農具	糖	油粕	人造肥料	製造	塩
六六〇	二二五	六〇〇	三三〇	一五〇	三九六	四五〇	二八〇	一五四〇	一五〇〇	二四五六	二一〇〇
一三三	四七三	一三三	六七	三〇三	二九八	九二六	五七六	三〇八六	三〇八六	九〇五四	四三二一
一八一	一六二	一六二	〇九〇	〇〇四	〇二六	一三八	〇七七	四三二	四一一	六六九	一五七五

醬油	水油	石油	材木	竹	薪	炭	砂糖	紙類	織物	金物	陶磁器
二二五〇	一四〇	八五〇	四〇〇	三三〇〇	七九〇〇	六〇〇	一八〇	四五〇	二二五〇	一五〇	一四〇
四六三〇	〇〇九	一七四九	八二三	六七八〇	一六二五五	一三三五	九二六	四六三〇	四六三〇	三〇八六	三三八八
一六一六	〇〇四	二二三	一一〇	九〇四	二一六四	一六四	一三三	一三三	一三三	〇四	〇三八



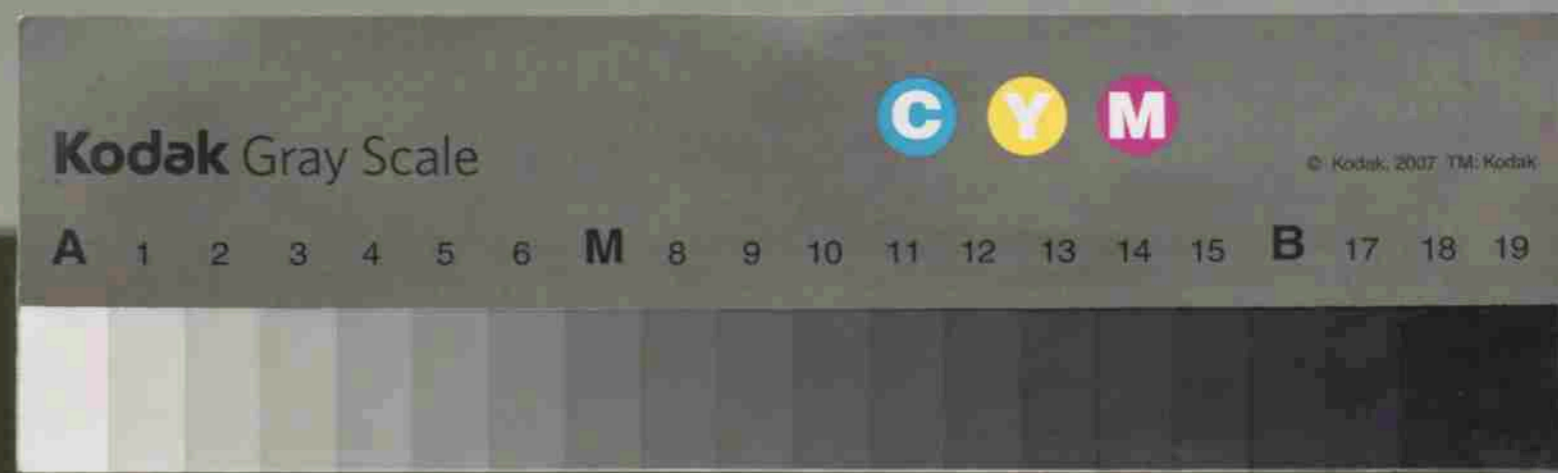
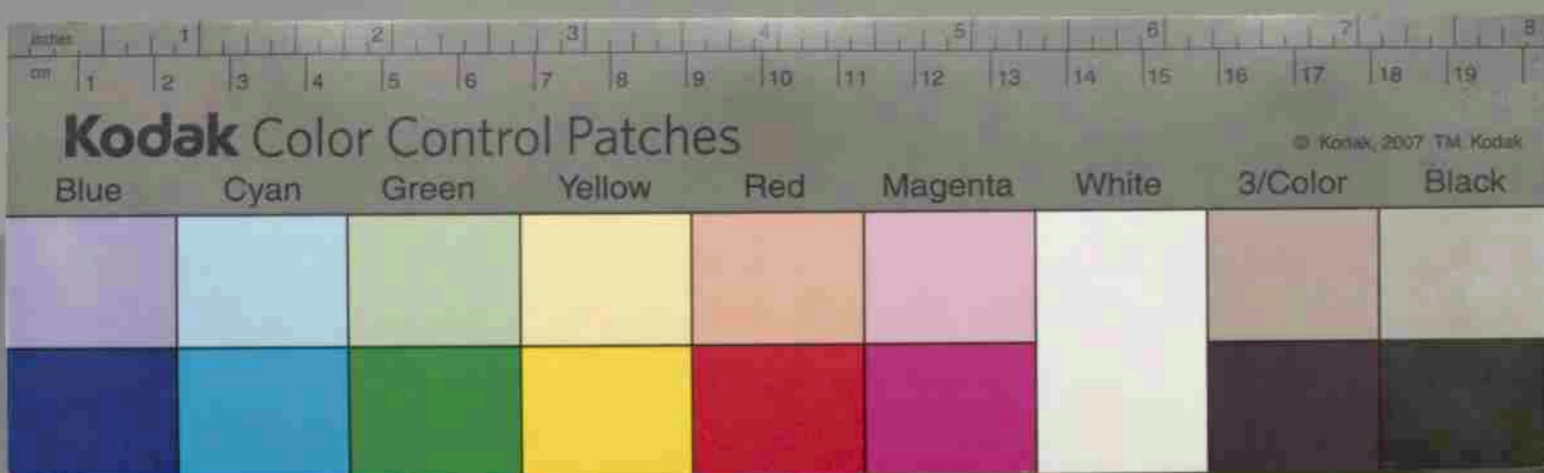


第十二日本村生産品消費過不足表

種別	消費額	生産額	過不足
金	三、四、〇、九円	七、四、〇、一四	〇、四、九、三、四
戸	一、〇、三、一、一四	一、〇、三、一、一四	〇
人	一、〇、三、一、一四	一、〇、三、一、一四	〇

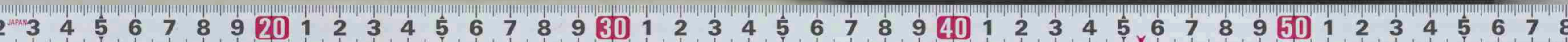
計	石灰	菓子	鶏卵	鳥類	魚類	洋薬	和薬	荒物
九七、〇七八	一五八四	三六〇	六〇	一二〇	二六〇	八八〇	一一〇	三三〇
一九九、七四九	三、二五九	一、七四一	一、一三三	一、二四七	一、五三四	一、八一	一、四七	一、六七九
二六、一五九七	一、四三九	一、〇九九	一、〇一六	一、〇三三	一、〇七一	一、二四一	一、〇三三	一、〇九〇

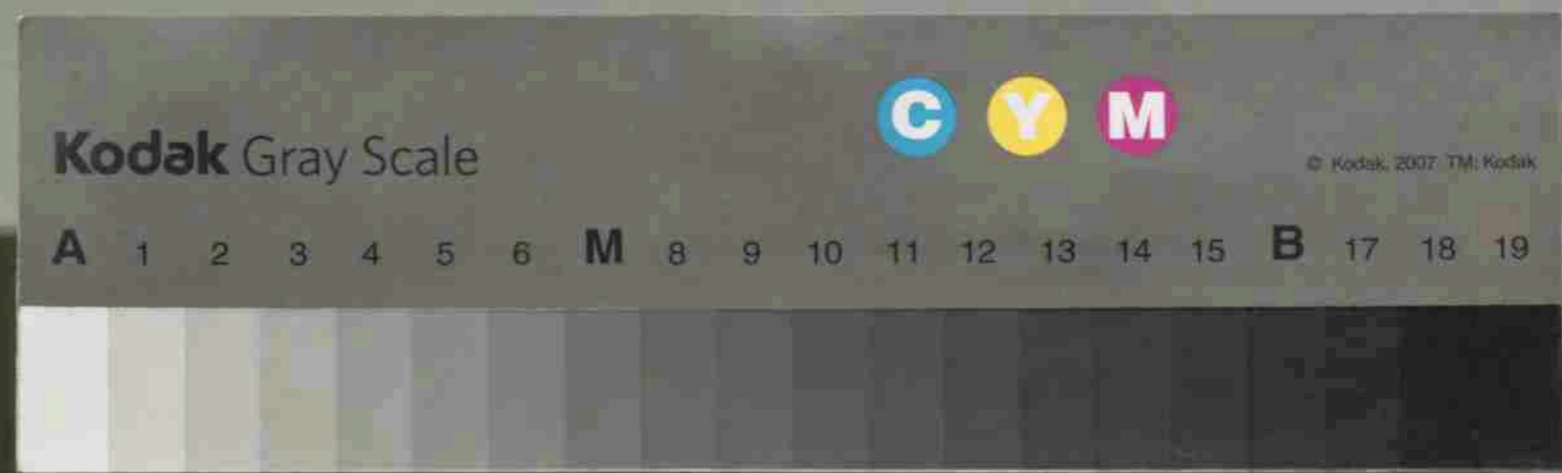
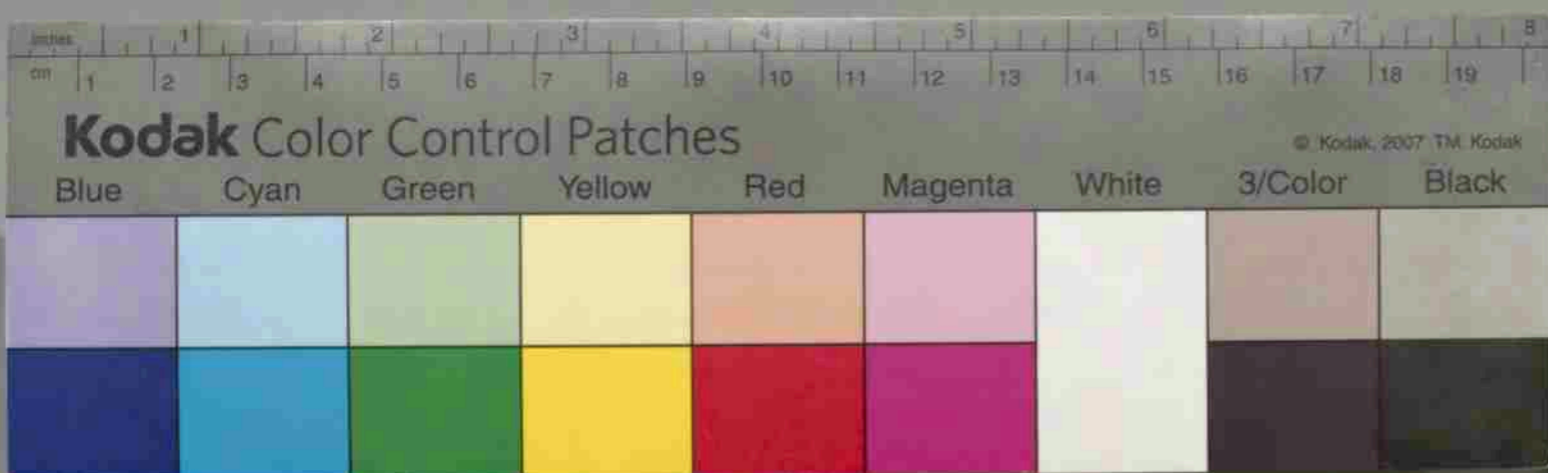




第十音 本村富度概観進台方案概要
 本村概富程度於樂天ノ境有得ベシト信
 ズル得大ノ敷意戒ヲ要スルモアラス何トモハ
 生産額於十方四百八十七円
 消費額於九万七千七百七十円
 差引三千四百〇九円ノ生産額於還剩トナリ之
 財金於二万百九十三円ヲ加フルトキ
 合計 二万三千六百〇一円トナルニ
 國稅於七千九百九十六円
 縣稅於五千〇五十五円
 村稅於四千六百七十二円
 水利費於二百六十三円

第十音 本村富度概観進台方案概要
 本村概富程度於樂天ノ境有得ベシト信
 ズル得大ノ敷意戒ヲ要スルモアラス何トモハ
 生産額於十方四百八十七円
 消費額於九万七千七百七十円
 差引三千四百〇九円ノ生産額於還剩トナリ之
 財金於二万百九十三円ヲ加フルトキ
 合計 二万三千六百〇一円トナルニ
 國稅於七千九百九十六円
 縣稅於五千〇五十五円
 村稅於四千六百七十二円
 水利費於二百六十三円





胃頭 勿論生養消費等ノ調査ニ實際困難ニシテ真相ヲ知リ難キニシテラズ財令ノ調査ハ本年七月現在ニシテ其他ノ昨年度末ノ調査ニ比シテ如上ノ結論ハ少ク尙シテ欠ク感キ能ハサルモ亦以テ大過ナカレバシ

備次 起ルベキ如何ニセバ之ヲ救極スルヲ得ルカノ問題ナリ之ハ容易ニ筆ヲ下ス能ハサルモ本村ノ大部ハ山林ヲ以テ填ムル村ナレバ山林經營ニシテ一着ニ置カレバカラス山林經營ニシテハ近來頗ル注意ヲ拂フニ至リタレバ將來ハ有望ナル財源名ヤ論ナレ然レドモ是レ前途ニ遠達ナリ是ガ經營ニシテ勉ムベキ也目今主トシテ養食ニ資スル業ナリ

右計一萬七千九百九十六円ノ税アリ之ヲ相殺スル僅ニ五千六百十五円ノ剩餘アルニシテ

而シテ地所ニ於テ如何ト願ヒレバ本村人カ他町村ニ所有スル土地ハ

拾二町八反

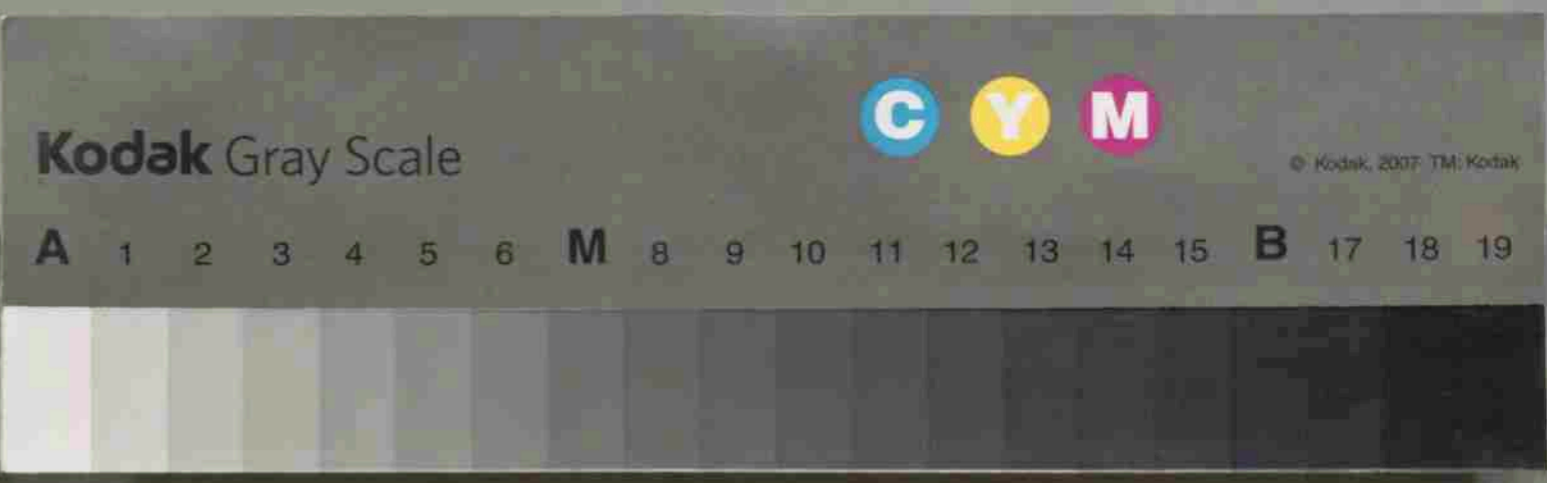
ニシテ他町村ノ人カ本村所有スル土地ハ

百四十九町九反七畝二十四歩

差引不足方

百三十七町一反七畝二十四歩

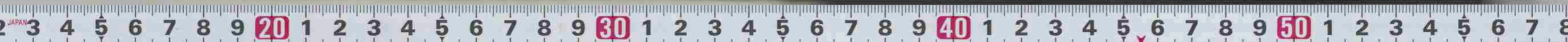
トナル割合ナリ耕地狭キ上ニ百三十七町餘ニ他村ノ所有トナリ現金ニ於テ一村ニ年ノ餘裕僅カニ五千六百十九円トスル本村現在ハ憂慮ニザルヲ得ザルナリ。

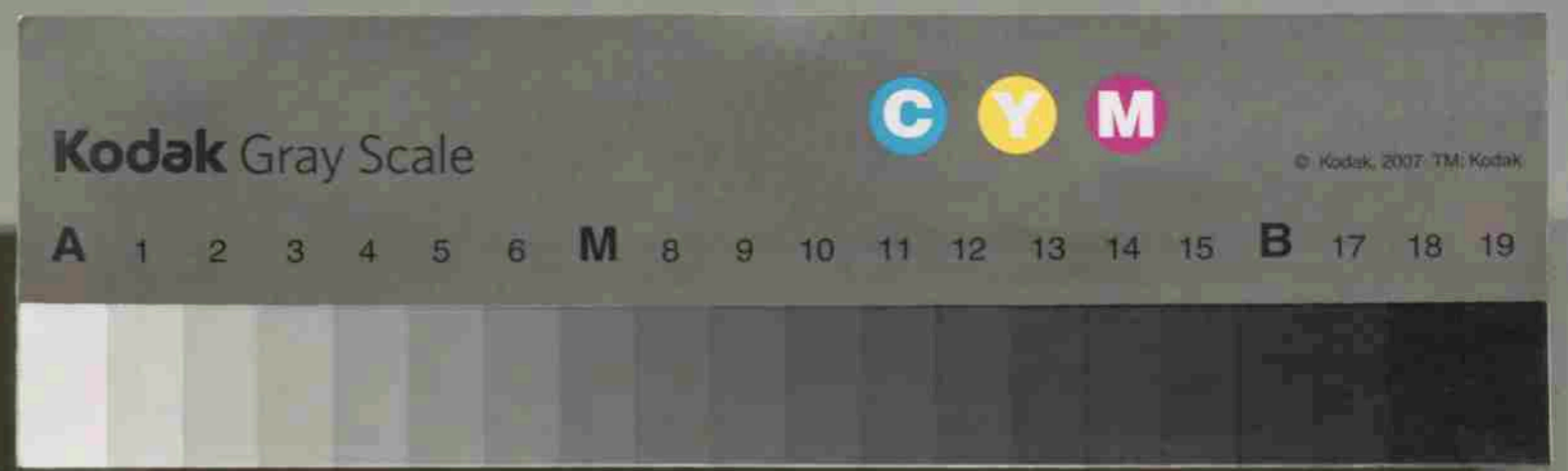
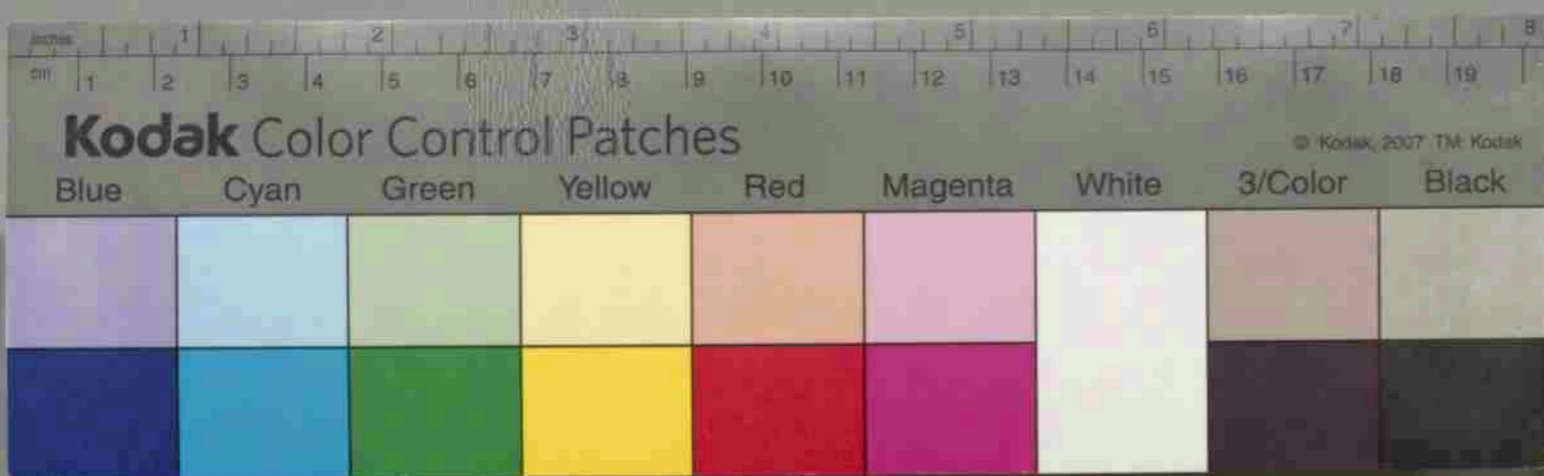


第十四目 公租公課負担額及其一戸一人當り平均額

種別	金額	一戸當り平均額	一人當り平均額
地租	六九八四六六五	七四四六	一九七一
所得税	七二八四〇八〇	七六六	一九七
營業税	二九四四〇〇〇	三三三	〇八一
計	七九〇九六七四五	八四・五二五	二四一九一

俵美原蚕葉業の成り上りは先づ桑葉の供給
 給り先づ本村の山林の諸所に桑樹の培養
 するに適當なる所を以て是等桑樹の植付を養
 蚕地方に於てより其の場所を往々桑木を見
 本村の如き小海員に昂々たるに
 更ニ最後附記に山林經營可なり養蚕業可
 ナリ然レども是レハ何レモ中産以上ノ事業業に適シテ下層
 ノ窮民に救極るに道、非んば去レバ如何ナル方法カヨリテ
 本村下層民ノ多ク手工的ノ副業ヲ選定シテ適宜
 ノ方法ヨリテ之ヲ普及シテ下層民ヲ救極るノ策ヲ
 講ズルヲ相考トス

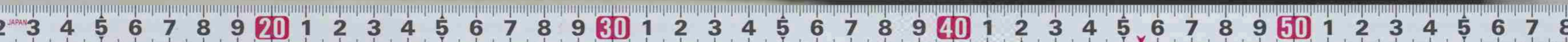


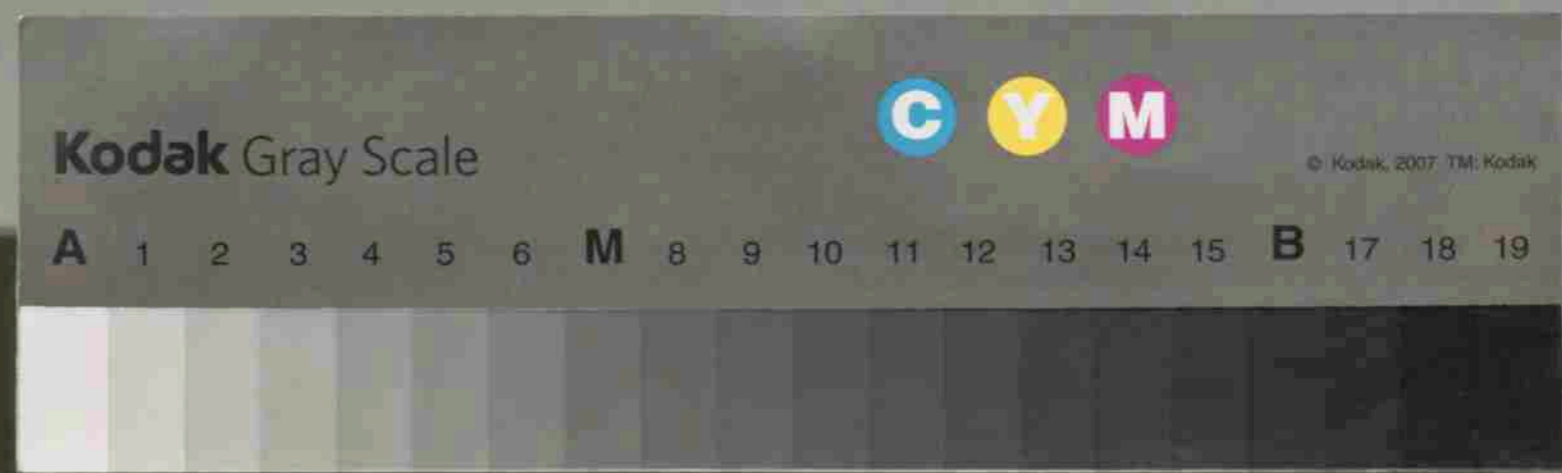
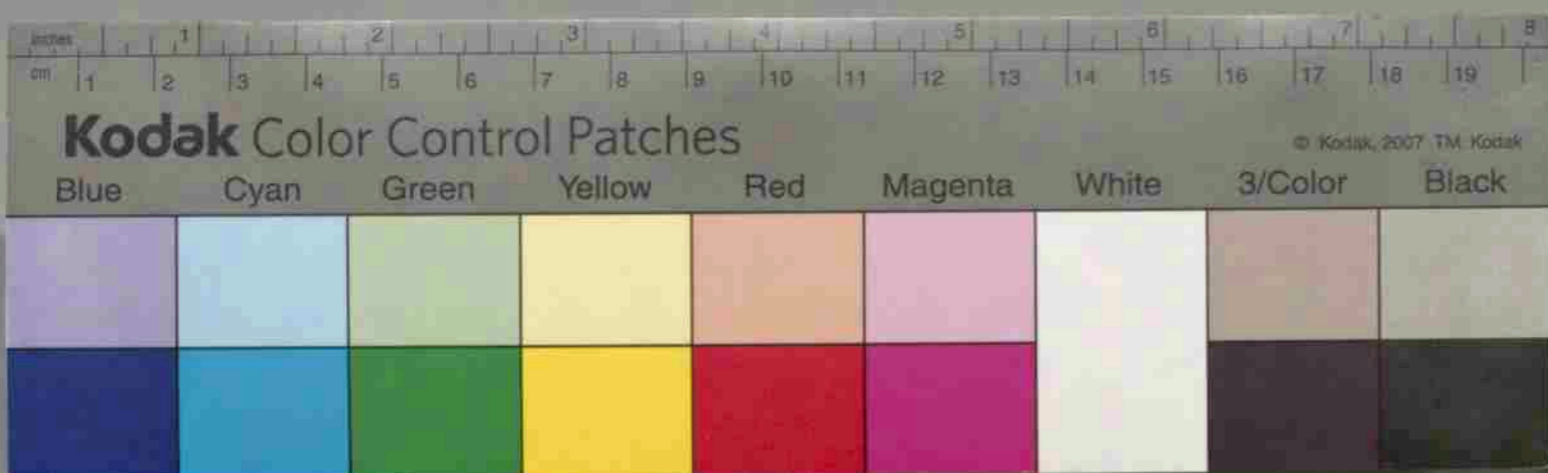


税		縣				
計	所得稅賦課	營業稅	雜種稅	營業稅賦課	戶數割	鑛業稅賦課
	三三九	一六一	七二八	三四八	七三〇	一五四
	五〇五	二七〇	三三〇	五〇〇	三三六	五〇〇
	五〇					

明治四十四年三月末日現在

Handwritten text in vertical columns, likely a ledger or account book, written in cursive Japanese calligraphy (sōsho).



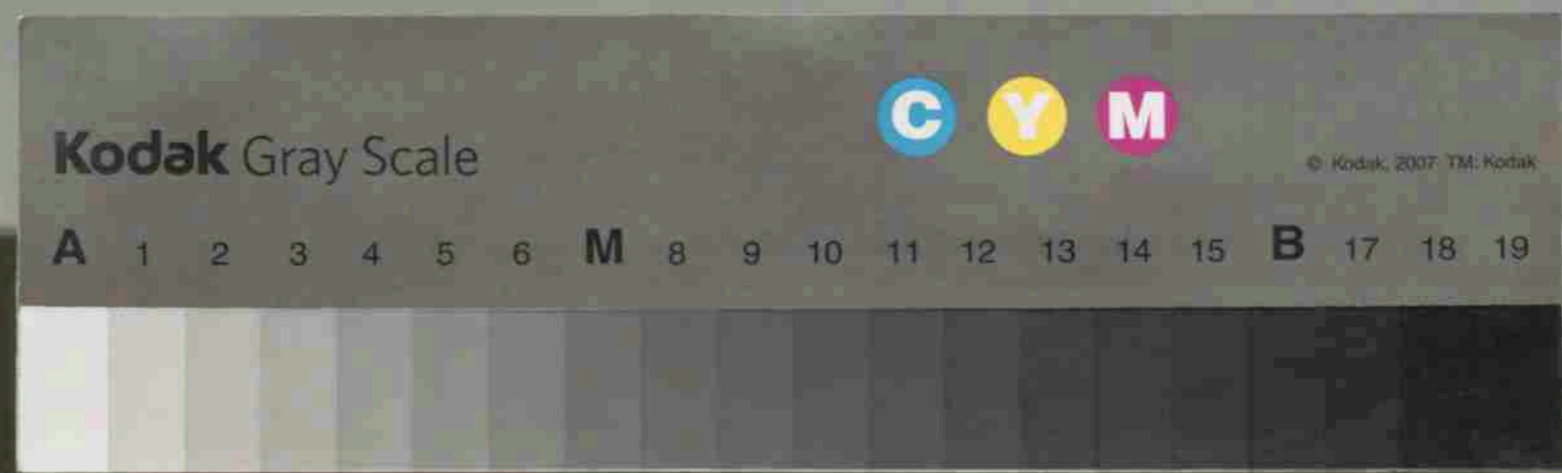
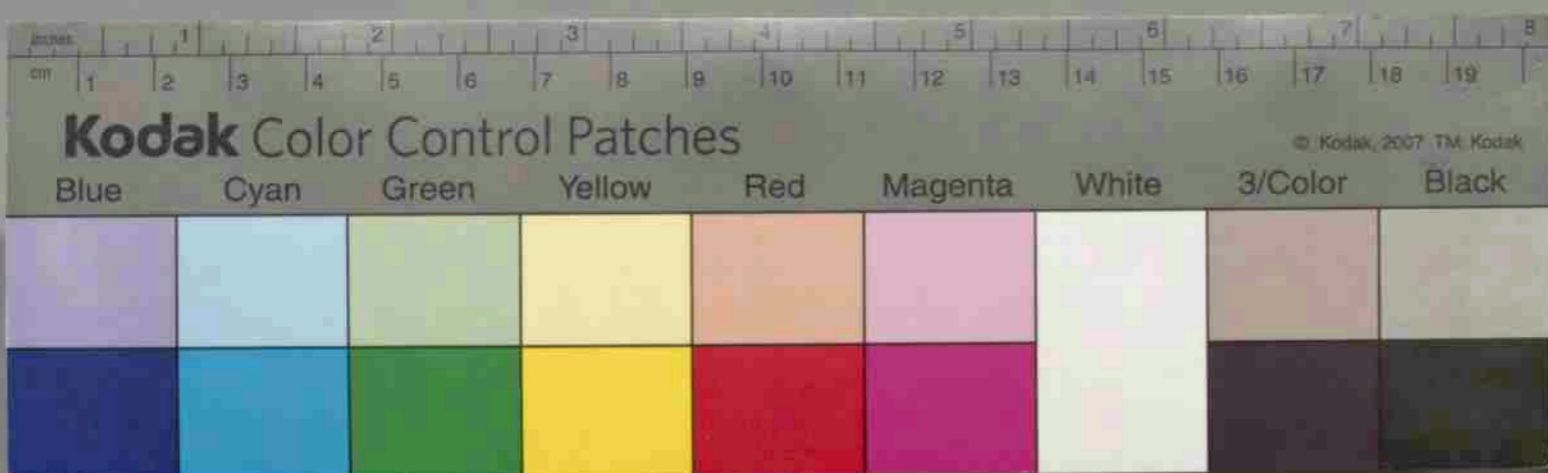


水利組合費 (明治四十四年度)			
金額	田反別	一戸當	戸数
深程堰 五七四八〇	三町一反一畝	八二	六二
松原堰 七三〇〇〇	一八町一畝	一九七	三七
小棚堰 七八二四〇	四町三畝	九一	八六
一本松堰 五四七三七	一八町三畝	五八	九三
合計 二六三七七	二六町一畝		

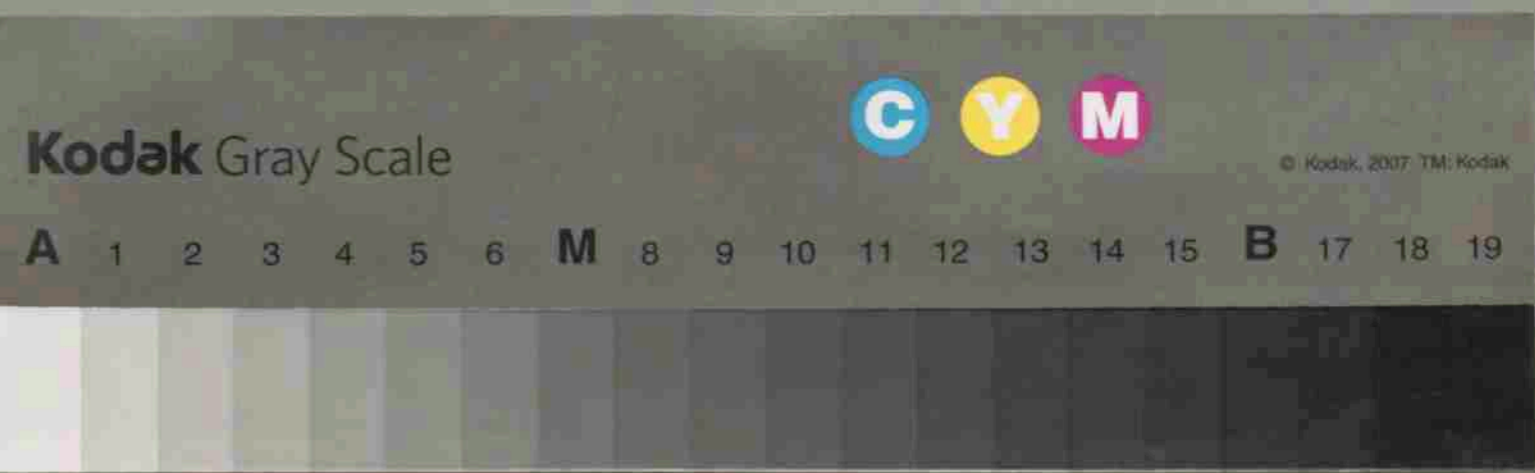
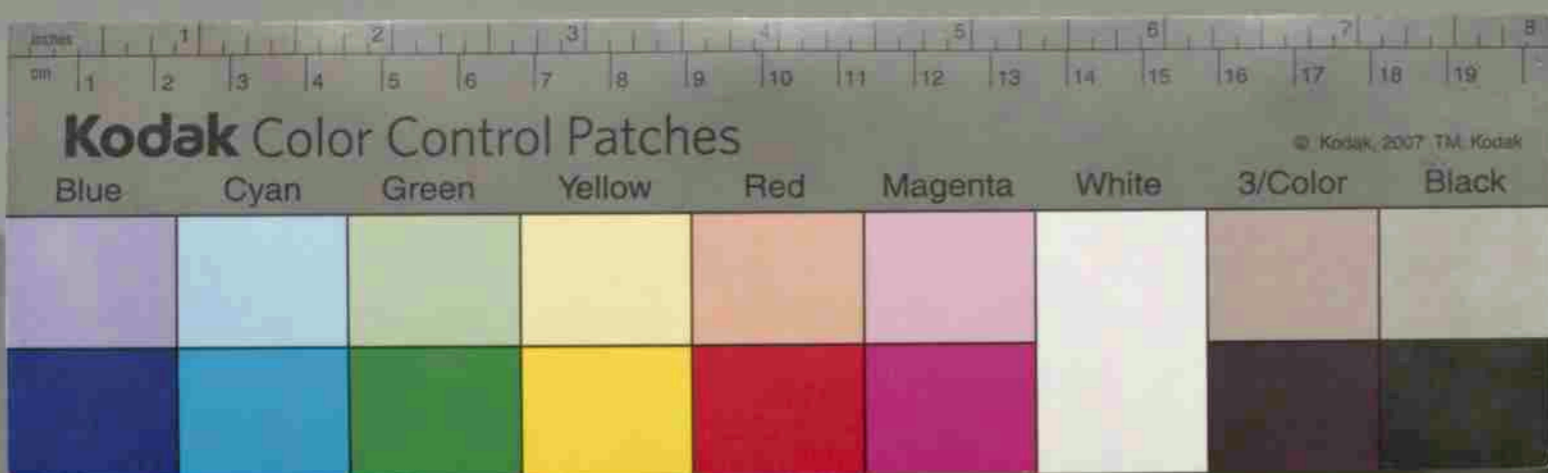
村		税	
地價割	戸別割	計	種別
一、二九六、五〇	二、九四四、五九〇	四、六七二、三一〇	鑛業税賦課
	二、五四九、九一〇		所得税村税賦課
	五、六四〇		國稅營業税賦課
	一、二一九〇		營業税賦課
	一、〇七、一四〇		雑種税賦課
	〇		計

明治四十四年三月書現在



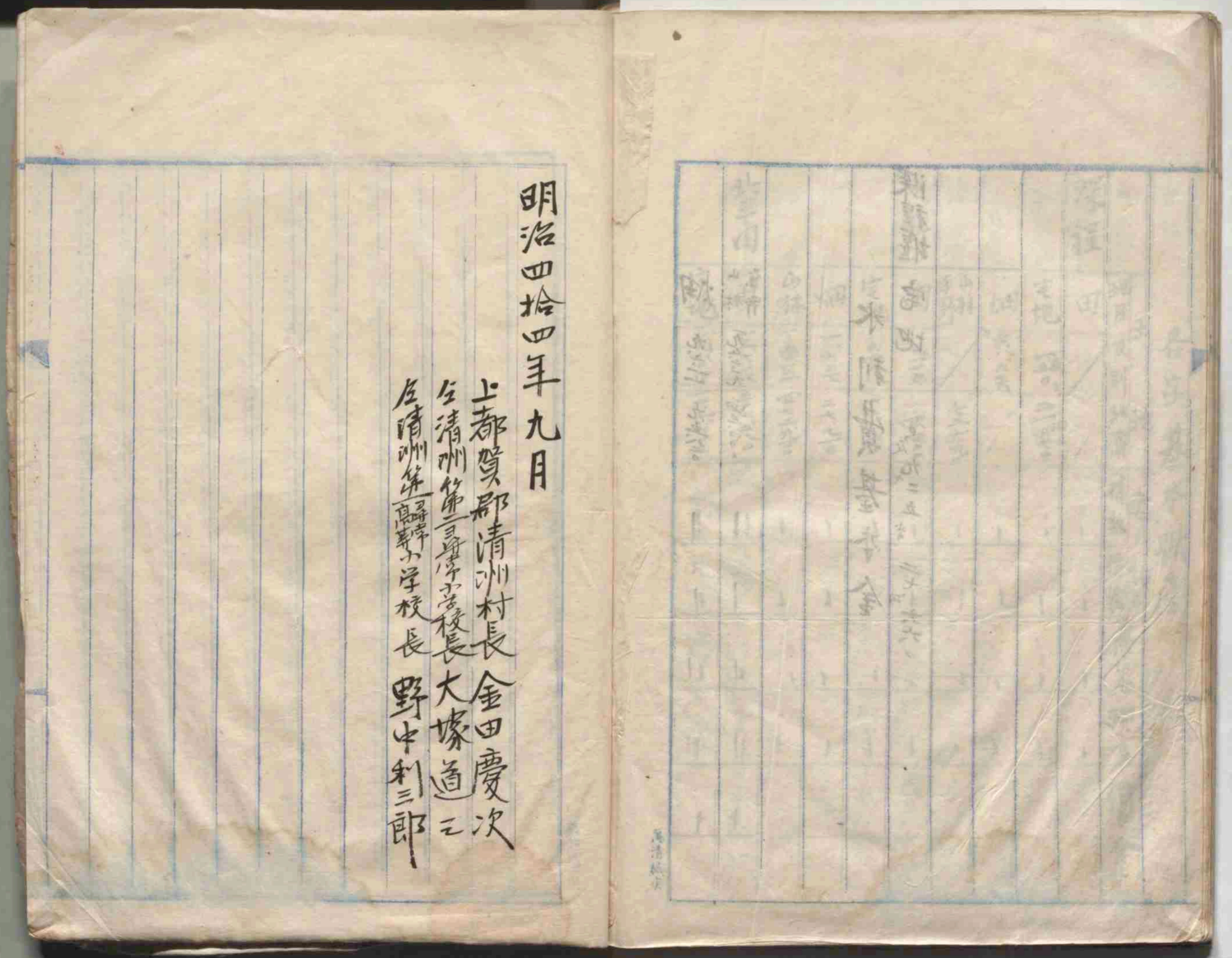
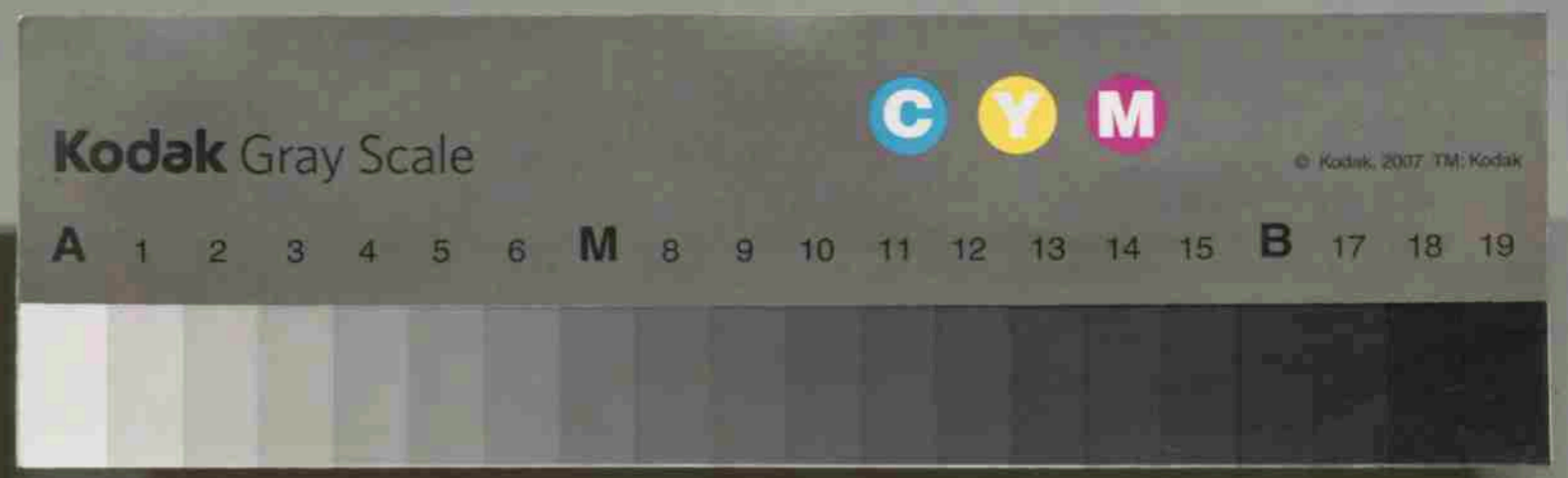
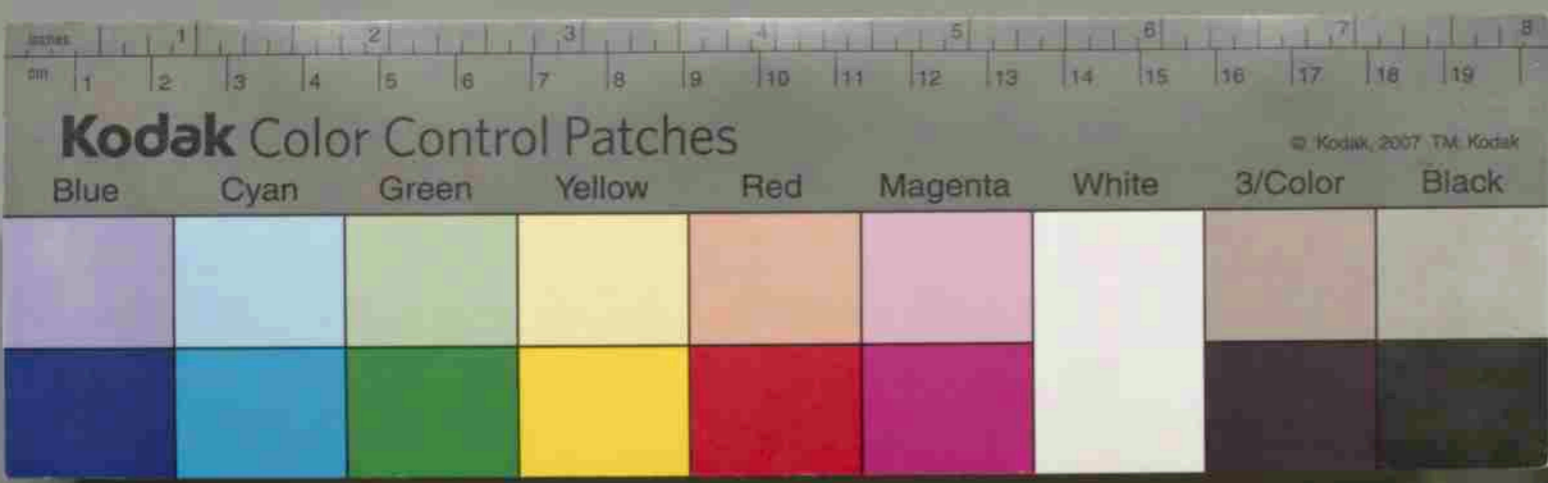


種別		種別		種別		種別		種別	
種目	種別	種目	種別	種目	種別	種目	種別	種目	種別
町村基礎財産	地目	町(村)債	種別	町村基礎財産	地目	町(村)債	種別	町村基礎財産	地目
第一種基礎財産	及別	金	額	第一種基礎財産	地價	金	額	第一種基礎財産	地價
第二種基礎財産	棟数	一戸	當平均額	第二種基礎財産	棟数	一戸	當平均額	第二種基礎財産	棟数
第三種基礎財産	價額	一戸	當平均額	第三種基礎財産	價額	一戸	當平均額	第三種基礎財産	價額
其他何々	有價証券	一戸	當平均額	其他何々	有價証券	一戸	當平均額	其他何々	有價証券
合計	現金	一戸	當平均額	合計	現金	一戸	當平均額	合計	現金
	何々	一戸	當平均額		何々	一戸	當平均額		何々
	合計	一戸	當平均額		合計	一戸	當平均額		合計



深程堰			烟		久野		深程		各字基本財産
宅地	山林	山標	山林	田	田	田	田	土地目反別地價	
水利費基本金	九三二	九三二	一三三三	一六七	〇二五	〇二五	一六〇	一〇三〇	棟数
〇.九二五	九三二	九三二	四二二	二七九	四〇〇	四〇〇	三二〇	三二〇	物估有價証券
二七四	九三二	九三二	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	現金
六六〇	九三二	九三二	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	債
	九三二	九三二	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	債
	九三二	九三二	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	債
	九三二	九三二	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	債



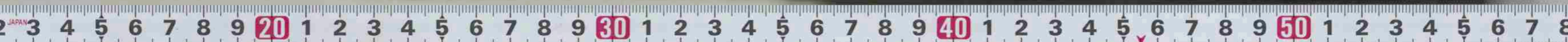


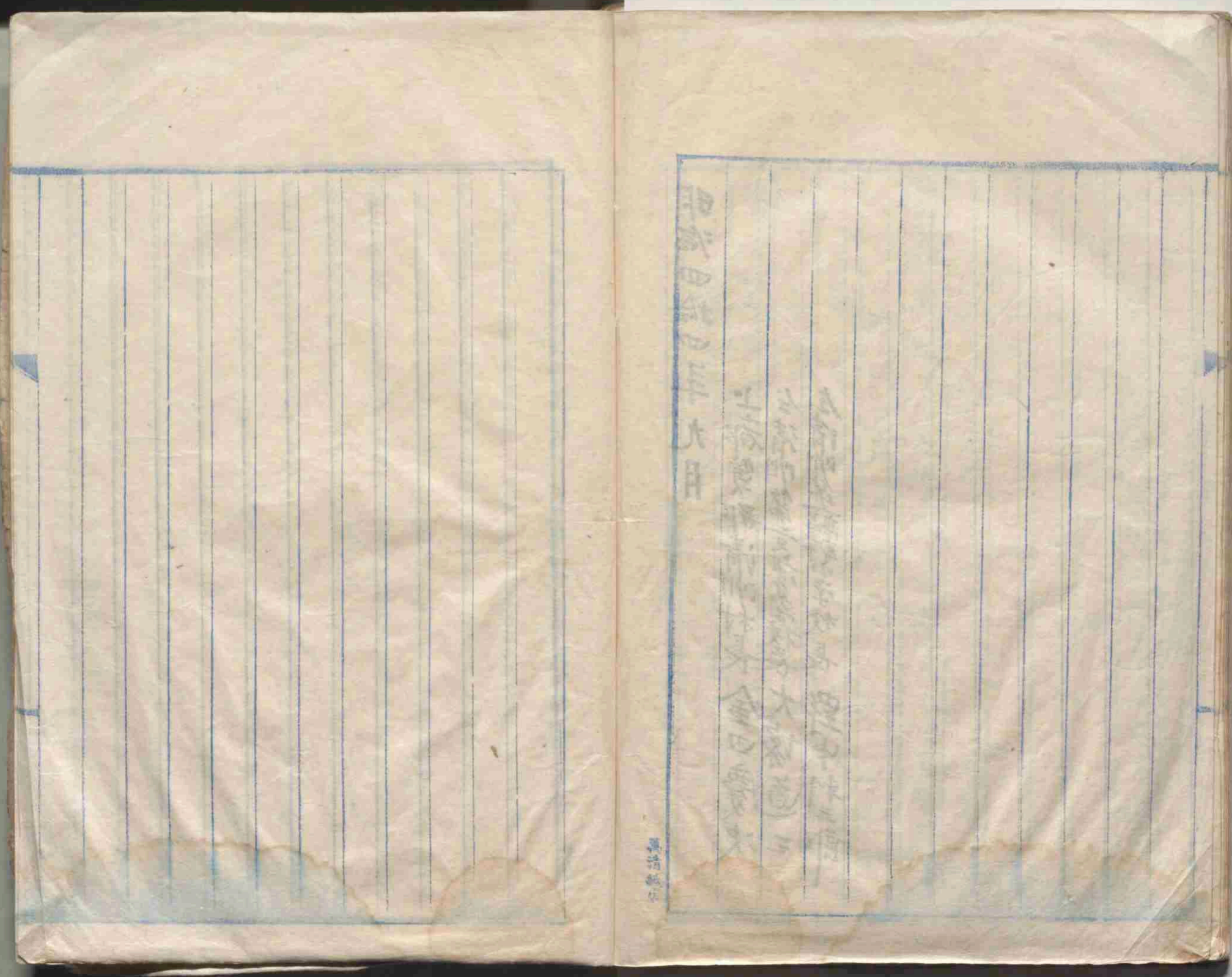
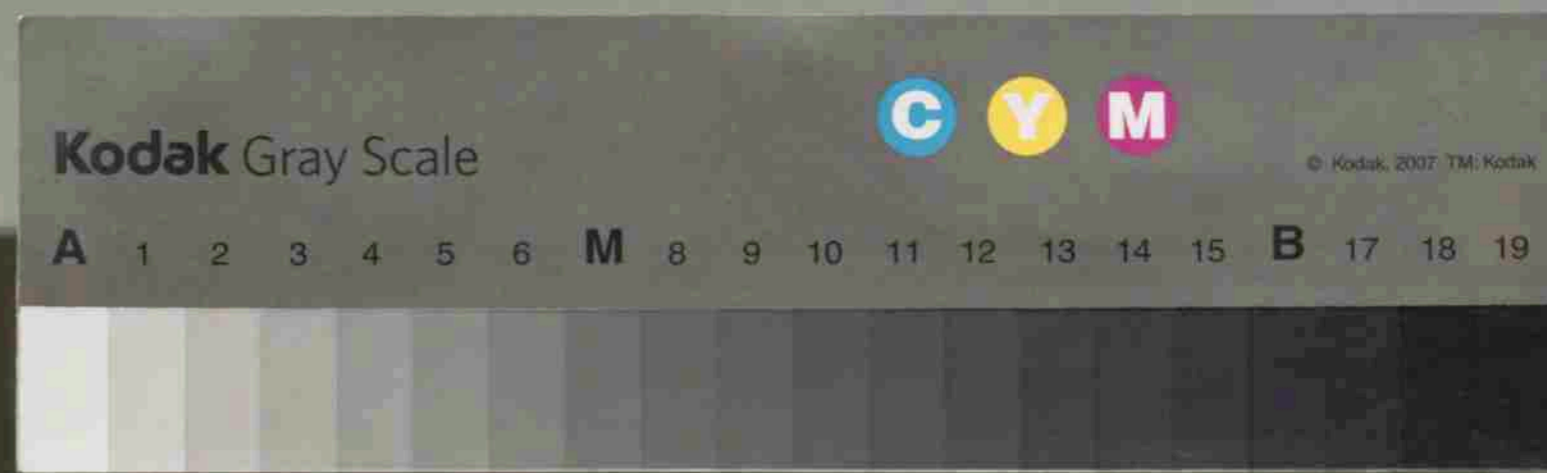
明治四拾四年九月

上都賀郡清洲村長 金田慶次
 左清洲第一尋常小学校長 大塚道三
 左清洲第一尋常小学校長 野中利三郎

527 清洲地区久野 清洲第一小学校所蔵資料

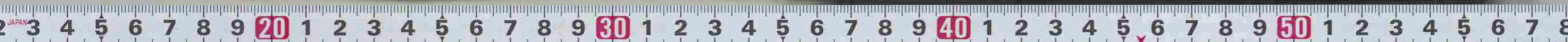
ウ21

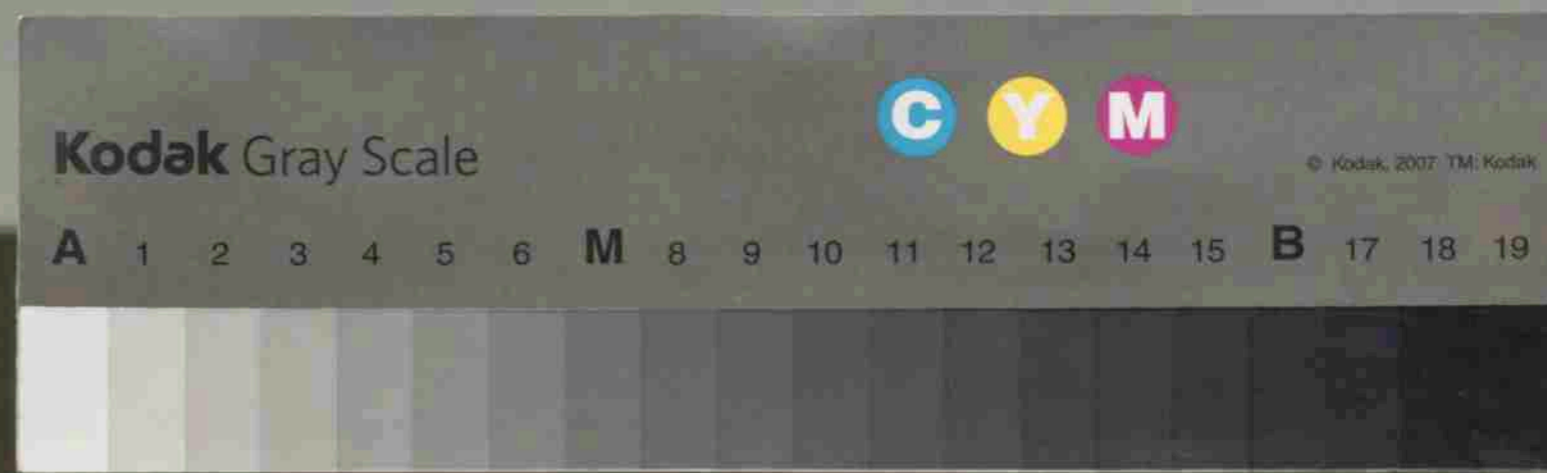
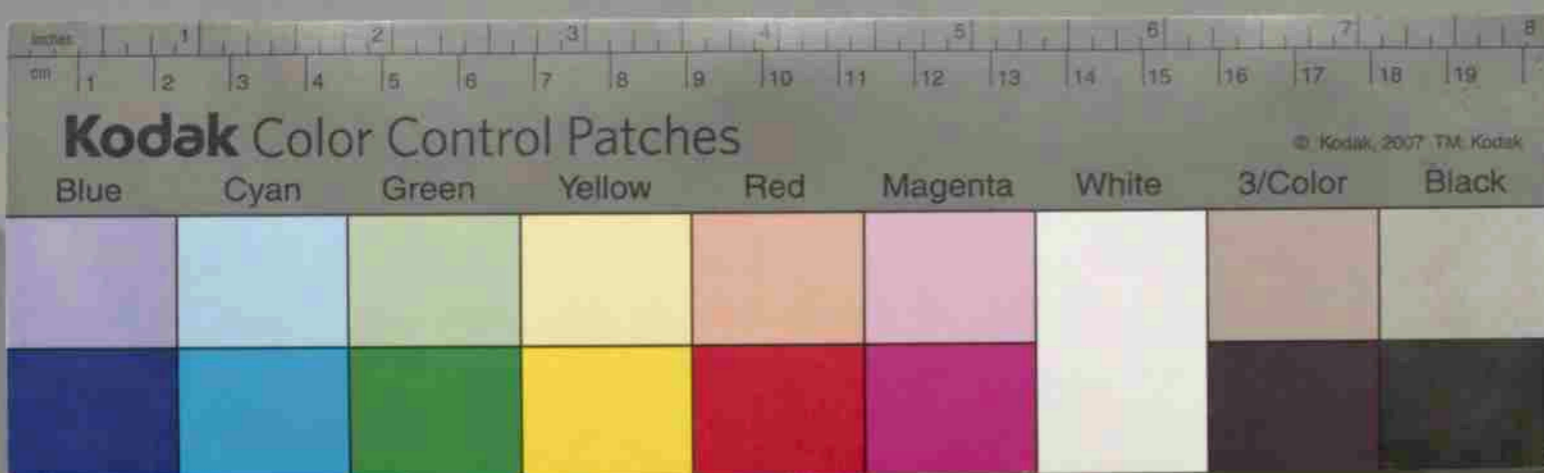




527 清洲地区久野 清洲第一小学校所蔵資料

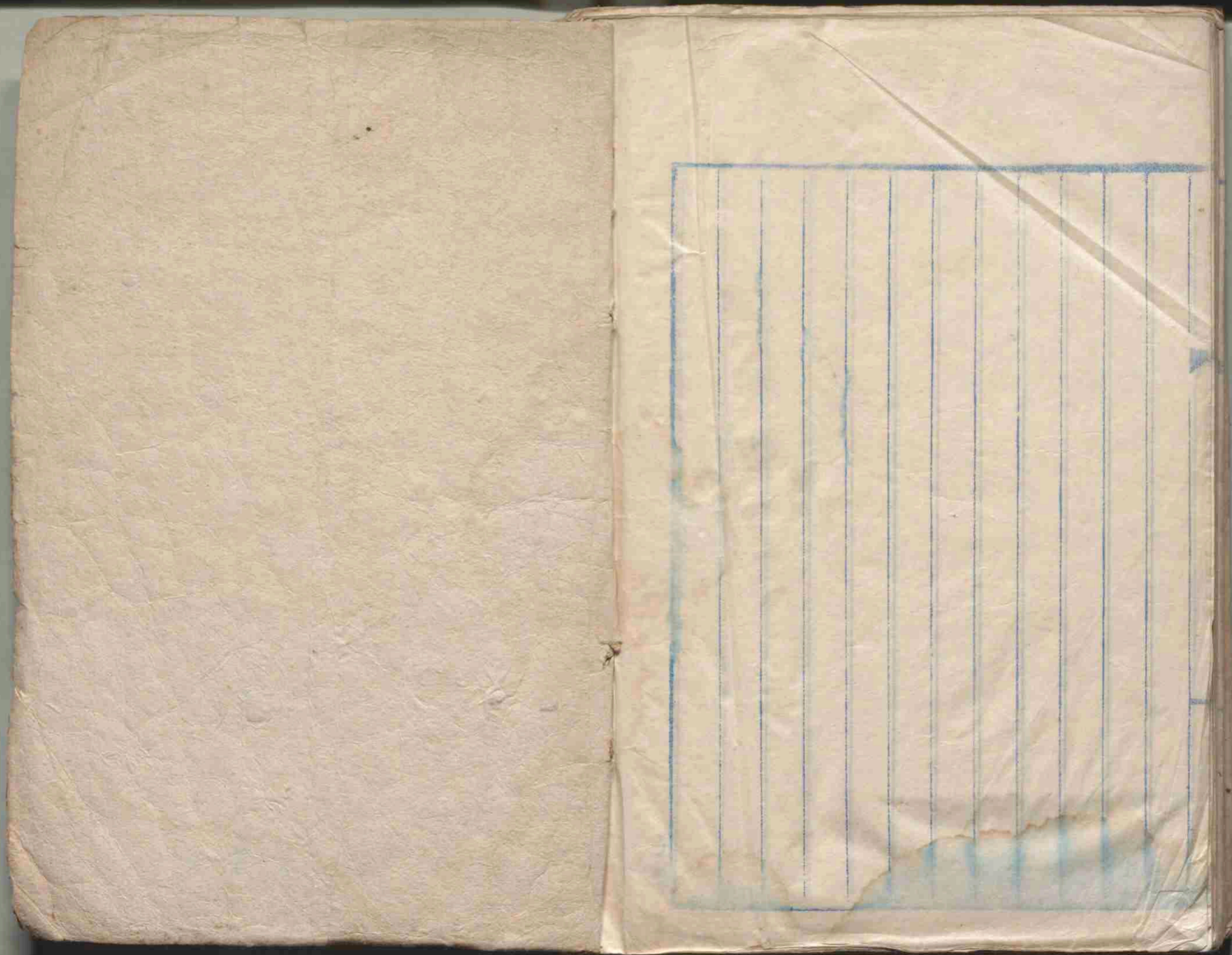
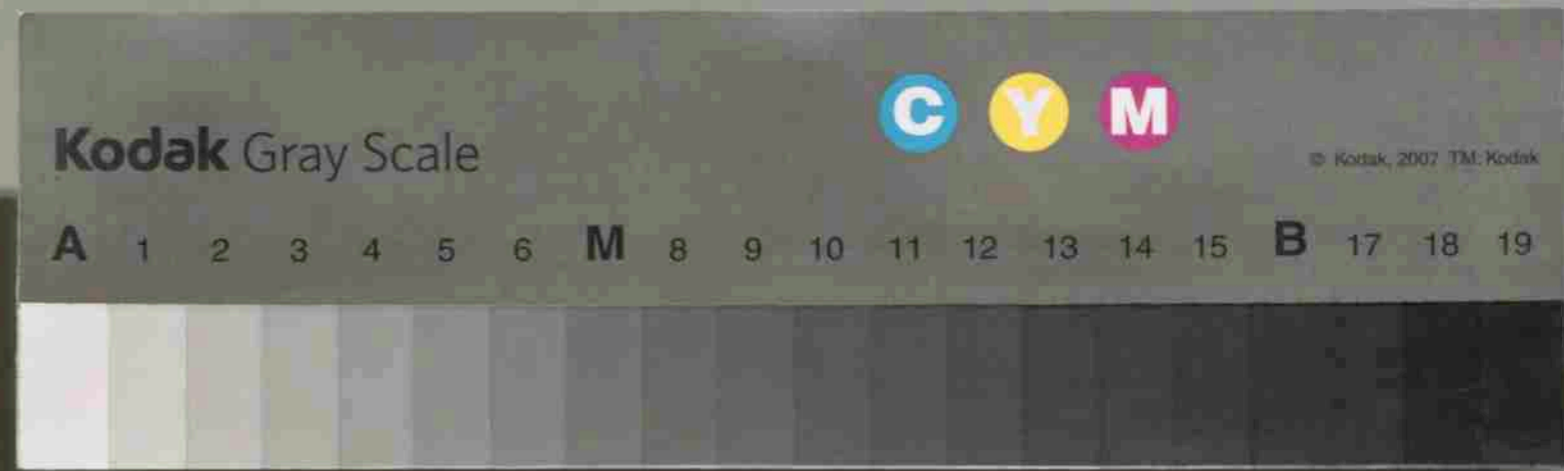
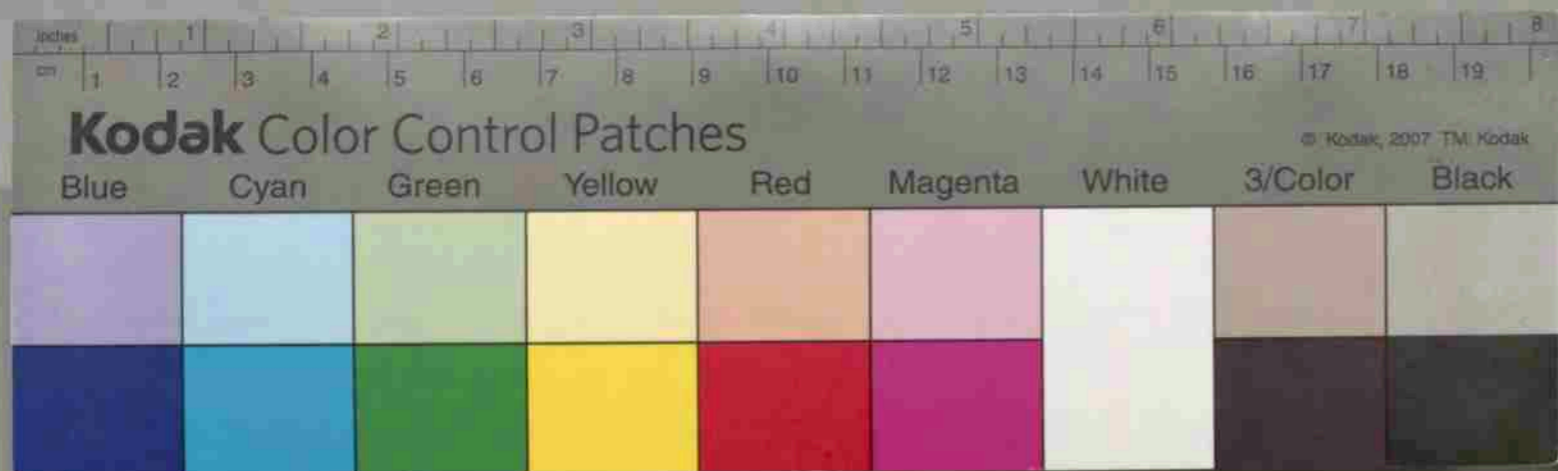
ウ21





以下白紙 6 ページ

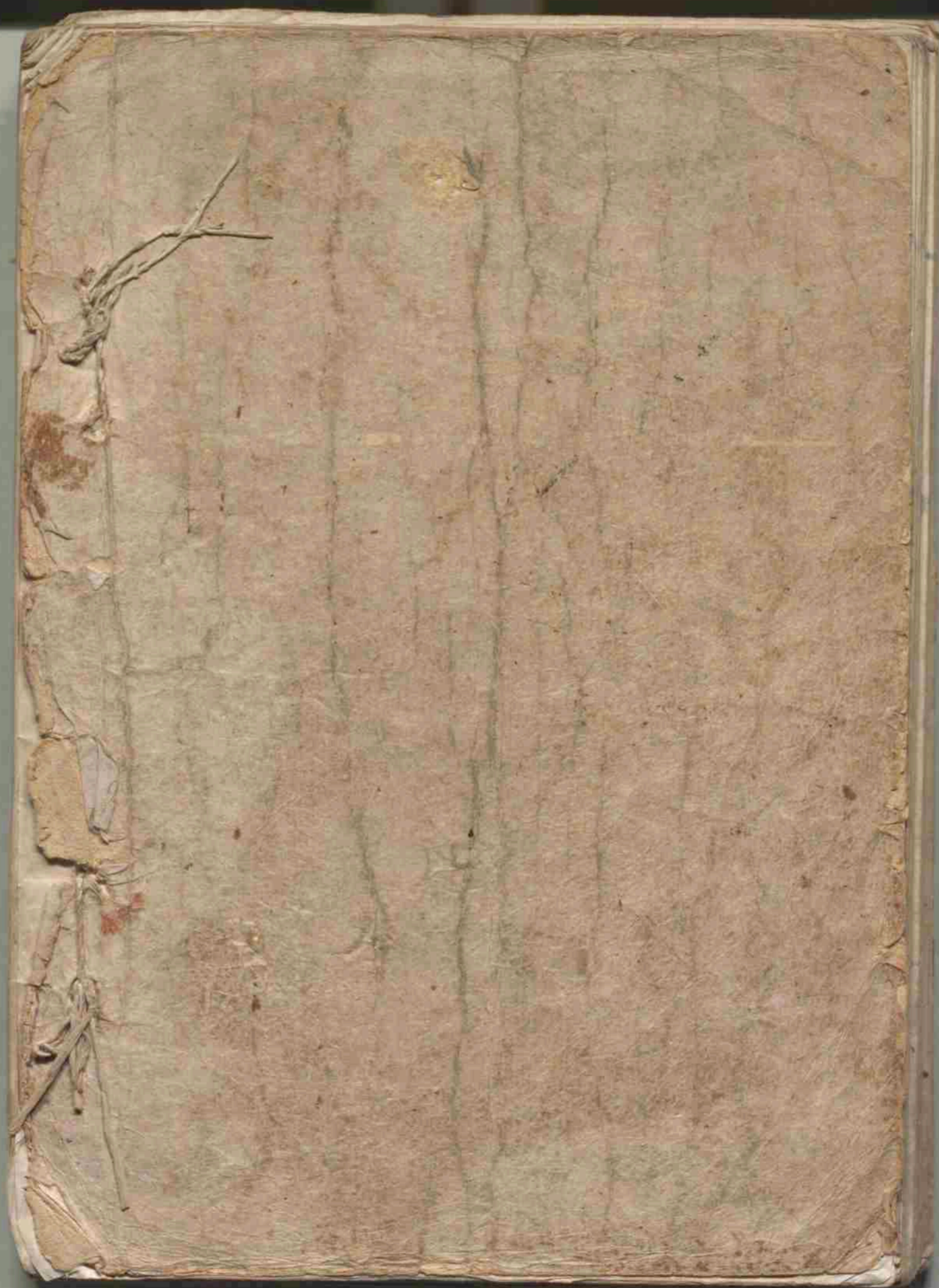
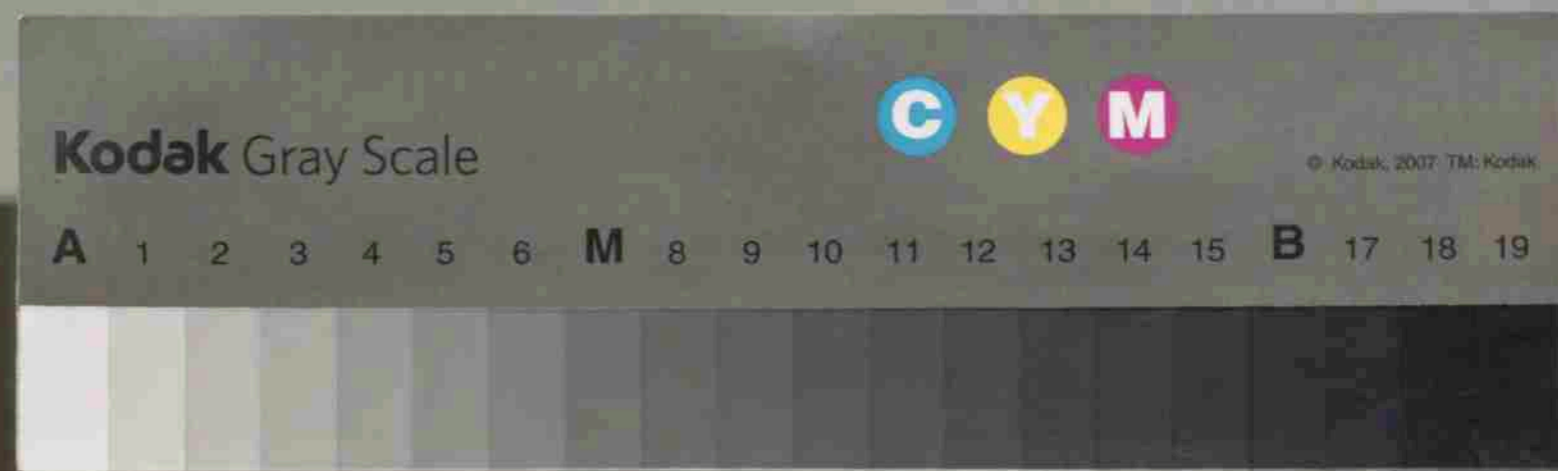




527 清洲地区久野 清洲第一小学校所蔵資料

ウ21





527 清洲地区久野 清洲第一小学校所蔵資料

ウ21

